

牟岐町
地域福祉計画・地域福祉活動計画
(成年後見制度利用促進基本計画)

令和2年(2020年)3月

牟岐町
牟岐町社会福祉協議会

目次

I 総論	3
第1節 計画の策定にあたって	3
1 地域福祉とは	3
2 地域共生社会の実現	3
3 計画策定の背景と趣旨	4
4 計画の位置づけ	5
5 関連する福祉計画等との連携	8
6 計画の期間	8
7 計画の策定方法	9
第2節 牟岐町の現状	11
1 人口	11
2 出生数	12
3 地区別高齢化率の状況	13
4 要介護（要支援）認定者の状況	14
5 障がい者の状況	15
6 生活保護の状況	16
7 民生委員・児童委員の状況	17
8 ボランティア活動団体の状況	17
9 牟岐町社会福祉協議会の状況	19
10 アンケート調査結果	23
11 牟岐町の課題	38
第3節 計画の基本的な考え方	41
1 地域福祉計画・地域福祉活動計画の基本理念	41
2 基本目標	42
3 施策の体系	45
II 地域福祉計画	49
第1節 地域福祉計画	49
基本目標1 みんなが支え合えるつながりづくり	49
基本目標2 地域福祉を促進する人づくり・組織づくり	53
基本目標3 福祉サービスが利用しやすいまちづくり	55
第2節 成年後見制度利用促進基本計画	61
1 背景と国の動向	61
2 成年後見制度利用促進基本計画の位置づけ	61
3 成年後見制度利用促進基本計画における基本的な考え方	61
4 施策体系図	62
5 実現に向けた具体的な取り組み	62

Ⅲ 地域福祉活動計画	67
第1節 地域福祉活動計画	67
基本目標1 人と人、地域のつながり	67
基本目標2 災害に備える	68
基本目標3 健康、いきがいづくり	70
基本目標4 「美しい牟岐町」を守る	71
基本目標5 人としての尊厳と権利を守る	71
基本目標6 相談しやすい環境づくり	72
第2節 地区行動計画	73
Ⅳ 計画の推進に向けて	129
第1節 計画の推進に向けて	129
1 計画の推進体制	129
2 計画の進行管理と評価	130
資料編	131

牟岐町地域福祉計画・地域福祉活動計画

I 総論

I 総論

第1節 計画の策定にあたって

1 地域福祉とは

「地域福祉」は、すべての人々が住みなれた地域で、地域の一員として尊厳をもって、安心して暮らせるよう「共に支え合うしくみ」をつくっていくことです。

地域には、高齢者、障がいのある人、子育てや介護で悩んでいる方など様々な人が生活し、多くの悩みや課題を抱えています。しかし、そのすべてを個人や家族、あるいは公的サービスだけで対応していくことは困難となっています。

多種多様な生活課題を解決するためには、地域住民、関係機関・各種団体、社会福祉協議会、行政などが、それぞれの役割を果たし、お互いに力を合わせる必要があります。そのためには、自助・互助・共助・公助の重層的な取り組みが大切です。

2 地域共生社会の実現

地域共生社会とは、制度・分野ごとの“縦割り”や支え手・受け手という関係を超えて、地域住民や地域の多様な主体が“我が事”として参画し、人と人、人と資源が世代や分野を超えて“丸ごと”つながることで、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに創っていく社会のことです。

地域共生社会の実現は、制度・分野ごとの「縦割り」では解決できない課題（複合的課題、制度の狭間など）の存在や社会的孤立・社会的排除への対応、また、地域の「つながり」の弱まりや地域の持続可能性の危機などの諸問題に対応するため、『公的支援』と『地域づくり』の仕組み、双方の転換を目指すものです。



※古牟岐地区

3 計画策定の背景と趣旨

地域を取り巻く状況を見ると、少子高齢化の進行や家族形態の変化、地域社会の変容などにより、環境は大きく変化し、福祉に対するニーズが多様化・複雑化しています。また、個人や世帯において複数の分野にまたがる問題を抱えるなど、課題は複合化してきています。その結果、一人ひとりの福祉ニーズに対応し、幸せな生活を実現していくためには、公的なサービスだけでなく、地域で互いに助け合い、支え合うことが必要となっています。

また、生活が多様化する中で、孤立死や引きこもり、自殺、ホームレス、家庭内での児童・高齢者及び障がい者等への虐待、DVの増加など、過去には考えられなかったような新しい不安や課題が発生し、深刻な問題となってきています。さらに、経済不況や雇用形態の多様化に伴う所得格差のひろがり等による生活困窮者対策や、災害時の要支援者対策等の新たな課題への対応も求められています。

これらの課題には、「制度の狭間」と言われるように、公的なサービスや制度だけでは対応できないことが少なくありません。今後、このような課題に対応し、年齢や障がいの有無などにかかわらず、誰もが住み慣れた地域で安全に安心して暮らせるようにするために、自治会、地域団体、ボランティア団体、NPO法人など様々な組織が連携するとともに、地域社会が同じ目標を持ち、支え合うことのできる地域づくりを行っていくことが求められています。再び地域でのつながりを取り戻しつつ、地域共生社会の実現に向けた地域づくりを連携して取り組んでいく必要があります。

本町では2025年に向けて地域包括ケアシステムの深化・推進を目指し、医療・介護・障がい者支援・子育てに関する各種計画を策定し推進してきましたが、それらの上位計画として位置づけ、本町における課題を整理し、地域における「新たな支え合い」の仕組みを構築し、地域共生社会の実現を目的として、「牟岐町地域福祉計画・地域福祉活動計画」を策定することとします。

さらに、今後一人暮らし高齢者や認知症高齢者の増加も予測され、成年後見制度の必要性が高まっていくことが想定されます。認知症や知的障がい、その他の精神上的障がい等により、判断能力が十分ではない状態になっても、住み慣れた地域で自分らしい生活を送ることができるよう、成年後見制度の利用促進を図るための体制整備に取り組んでいくため、成年後見制度利用促進計画を一体的に策定します。

4 計画の位置づけ

(1) 地域福祉計画とは

「地域福祉計画」とは、社会福祉法第 107 条の規定に基づく行政計画であり、多くの住民から出された課題に対して、町が地域で行う取り組みの方向性や基本的な考えを示し、今後、施策を展開していく上での基本事項を定めるものです。

社会福祉法（抜粋）

（市町村地域福祉計画）

第 107 条 市町村は、地域福祉の推進に関する事項として次に掲げる事項を一体的に定める計画（以下「市町村地域福祉計画」という。）を策定するよう努めるものとする。

- 1 地域における高齢者の福祉、障害者の福祉、児童の福祉その他の福祉に関し、共通して取り組むべき事項
 - 2 地域における福祉サービスの適切な利用の推進に関する事項
 - 3 地域における社会福祉を目的とする事業の健全な発達に関する事項
 - 4 地域福祉に関する活動への住民の参加の促進に関する事項
 - 5 前条第一項各号に掲げる事業を実施する場合には、同項各号に掲げる事業に関する事項
- 2 市町村は、市町村地域福祉計画を策定し、又は変更しようとするときは、あらかじめ、地域住民等の意見を反映させるよう努めるとともに、その内容を公表するよう努めるものとする。
- 3 市町村は、定期的に、その策定した市町村地域福祉計画について、調査、分析及び評価を行うよう努めるとともに、必要があると認めるときは、当該市町村地域福祉計画を変更するものとする。

(2) 改定社会福祉法と地域福祉計画

改正社会福祉法により、各自治体では、①住民相互の支え合い機能を強化、公的支援と協働して、地域課題の解決を試みる体制の整備、②複合課題に対応する包括的相談支援体制の構築、③地域福祉計画の充実が図られることになりました。

【改正のポイント】

- 地域共生社会の実現に向けて、支援を必要とする住民（世帯）が抱える多様で複合的な「地域生活課題」について、住民や福祉関係者による把握及び関係機関との連携等による解決が図られることを目指すという「地域福祉の方法」が明記されました。（法第 4 条第 2 項）
- 地域福祉を推進するにあたっての「国及び地方公共団体の責務」を定め、その責務を具体化し、公的責任を明確にするため「包括的な支援体制の整備」に努めることが規定されました。（法第 6 条第 2 項、法第 106 条の 3）
- 「福祉の各分野における相談支援を担う事業者の責務」として、自らが解決に資する支援を行うことが困難な地域生活課題を把握した場合に、必要に応じて適切な支援機関につなぐことが努力義務とされました。（法第 106 条の 2）

包括的な支援体制の整備などの計画的な実施や展開を図る観点などから、市町村地域福祉計画（法第107条）及び、都道府県地域福祉計画（法第108条）により、地域福祉計画の充実がなされています。

【改正のポイント】

- 地域福祉（支援）計画の策定が「努力義務」とされました。
- 「地域における高齢者の福祉、障がい者の福祉、児童の福祉、その他の福祉に関し、共通して取り組むべき事項」を定め、他の分野別計画の「上位計画」として位置付けられました。
- 定期的に、その策定した地域福祉（支援）計画について、「調査、分析及び評価を行うように努める」ことが明記され、PDCAサイクルを踏まえた進行管理の必要性が示されました。

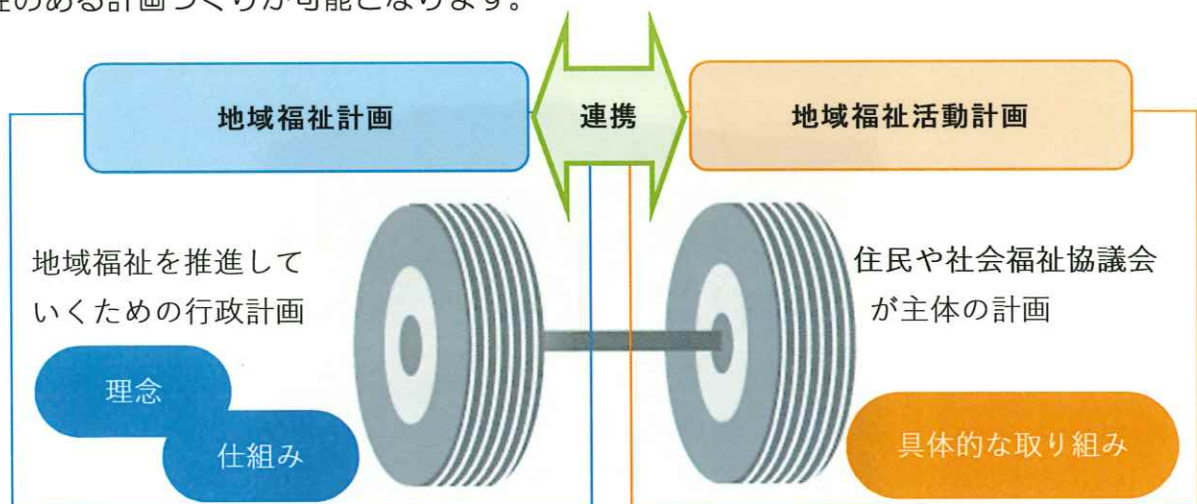
●地域福祉（支援）計画は、地域共生社会の実現を目指した地域福祉の推進計画であるとの基本的な考え方のもとに取り組みをすすめることが求められています。

(3) 地域福祉活動計画とは

「地域福祉活動計画」とは、社会福祉協議会が中心となって取り組み、地域住民や地域において社会福祉に関する活動を行う者、社会福祉を目的とする事業（福祉サービス）を経営する者が相互に協力して策定する、地域福祉の推進を目的とした民間の活動・行動計画（具体的な取り組みを示すもの）です。

(4) 地域福祉計画と地域福祉活動計画の一体的策定の意義

地域福祉推進のための理念やしきみをつくる「地域福祉計画」と、それを実行するため、具体的な取り組みを示す「地域福祉活動計画」は、言わば車の両輪です。これらが一体となって策定されることにより、行政や地域住民、社会福祉協議会、地域福祉活動団体、ボランティア、事業所など地域に関わるすべてのものの役割や協働が明確になり、より実効性のある計画づくりが可能となります。



(5) 成年後見制度利用促進基本計画とは

「成年後見制度利用促進基本計画」とは、成年後見制度の利用の促進に関する法律（平成 28 年法律第 29 号）第 14 条の規定に基づく、市町村における成年後見制度の利用促進に関する施策についての基本的な計画です。

成年後見制度の利用の促進に関する法律（抜粋）

市町村の講ずる措置

第 14 条 市町村は、成年後見制度利用促進基本計画を勘案して、当該市町村の区域における成年後見制度の利用の促進に関する施策についての基本的な計画を定めるよう努めるとともに、成年後見等実施期間の設立等に係る支援その他の必要な措置を講ずるよう努めるものとする。

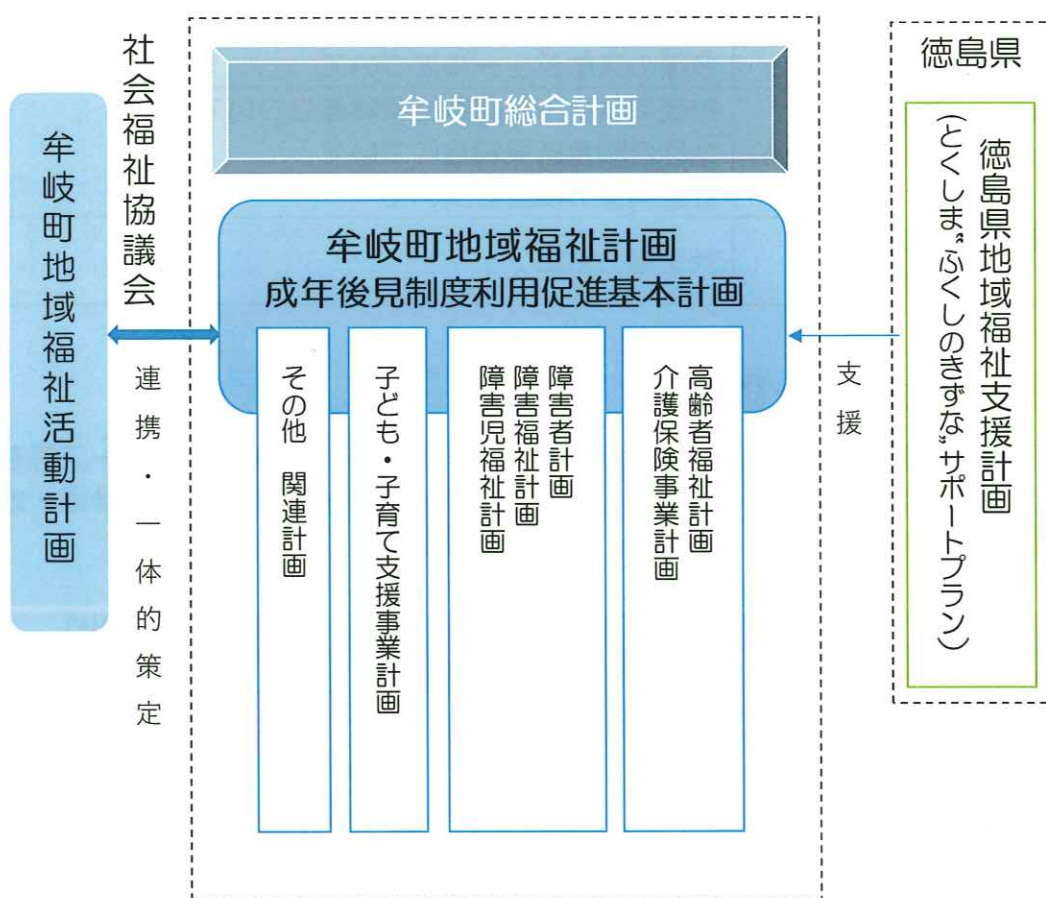
2 市町村は、当該市町村の区域における成年後見制度の利用の促進に関して、基本的な事項を調査審議させる等のため、当該市町村の条例で定めるところにより、審議会その他の合議制の機関をおくよう努めるものとする。



※川又地区

5 関連する福祉計画等との連携

牟岐町における福祉関係計画には、高齢者福祉計画・介護保険事業計画、障害者計画・障害福祉計画、子ども・子育て支援事業計画などがあり、分野別計画はそれぞれの根拠法に基づき分野別に策定されています。地域福祉計画は、保健福祉分野を統括する計画としてこれらの計画と連携し、統合性を図るとともに、地域福祉の推進に関する取り組みが地域において効率的に展開されるよう、基本方針と施策展開の方向性を明確にするものです。社会福祉協議会が策定する地域福祉活動計画と連携をしながら、牟岐町の地域福祉推進のための計画を策定します。



6 計画の期間

牟岐町地域福祉計画・地域福祉活動計画は令和2（2020）年度を初年度とし、目標年次を令和6（2024）年度とする5ヵ年計画とし、必要に応じて見直しを行うこととします。

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
計画期間	計画策定	→				

7 計画の策定方法

(1) 牟岐町地域福祉策定委員会における審議

学識経験者、公共団体等の代表者、関係行政機関などで組織する牟岐町地域福祉計画・地域福祉活動計画策定委員会を3回開催し、計画についての検討・審議を行い、その答申を計画の策定に反映させました。

	日 程	内 容
1 回目	令和元年 7月29日(月)	地域福祉計画と地域福祉活動計画の概要について 牟岐町地域福祉計画・地域福祉活動計画の策定に向けて 今後のスケジュールについて
2 回目	令和2年 1月28日(火)	町民アンケート調査結果報告について 地区座談会結果報告について 計画素案の検討について
3 回目	令和2年 3月	計画書の承認

(2) 住民アンケート調査

地域住民の福祉観や地域活動への参加状況、地域社会の現状、福祉ニーズ等を把握するために、牟岐町に在住する18歳以上の方を対象に、「牟岐町地域福祉計画・地域福祉活動計画策定のためのアンケート調査」を実施しました。

実施期間	令和元年8月20日(火)～9月17日(火)
調査方法	郵送配布・郵送回収
回収率	53.9%



※東の中・東の東地区

(3) 地区座談会の実施

社会福祉協議会が中心となり、地区の良いところ、課題、自分たちにできること等について意見をお聞きするため、町内 29 地区で地区座談会を開催し、計画策定の基礎資料としました。

地区	日程	会場	参加者数
牟岐中学校	令和元年 6月25日 10月29日	牟岐中学校	10名/9名
古牟岐	令和元年 7月31日 10月11日	古牟岐コミュニティセンター	9名/12名
橘	令和元年 8月 3日	橘コミュニティセンター	16名
笹見	令和元年 8月10日	笹見コミュニティセンター	14名
赤水	令和元年 8月25日	赤水公民館	13名
西又	令和元年 8月27日	西又コミュニティセンター	10名
西浦	令和元年 8月28日	西浦会館	34名
天神前	令和元年 9月 2日	天神前コミュニティセンター梅香館	11名
出羽島	令和元年 9月 6日	波止の家	12名
喜来	令和元年 9月11日	喜来多目的集会所	9名
東の東/東の中	令和元年 9月11日	東の中コミュニティセンター	22名
川長	令和元年 9月13日	デイサービスセンター清流荘	5名
灘	令和元年 9月25日	灘コミュニティセンター	19名
大谷	令和元年 9月27日	牟岐町隣保館	10名
東の西	令和元年 9月27日	海の家	12名
中の島	令和元年 9月28日	牟岐町公民館中の島分館	14名
同倫	令和元年 9月30日	同倫コミュニティセンター	12名
内妻	令和元年10月 5日	内妻コミュニティセンター	33名
辺川	令和元年10月 5日	辺川農業構造改善センター	12名
関	令和元年10月 5日	商工会館	1名
上の町	令和元年10月10日	上の町公民館	15名
杉王/山田	令和元年10月16日	中村文化センター	28名
本町	令和元年10月17日	本町会館	28名
清水	令和元年10月18日	清水文化センター	11名
川又	令和元年10月31日	牟岐町消防団第三分団屯所	6名
平野	令和元年12月 6日	平野コミュニティセンター	20名

第2節 牟岐町の現状

1 人口

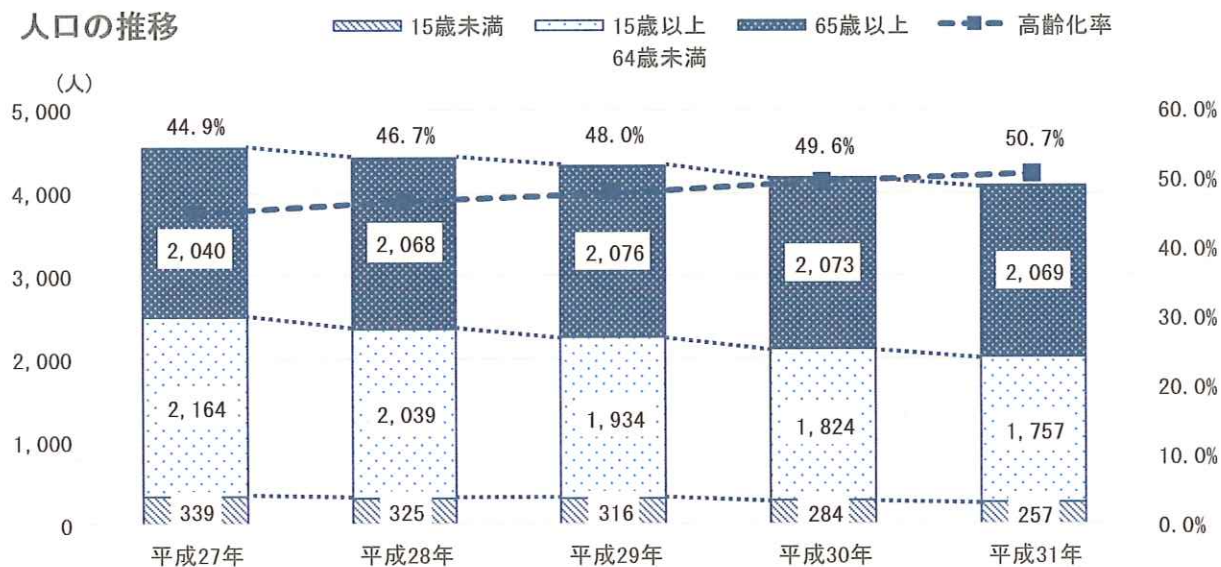
(1) 総人口

総人口は平成27年から平成31年にかけて460人減少していますが65歳以上の人口は2,040人から2,069人と29人増加しています。また、高齢化率は平成31年には50.7%となっています。

区分		平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
総人口	(人)	4,543	4,432	4,326	4,181	4,083
15歳未満	(人)	339	325	316	284	257
	(%)	7.5%	7.3%	7.3%	6.8%	6.3%
15歳以上	(人)	2,164	2,039	1,934	1,824	1,757
64歳未満	(%)	47.6%	46.0%	44.7%	43.6%	43.0%
65歳以上	(人)	2,040	2,068	2,076	2,073	2,069
	(%)	44.9%	46.7%	48.0%	49.6%	50.7%

資料：住民基本台帳（各年4月1日現在）

人口の推移



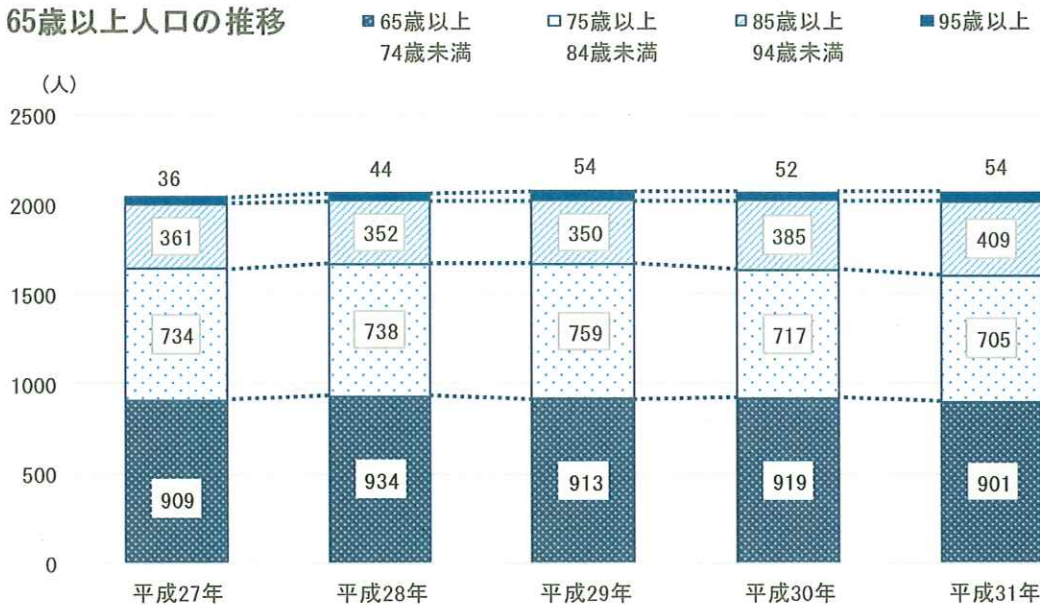
(2) 65 歳以上人口

65 歳以上人口を 10 歳刻みで見ると、85 歳以上 94 歳未満人口が増加傾向にあり、平成 31 年には 409 人となっています。また 95 歳以上人口も平成 29 年から 50 人前後で推移しています。

区分		平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	平成 31 年
65 歳以上人口	(人)	2,040	2,068	2,076	2,073	2,069
65 歳以上 74 歳未満	(人)	909	934	913	919	901
	(%)	44.6%	45.2%	44.0%	44.3%	43.5%
75 歳以上 84 歳未満	(人)	734	738	759	717	705
	(%)	36.0%	35.7%	36.6%	34.6%	34.1%
85 歳以上 94 歳未満	(人)	361	352	350	385	409
	(%)	17.7%	17.0%	16.9%	18.6%	19.8%
95 歳以上	(人)	36	44	54	52	54
	(%)	1.8%	2.1%	2.6%	2.5%	2.6%

資料：住民基本台帳（各年 4 月 1 日現在）

65歳以上人口の推移



2 出生数

出生数の状況を見てみると、平成 27 年の 20 人に対し、平成 30 年では 11 人と約半数に減少しています。

区分		平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年
総数		20	16	10	11
	男性	7	7	6	8
	女性	13	9	4	3

資料：住民福祉課（各年 4 月 1 日時点）

3 地区別高齢化率の状況

地区別に平成31年の高齢化率をみると、出羽島地区が69.3%で最も高く、喜来地区、笹見地区、関地区、西の西地区、西の中地区、西の東地区、同倫地区、東の東地区でそれぞれ60%を超えています。一方で、清水地区は29.2%と最も低くなっており、出羽島地区と比べると40.1%の差があります。

	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
町全体	44.8%	46.8%	48.0%	49.6%	50.6%
橘地区	47.8%	48.4%	48.4%	51.7%	51.7%
喜来地区	54.1%	57.3%	61.8%	61.3%	62.0%
辺川地区	41.1%	45.2%	47.7%	51.7%	49.7%
赤水地区	55.6%	58.7%	60.0%	52.3%	51.2%
西又地区	44.0%	48.0%	45.5%	50.0%	53.8%
笹見地区	53.9%	55.4%	58.4%	61.6%	64.6%
平野地区	33.3%	34.4%	35.3%	39.7%	41.4%
川又地区	55.2%	57.7%	56.0%	56.0%	52.2%
関地区	60.6%	59.4%	58.7%	63.8%	63.2%
清水地区	27.6%	26.1%	27.1%	28.9%	29.2%
本町地区	45.6%	48.0%	48.0%	48.1%	53.2%
中の島地区	50.9%	50.9%	49.5%	50.0%	52.0%
西の西地区	49.3%	52.3%	54.9%	56.5%	60.7%
西の中地区	65.9%	67.5%	67.1%	70.0%	64.6%
西の東地区	56.9%	61.7%	62.2%	63.5%	64.3%
上の町地区	45.6%	49.5%	55.3%	51.0%	54.5%
杉王地区	35.7%	38.3%	38.8%	42.2%	40.8%
山田地区	42.7%	45.0%	47.2%	48.5%	49.7%
大谷地区	38.0%	38.8%	40.1%	43.8%	46.3%
内妻地区	41.1%	40.9%	41.7%	41.9%	40.8%
川長地区	28.1%	29.4%	31.0%	35.5%	37.4%
天神前地区	41.9%	44.7%	45.6%	46.7%	48.9%
東の西地区	50.8%	52.5%	52.1%	49.6%	50.4%
同倫地区	56.2%	58.9%	62.3%	61.9%	61.0%
東の中地区	41.1%	44.0%	45.7%	47.5%	49.3%
東の東地区	55.0%	56.7%	59.4%	60.1%	61.1%
灘地区	39.8%	42.3%	42.9%	43.8%	44.1%
古牟岐地区	39.7%	42.1%	40.3%	41.7%	43.1%
出羽島地区	79.6%	77.9%	79.6%	77.9%	69.3%

資料：住民福祉課（各年4月1日時点）

4 要介護（要支援）認定者の状況

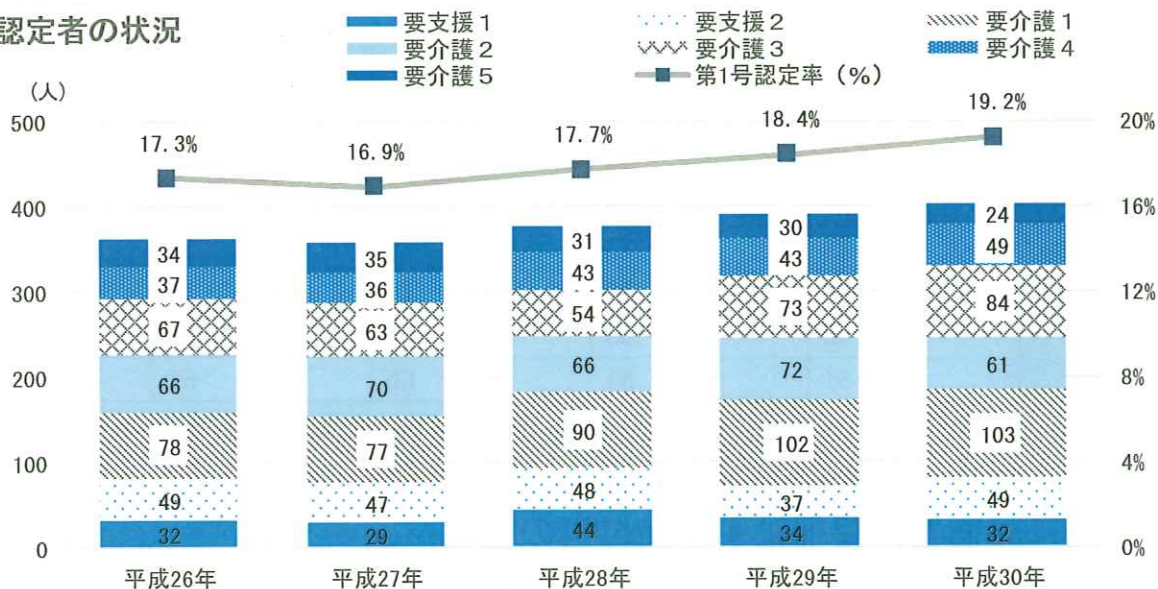
要支援・要介護認定者の現状をみると、増加傾向で推移しており、平成26年の363人から平成30年で402人と増加しています。介護度別に推移をみると、特に要介護1の増加がみられます。

65歳以上の認定率は平成30年で19.2%となっています。

	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年
要支援1	32	29	44	34	32
要支援2	49	47	48	37	49
要介護1	78	77	90	102	103
要介護2	66	70	66	72	61
要介護3	67	63	54	73	84
要介護4	37	36	43	43	49
要介護5	34	35	31	30	24
総認定者数	363	357	376	391	402
第1号認定率(%)	17.3%	16.9%	17.7%	18.4%	19.2%

資料：介護保険事業状況報告（各年9月末時点）

認定者の状況



5 障がい者の状況

(1) 身体障害者手帳交付者の状況

身体障がい児・者数（身体障害者手帳交付者数）をみると、平成 27 年以降、増減を繰り返しています。

	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	平成 31 年
1級	75	75	77	74	73
2級	45	44	40	39	40
3級	35	35	29	28	32
4級	49	53	52	49	54
5級	17	17	14	15	15
6級	29	28	27	28	28
計	250	252	239	233	242

資料：住民福祉課（各年 4 月 1 日時点）

(2) 療育手帳交付者の状況

知的障がい児・者数（療育手帳交付者数）を等級別でみると、中度 B、軽度 B が微増傾向となっています。

	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	平成 31 年
最重度 A	7	7	7	7	7
重度 A	11	11	21	21	21
計	18	18	28	28	28
中度 B	13	13	13	14	15
軽度 B	20	20	14	15	15
計	33	33	27	29	30
総計	51	51	55	57	58

資料：住民福祉課（各年 4 月 1 日時点）

(3) 精神障害者保健福祉手帳交付者の状況

精神障がい者数（精神障害者保健福祉手帳交付者数）をみると、平成 27 年以降、1 級が減少傾向となっています。

	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	平成 31 年
1級	8	8	7	5	4
2級	14	14	14	15	15
3級	14	14	11	10	14
計	36	36	32	30	33

資料：住民福祉課（各年 4 月 1 日時点）

6 生活保護の状況

(1) 被保護世帯数

被保護世帯数は平成 27 年の 61 世帯から平成 31 年の 36 世帯と 25 世帯減少しています。

区分	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	平成 31 年
被保護世帯数	61	61	60	55	36
生活扶助	45	48	47	44	29
住宅扶助	32	31	29	28	18
教育扶助	1	0	1	2	1
医療扶助	56	56	53	50	34
出産扶助	0	0	0	0	0
生業扶助	1	2	1	1	0
葬祭扶助	0	0	0	0	0
介護扶助	8	8	11	9	5

資料：住民福祉課（各年 4 月 1 日時点）

(2) 被保護者数

被保護者数についても平成 27 年から平成 31 年にかけて 30 人減少しています。

区分	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	平成 31 年
被保護者数	75	76	74	69	45
生活扶助	56	60	60	56	37
住宅扶助	41	39	37	36	24
教育扶助	2	0	1	2	1
医療扶助	66	68	61	59	41
出産扶助	0	0	0	0	0
生業扶助	1	3	2	2	1
葬祭扶助	0	0	0	0	0
介護扶助	8	8	11	9	5

資料：住民福祉課（各年 4 月 1 日時点）

7 民生委員・児童委員の状況

本町の民生委員・児童委員数は平成31年4月1日時点で23人、主任児童委員は2人となっています。

民生委員・児童委員とは

厚生労働大臣から委嘱され、それぞれの地域において、常に住民の立場に立って相談に応じ、必要な援助を行い、社会福祉の増進に努めており、児童委員を兼ねています。児童委員は地域の子どもたちが元気に安心して暮らせるように、子どもたちを見守り、子育ての不安や妊娠中の心配事などの相談・支援等を行います。一部の児童委員は児童に関することを専門的に担当する「主任児童委員」の指名を受けています。

8 ボランティア活動団体の状況

ボランティア活動団体	活動内容
NPO 法人 カイツネイチャーネットワーク	室戸阿南海岸国定公園及び海部郡の自然環境の保全を行うとともに、それを生かした地域経済の振興を図り、自然と共生するまちづくりを推進しています。 室戸阿南国定公園の監視業務、子ども達に向けての自然体験や生物調査イベント、子ども達が遊びやすいような自然環境の整備、休耕田での薬草作りなどを行っています。
牟岐町婦人会	青少年育成のために活動しています。 英語村協力、88クリーン作戦（8月8日に国道55号線を中心に清掃活動）、あじさい祭りの運営手伝い、阿波踊り競演会手伝い、老人ホーム慰問などを行っています。
地域医療を守る会	過疎の地域において、「土曜日の救急患者受け入れができない」「医師不足により出産できない」など地域医療崩壊を背景に立ち上げられました。地域住民が安心して生活できる環境について検討し、環境づくりを推進しています。定期的に地域住民と県立海部病院医師との交流を図ったり、医師へのありがとう弁当づくりを行っています。
市宇ヶ丘サポーター （牟岐町婦人会）	花いっぱい活動や防災頭巾づくりを行っています。
赤十字奉仕団	災害時の炊き出しや、防災訓練・防災イベント支援、献血啓発活動を行っています。
牟岐町ボランティア連絡協議会	あじさい祭りの運営手伝いを行っています。

牟岐町観光ボランティアガイドの会	牟岐町の観光振興・交流人口増加を目的とし、牟岐町を訪れる観光客等に、町の歴史・文化や自然・風土、名所・旧跡等の案内等の活動をしています。
牟岐町食生活改善推進協議会	食生活を中心とした健康づくりを進め、健康に関する学習の場を定期的に設け、学んだことを住民へ伝えたり、各種健康づくり事業等を行っています。特に子どもの食育に力を入れ、食育劇、フードモデルの製作等、会員が力を合わせています。
ボランティア活動団体 さくらの会	徳島県立海部病院の看護師のOG達で組織しています。海部病院敷地内の草ぬき等の環境整備の活動や、新海部病院移転時には患者様に施設内の案内係を行いました。
母子推進委員	地域の妊産婦さんやお子さんの健康を見守るサポーター役として、地域の妊娠や育児に関わる相談やサポートをしています。（各地区にいます。）
牟岐町老人クラブ連合会	町内一斉清掃を行っています。
友愛訪問員（老人クラブ連合会）	一人暮らし高齢者の見守り活動を行っています。
地域の子どもを見守り隊（老人クラブ連合会）	誘拐、連れ去りなど犯罪被害者から子どもを見守るため、立哨活動及びあいさつ運動を行っています。
イベントボランティア（各種 団体）	各施設へ出向き、歌や踊りなどを披露し交流を図っています。
芙蓉会	高齢化が進行する牟岐町では独居や高齢化世帯の方が増加しています。孤独感解消や居場所づくりの為にボランティアが集い、高齢者の為に昼食会の場を設け、交流をしています。
精神保健ボランティア「はまっこ」	ウミガメ作業所に通所される方の話し相手になったり、活動やイベントの手伝いをしています。
さざなみ	図書館や小学校・遊びの広場などで、本の読み聞かせを行い、子ども達が本に親しむための活動を行っています。
保護者会・小学校PTA・中学校PTA	保育所や学校の行事の手伝いなど、親と先生と一緒に子どもたちのために活動しています。
お接待の会（牟岐町ボランティア連絡協議会）	四国八十八か所を巡礼されるお遍路さんが休憩できるよう、遍路小屋でお接待を行っています。
配食ボランティア牟岐（牟岐町ボランティア連絡協議会）	独居または高齢者世帯等（買い物もままならない方）のお宅へ、お昼のお弁当をつくって届けています。小学生・中学生も、調理ボランティアとして参加しています。
まめっこ	家や庭の掃除、墓掃除、調理、買い物代行、通院介助、身体介護、ペットのお世話、空き家管理などを行っています。

傾聴ボランティア ほのぼの	身体が不自由で外出できない。外出したいが移動手段がなく1日誰とも話さず過ごしているお宅を訪問し、傾聴活動を行っています。
対面朗読 れいんぼう	視覚障がい者や肢体不自由などのように活字による読書が困難な人に対する音訳を行っています。
CST（地域サポートチーム）	登下校時間帯に、保育園や小学校中学校の学校近くの道路に立ち、子どもの安全を見守っています。

9 牟岐町社会福祉協議会の状況

地域に暮らす住民の皆さまのほか、民生委員・児童委員、社会福祉法人・福祉施設等の社会福祉関係者、保健・医療・教育など関係機関の参加・協力のもと、住民の皆さまが主役となり安心して生活することのできる「福祉のまちづくり」の実現を目指した、さまざまな活動を行う民間の福祉団体です。

地域福祉事業

心配ごと相談事業	牟岐町民生委員協議会（心配ごと相談） とみた（心の相談・偶数月、第3火曜日） 日常生活で起こった様々な問題の相談に応じています。相談内容などの秘密を厳守し、必要によっては関係機関を紹介します。
生活福祉資金貸付事業	低所得者、障がい者世帯または高齢者世帯に対し、経済的自立・社会参加を図り、安定した生活を送ることを目的とする事業です。 民生委員のご協力のもと、世帯の状況把握を行い、適切な貸付につなげます。長期滞納者への償還指導なども行います。
ボランティアセンター事業	ボランティア活動を「している人」「したい人」「ボランティアを紹介してほしい人」をつなげます。 ボランティアに関する情報収集やボランティア保険への加入手続き、各種ボランティア講座の紹介等を行います。収集ボランティア（ペットボトルの蓋、切手、テレホンカード、プルタブ）。 牟岐町内の学童・生徒に、体験学習をとおして、福祉・ボランティア活動に関する理解を深め、知識・技術の習得を目指します。
善意銀行運営事業	人の役に立つことをしたいという思いを持たれている方から「善意の品物」「善意のお金」「労力」を預託として預かり、地域の中で有効に活用する橋渡しをします。 町内在住の低所得者に対し、牟岐社協善意銀行を原資に、生活一時金を貸付け、その経済的援助を行います。

ふれあいサロン活動支援	地域の誰もが気軽に寄り合い、孤独の解消と地域づくりを目的に、誰でも気軽に参加できる場として、地域住民を対象に実施します。
日常生活自立支援事業	知的障がい者、精神障がい者、認知症高齢者等の判断能力が不十分な方の権利を擁護することを目的に、利用者の方が自立した生活が送れるよう福祉サービスの利用援助や金銭管理のサービスを行います。
広報	「むぎ社協だより」を年に一回発行し、ホームページを随時更新します。
牟岐町共同募金委員会	赤い羽根共同募金、歳末たすけあい運動の実施、地域還元配分金による町内福祉団体への配分を行います。 牟岐町共同募金委員会を運営しています。
日本赤十字社牟岐分区事務局	命と健康、尊厳を守る人道思想の普及啓発や赤十字活動を支える社員の募集を行います。各地区に3%の事務費を還元しています。 赤十字説明バス、赤十字奉仕団の活動支援を行い、炊き出しサポーターや赤十字の集いへの参加を行います。
障がい者団体事務局	牟岐町身体障がい者会の社会参加やスポーツ講習会、制度の勉強会や日帰り研修旅行への参加支援を行います。 事務局では、身体の障がいなどについて、悩みのある方を身体障害者相談員につないでいます。 ※身体障害者相談員は身体障がい者が日常生活を送る上での様々な相談に応じ、必要な助言・援助を行います。 障がい者福祉について積極的に啓発・普及活動をすすめ、地域活動推進の中心的担い手として活動しています。
ボランティア団体事務局	牟岐町ボランティア連絡協議会、芙蓉会、傾聴ボランティア「ほのぼの」、精神保健ボランティア「はまっこ」の活動支援を行っています。
シルバー大学牟岐校	高齢者の生きがいづくりと能力の再開発を援助するとともに、地域福祉を推進する指導者を育成することを目的とし、55歳以上の健康な方を対象に開講しました。平成31年度は食品健康コースを新たに新設しました。食品・健康に関する知識を深めながら、調理実習を通して技術や学生同士の絆を深めています。
くらしサポートセンター 生活困窮者自立相談支援窓口	生活上の困難に直面した方に対し、地域の中で自立した生活が送れるよう、一人ひとりに対して寄り添った相談対応をしています。 ① 生活の中での様々な悩みを聞き、一緒に課題を整理します。 ② 困りごとの解決に向けて、一緒に考え『自立に向けた具体的な目標』を立てるお手伝いをします。 ③ ご本人が困りごとを解決するために、必要な関係機関と共にご本人をサポートしています。

生活支援体制整備事業	<p>高齢者の生活支援介護予防サービスの体制や、住民の皆さんの支え合い活動を展開するための協議体を設置し、地域の資源やサービスと住民の皆さんをつなぎます。</p> <p>住民主体による生活支援サービスの充実を目的に、地域アセスメントやニーズ把握に努めます。</p> <p>関係機関や地域、ボランティアとの連携や新たな人材発掘を行い、互助を基本とした生活支援・介護予防サービスが創出されるような取組の推進を行います。</p> <p>高齢者の持っている知識・経験に着目し、調整を行い、生きがいや社会参加の場を確保するお手伝いをします。</p>
ファミリーサポートセンター事業	<p>子どもをみてほしい方と子どもをみてくださる方に会員になっていただき、援助活動のお手伝いをします。チャイルドシート等の貸出をしています。子育て中のご家庭に必要な交流会の開催も実施しています。</p>
放課後対策事業 おひさまスクール	<p>小学校1年生～6年生の留守家庭児童を対象とした、放課後・長期休暇の居場所を確保する事業です。</p>
地域福祉活動計画事業	<p>ささえあう福祉のまちづくりの為、住民の方が主体で策定された地域福祉活動計画を、地域の中で住民みんなが主役となって実践できるようお手伝いをします。</p> <p>各地区の住民の皆さまと共に「我が事丸ごと」の地域づくりを目指していきます。</p>

在宅福祉サービス事業

<p>ヘルパーステーション</p> <p>① 生活管理指導員派遣事業</p> <p>② いきいき訪問等事業</p>	<p>① 日常生活に援助を必要とする高齢者のご自宅に、生活管理指導員が訪問し、必要な支援を行う事で要介護状態になることを予防し、一緒に家事を行いながら、自立した生活を営むことができるよう支援します。</p> <p>② 各種サービスを受けられていない高齢者に対する安否確認、見守りにより、高齢者孤立死の防止を推進します。異変の早期発見を行い各関係機関、ご近所が連携し、ご高齢になられても住み慣れた地域で安心して暮らせることを目的とする事業です。</p>
<p>デイサービス センター清流荘</p> <p>① 通所介護・介護予防 日常生活支援総合事業</p> <p>② 外出支援サービス事業</p> <p>③ 認知症予防対策脳活性化 事業</p>	<p>① 要介護、要支援の認定を受けられた方に、入浴、食事、排せつ等必要な介護や簡単な機能訓練などのサービスを行います。</p> <p>② 寝たきりで座位が保てない方に対する通院の外出を支援します。</p> <p>③ 要介護、要支援認定非該当の方に対する認知症予防対策脳活性化事業を行います。</p> <p>④ 出羽島において、高齢者の健康教室を実施します。</p>

<p>④ 生きがい活動支援事業 ⑤ いきいき訪問等事業</p>	<p>⑤ 出羽島で各種サービスを受けられていない高齢者に対する安否確認、見守りにより、高齢者孤立死の防止を推進します。異変の早期発見を行い各関係機関、ご近所が連携し、ご高齢になられても住み慣れた地域で安心して暮らせることを目的とする事業です。</p>
<p>居宅介護支援 介護予防ケアプラン、介護予防ケアマネジメント、認定調査、住宅改修支援</p>	<p>介護支援専門員が、介護保険サービスが必要な高齢者及びご家族の介護にかかわる様々な相談に対応し、各関係機関との調整や手続きなどを行います。 公正中立な立場で利用者様の選択により、介護保険サービスが受けられるよう支援しています。</p>

公益事業

<p>シルバー人材センター (例：草刈り、草抜き、清掃など軽作業)</p>	<p>豊かな経験と能力を活かし、自分なりの働き方で社会参加をしたいという原則60歳以上の方に対し、多様なニーズに応じた臨時的、短期的な就業の機会を提供しています。高齢者の生きがいや生活の充実を図るとともに、活力ある地域社会をつくりだすことを目的とする事業です。</p>
<p>地域包括支援センター</p>	<p>高齢者が住みなれた地域で安心して暮らしていけるように、保健・医療・福祉の専門職が、各関係機関と連携し、総合相談窓口として、介護の困りごとなど様々な相談と支援を行います。 専門医と地域包括支援センター職員が認知症初期集中支援チームを組み、認知症が疑われる人及び認知症の人ならびにそのご家族に対し、速やかに支援を開始します。</p>



※中の島地区

10 アンケート調査結果

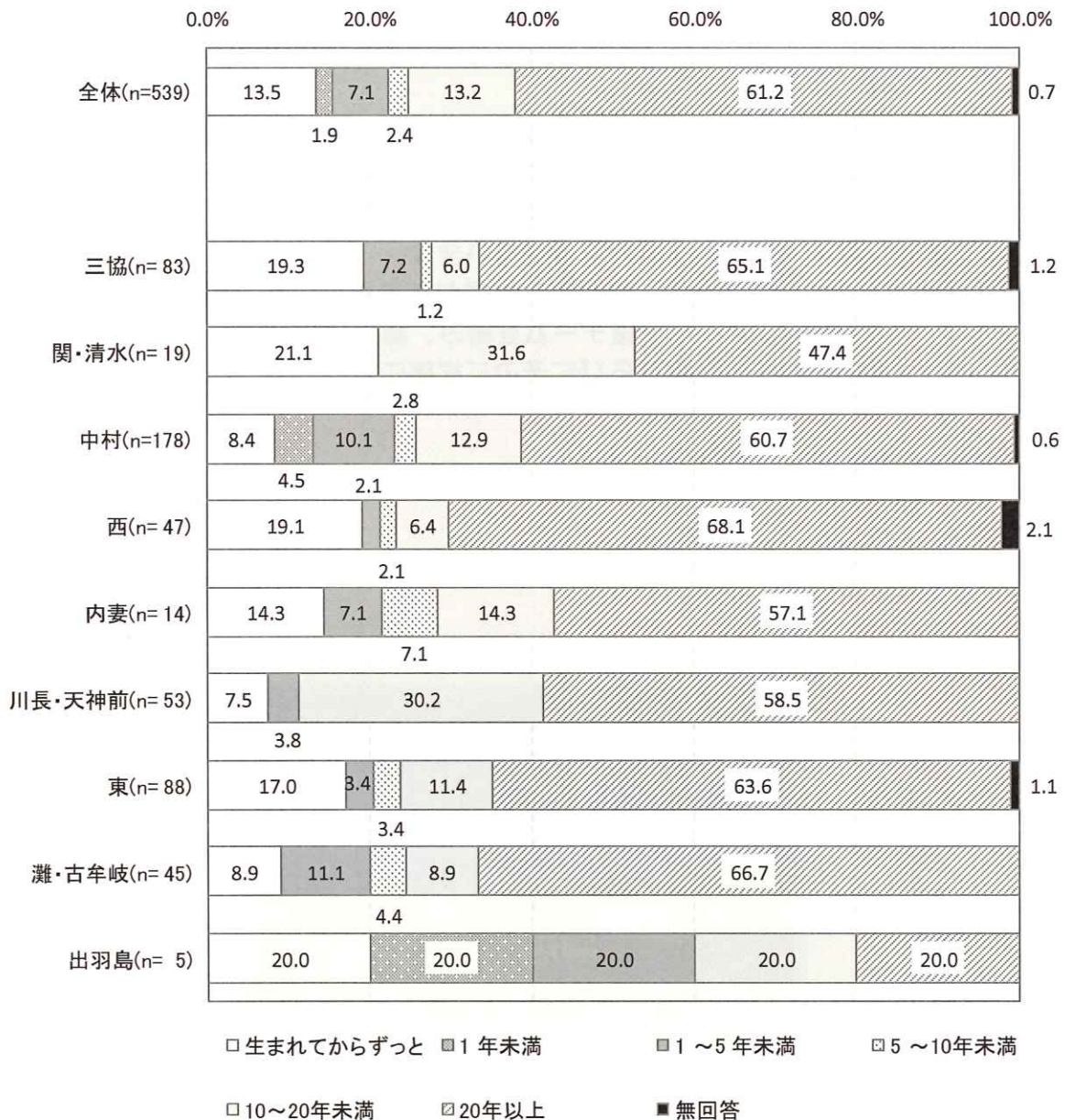
(1) 調査結果（抜粋）

◆現在お住まいの地区にはどのくらいの期間お住まいですか。【単数回答】

現在住んでいる地区での居住年数は、全体では「20年以上」が61.2%を占め、次いで「生まれてからずっと」が13.5%、「10～20年未満」が13.2%、「1～5年未満」が7.1%となっています。

地域別にみると、「20年以上」と回答した人はほとんどの地区で50%以上を占めている中、西が68.1%、三協が65.1%、灘・古牟岐が66.7%と高い割合となっています。「生まれてからずっと」の割合では、関・清水が21.1%、出羽島が20.0%（1人）、三協が19.3%、西が19.1%となっており、「生まれてからずっと」「20年以上」を合わせると、西、三協は特に人の移り変わりが少ない地域となっています。

中村では「1年未満」と回答した人が4.5%（8人）で、「1～5年未満」と合わせると14.6%となり、他の地域よりも居住年数が短い回答者が多くみられました。

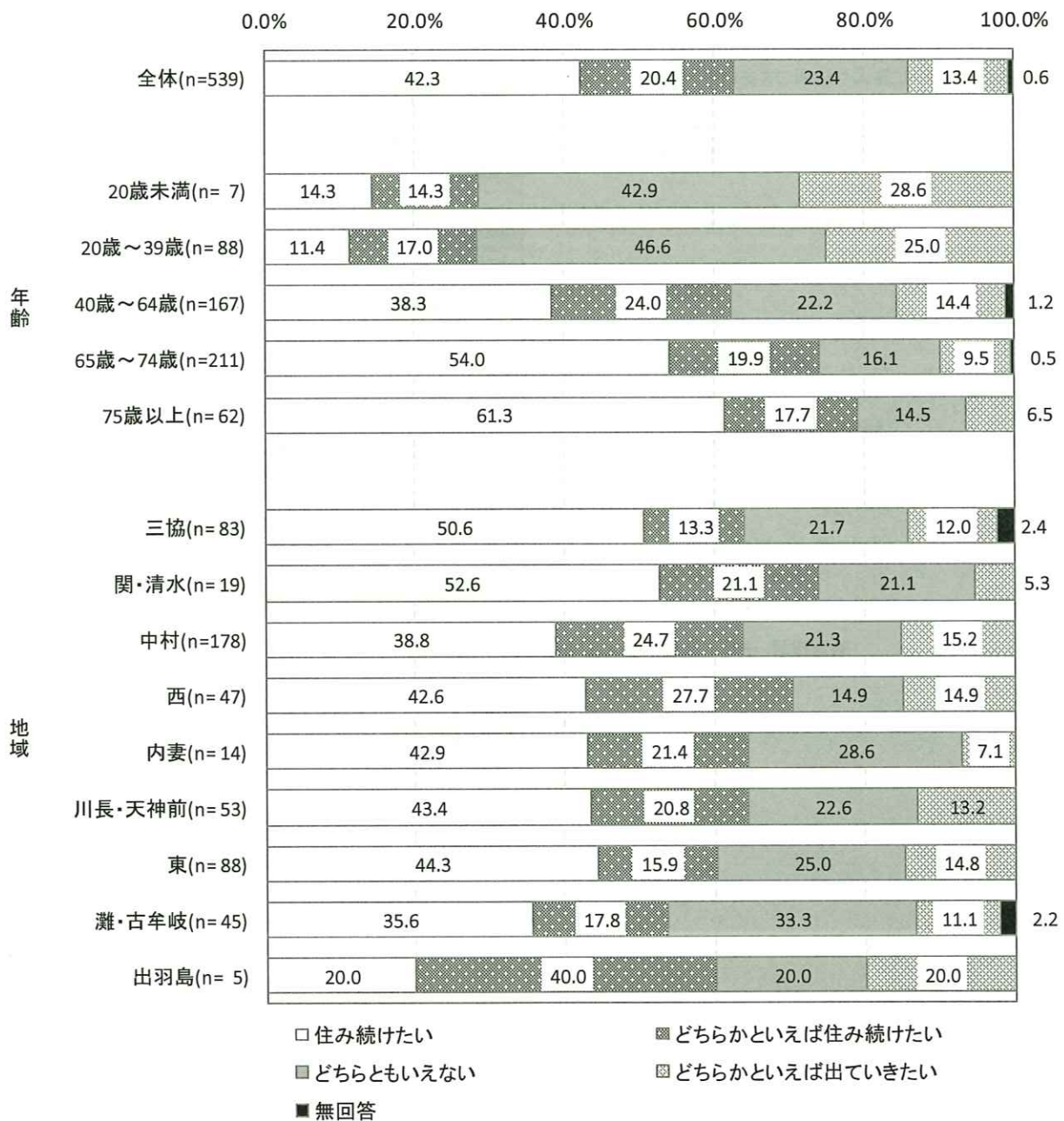


◆現在のお住まいの地区に住み続けたいと思いますか。

現在住んでいる地区にこれからも住み続けたいと思うかについては、全体では「住み続けたい」が42.3%で最も高く、次いで「どちらともいえない」が23.4%、「どちらかといえば住み続けたい」が20.4%となっていますが、「どちらかといえば住み続けたい」と回答した人が13.4%いる結果となっています。

年齢別に「住み続けたい」と回答した割合をみると、75歳以上が61.3%と最も高くなっており、最も低い20歳～39歳と比べると49.9%の差があります。年齢が高くなるにしたがい「住み続けたい」の割合が上昇する傾向にあります。

地域別にみると、関・清水において「住み続けたい」が52.6%と最も高く、三協についても50.6%と高くなっています。また、「住み続けたい」「どちらかといえば住み続けたい」と回答している人はどの地区でも過半数を超えている結果となっています。

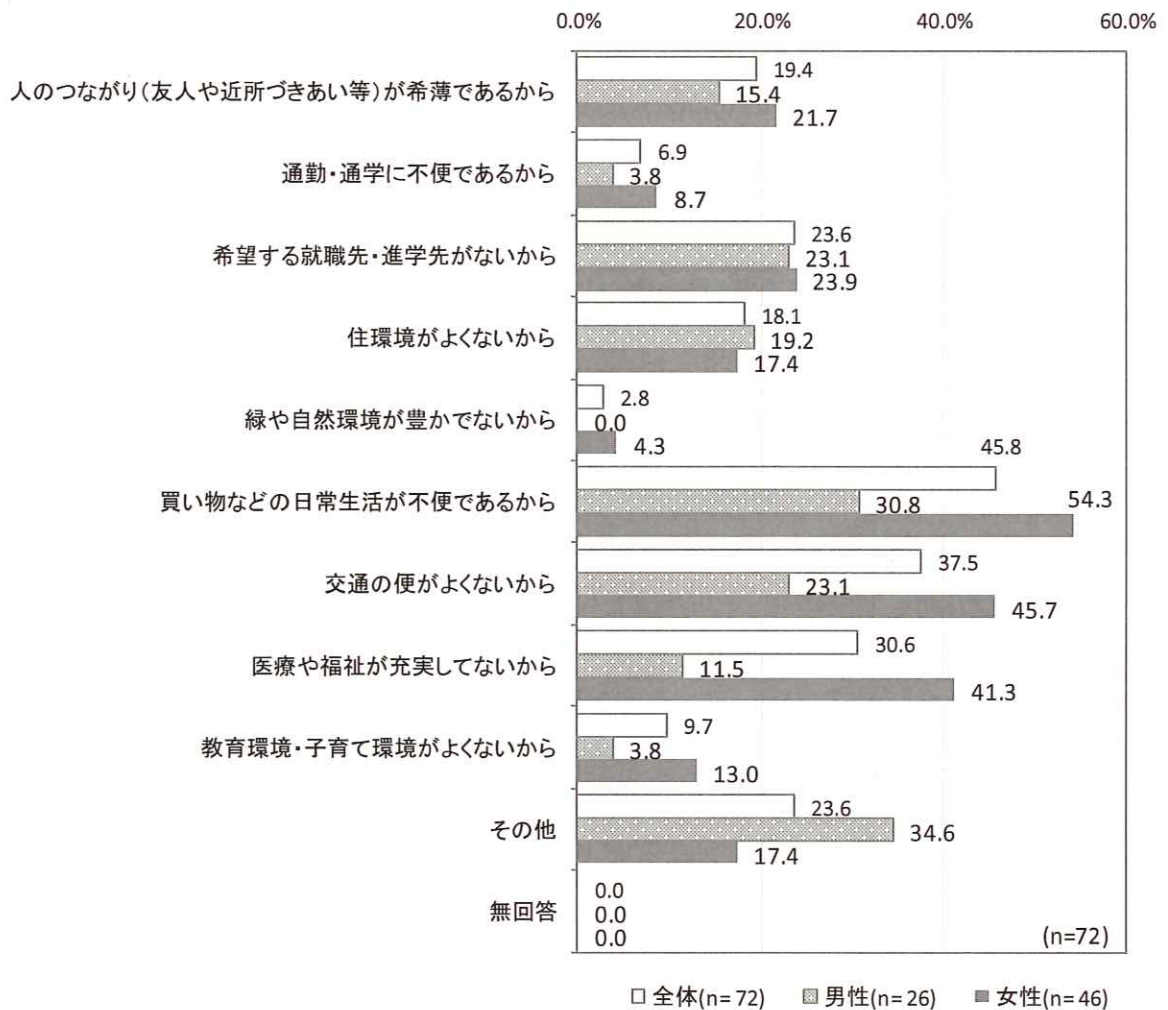


◆現在お住まいの地区に住み続けたくない理由を教えてください。【複数回答】

「どちらかといえば出ていきたい」と回答をした人に住み続けたいと思わない理由をたずねると、全体では「買い物などの日常生活が不便であるから」が45.8%と最も高く、次いで、「交通の便がよくないから」が37.5%、「医療や福祉が充実していないから」が30.6%、「希望する就職先・進学先がないから」「その他」が23.6%となっています。移動手段に対して困難を感じている人が多い結果となっています。

男女別でみると、「買い物などの日常生活が不便であるから」「交通の便がよくないから」「医療や福祉が充実していないから」の項目において差が大きくでており、女性の方が移動手段や医療、福祉のことに困を感じている人が多い傾向にあります。

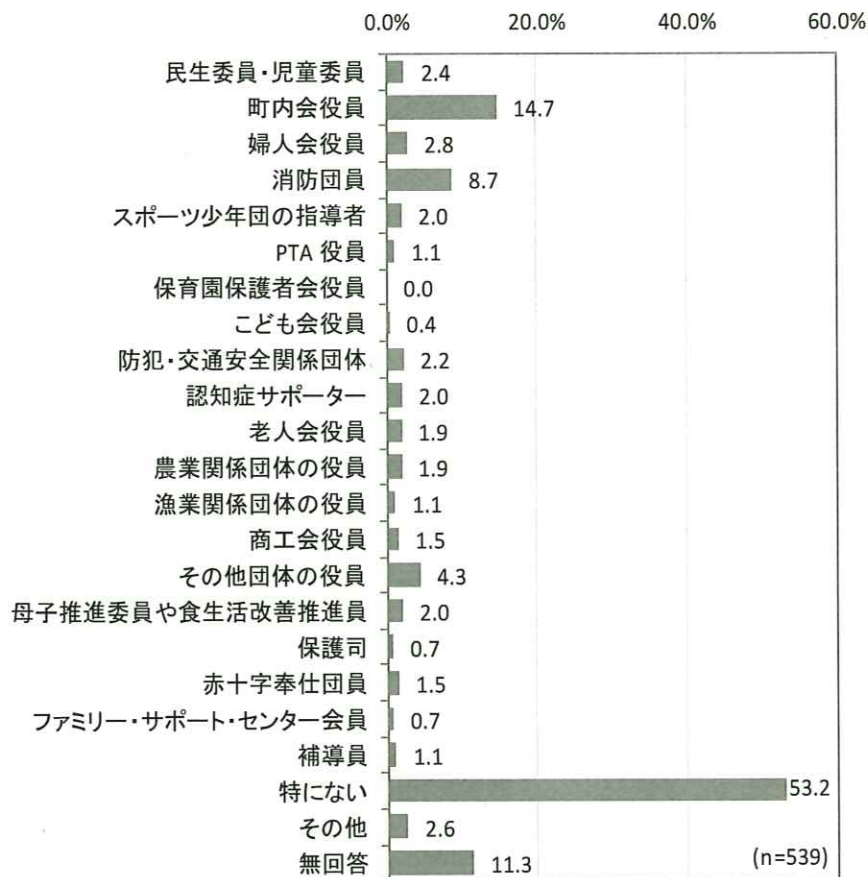
「その他」の意見としては、「津波が心配」「高台に越したい」という、近い将来起こるとされている南海トラフ巨大地震への心配の声が多くみられました。



◆現在、あなたご自身やご家族は地区で何らかの役割（役職）を務めていますか。【複数回答】

地域での役割では、「町内会役員」が14.7%と最も高く、次いで、「消防団員」が8.7%、「その他団体の役員」が4.3%となっていますが、「特にない」と回答した人が53.2%と過半数を占める結果となっています。

その他の意見としては、「傾聴ボランティア」、「人権擁護委員」、「牟岐ボランティアガイド」、「配食ボランティア」という意見がみられました。

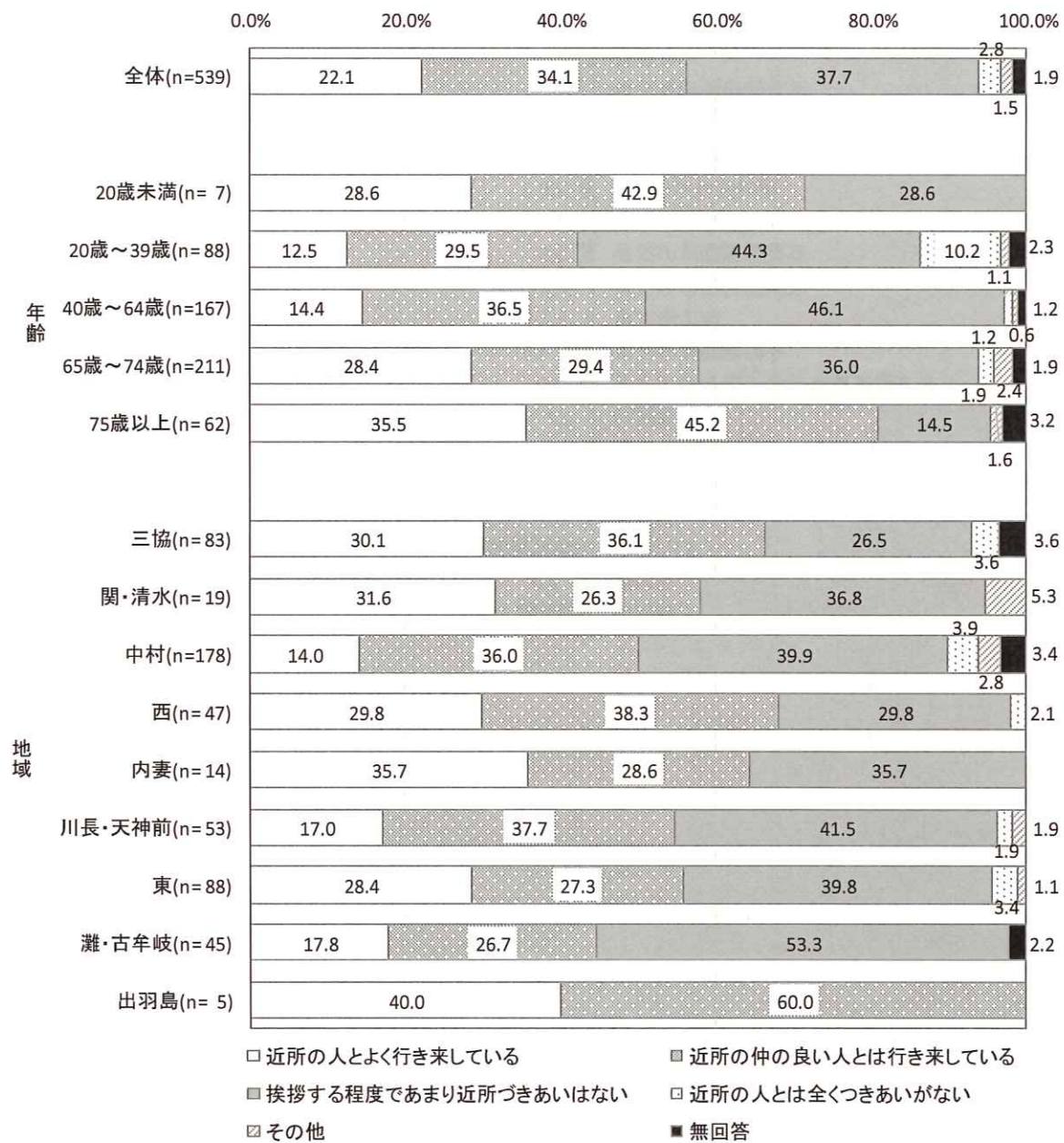


◆あなたご自身やご家族は、どのようなご近所づきあいをしていますか。【単数回答】

近所づきあいの現状については、全体では「挨拶する程度であまり近所づきあいはない」が37.7%で最も高く、次いで「近所の仲の良い人とは行き来している」が34.1%、「近所の人とよく行き来している」が22.1%の順番となっており、「近所の人とは全くつきあいがない」と回答した人は2.8%となっています。

年齢別に「近所の人とは全くつきあいがない」をみると、20歳～39歳が10.2%と最も高くなっています。「近所の人とよく行き来している」の割合では75歳以上が35.5%と最も高くなっており、年齢が高くなるにつれて近所づきあいが増加している傾向にあります。

地域別に「近所の人とは全くつきあいがない」の割合をみると、中村が3.9%と最も高く、三協が3.6%、東が3.4%と続いています。

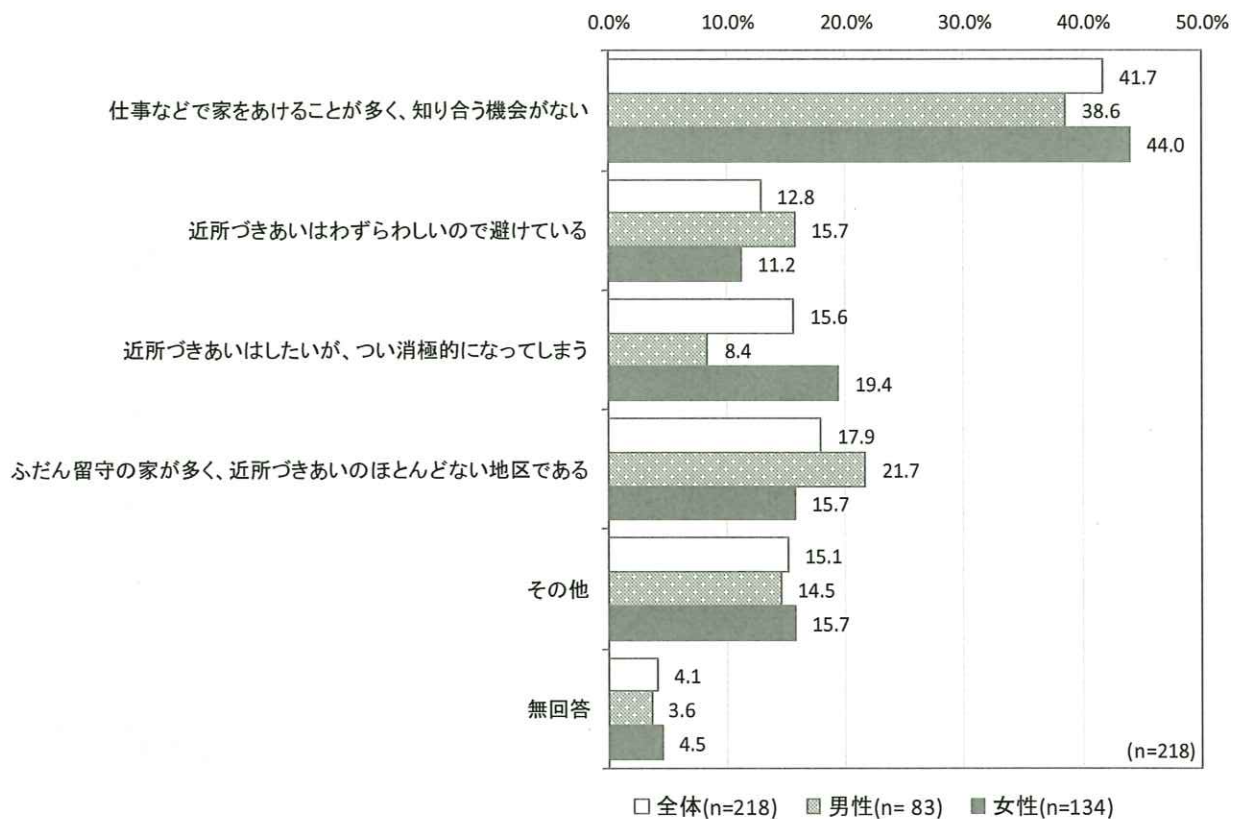


◆近所づきあいをしていない理由は何ですか。【複数回答】

近所づきあいをしていない理由として、全体では「仕事などで家をあけることが多く、知り合う機会がない」が41.7%と最も高く、「ふだん留守の家が多く、近所づきあいのほとんどない地区である」が17.9%、「近所づきあいはしたいが、つい消極的になってしまう」が15.6%と続いています。「近所づきあいはわずらわしいので避けている」と回答した人も12.8%みられます。

男女別にみると、「近所づきあいはしたいが、つい消極的になってしまう」において最も差があり、女性は19.4%と男性より11ポイント高くなっています。

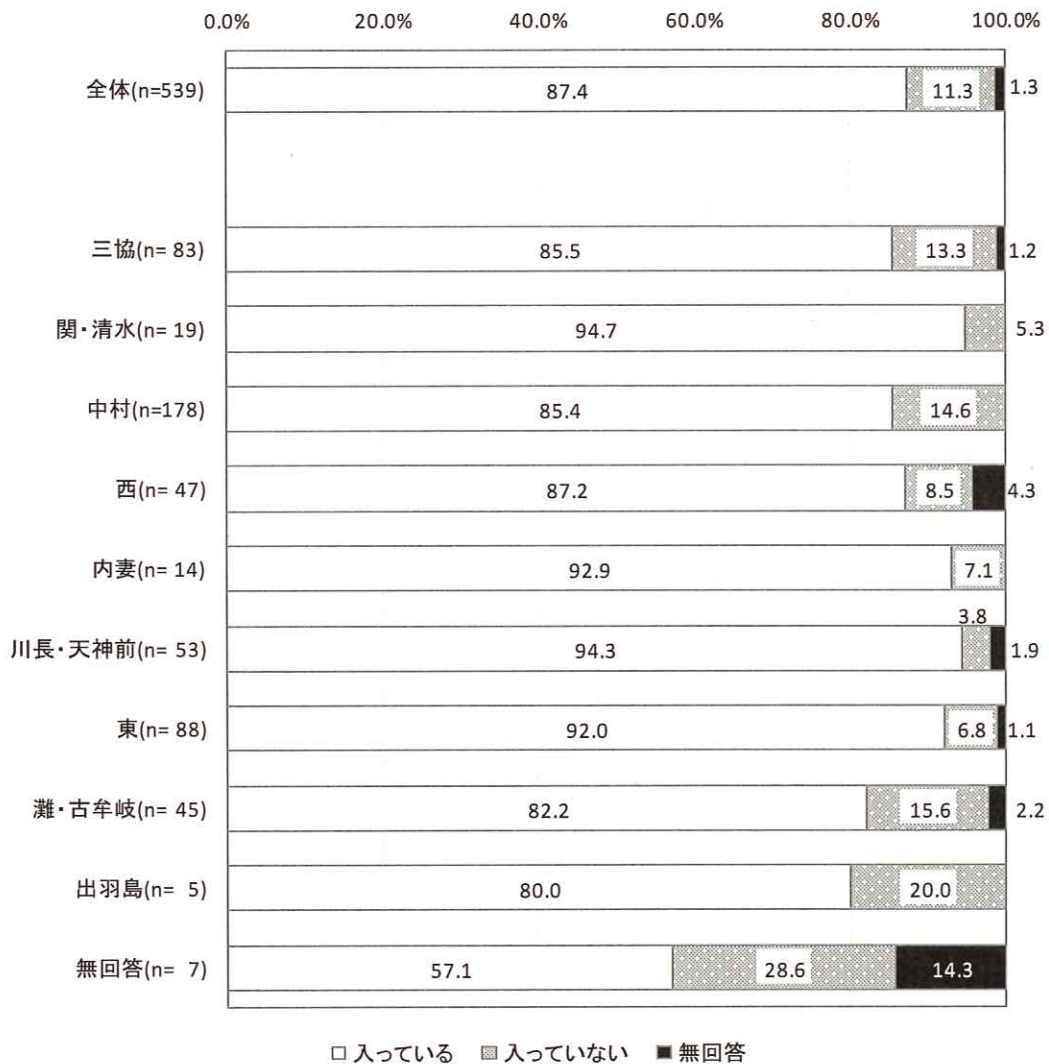
「その他」の意見として、「挨拶程度でよいと思うから」「近所の人と会う機会がない」「（近所づきあいを）する必要がない」といった意見がみられました。



◆現在、あなたご自身やご家族は町内会に入っていますか。【単数回答】

町内会への加入状況については、全体では「入っている」が87.4%、「入っていない」が11.3%となっており、約9割の人が町内会に加入しています。

地区別にみると、関・清水において「入っている」が94.7%と最も高く、次いで川長・天神前が94.3%、内妻が92.9%、東が92.0%となっています。



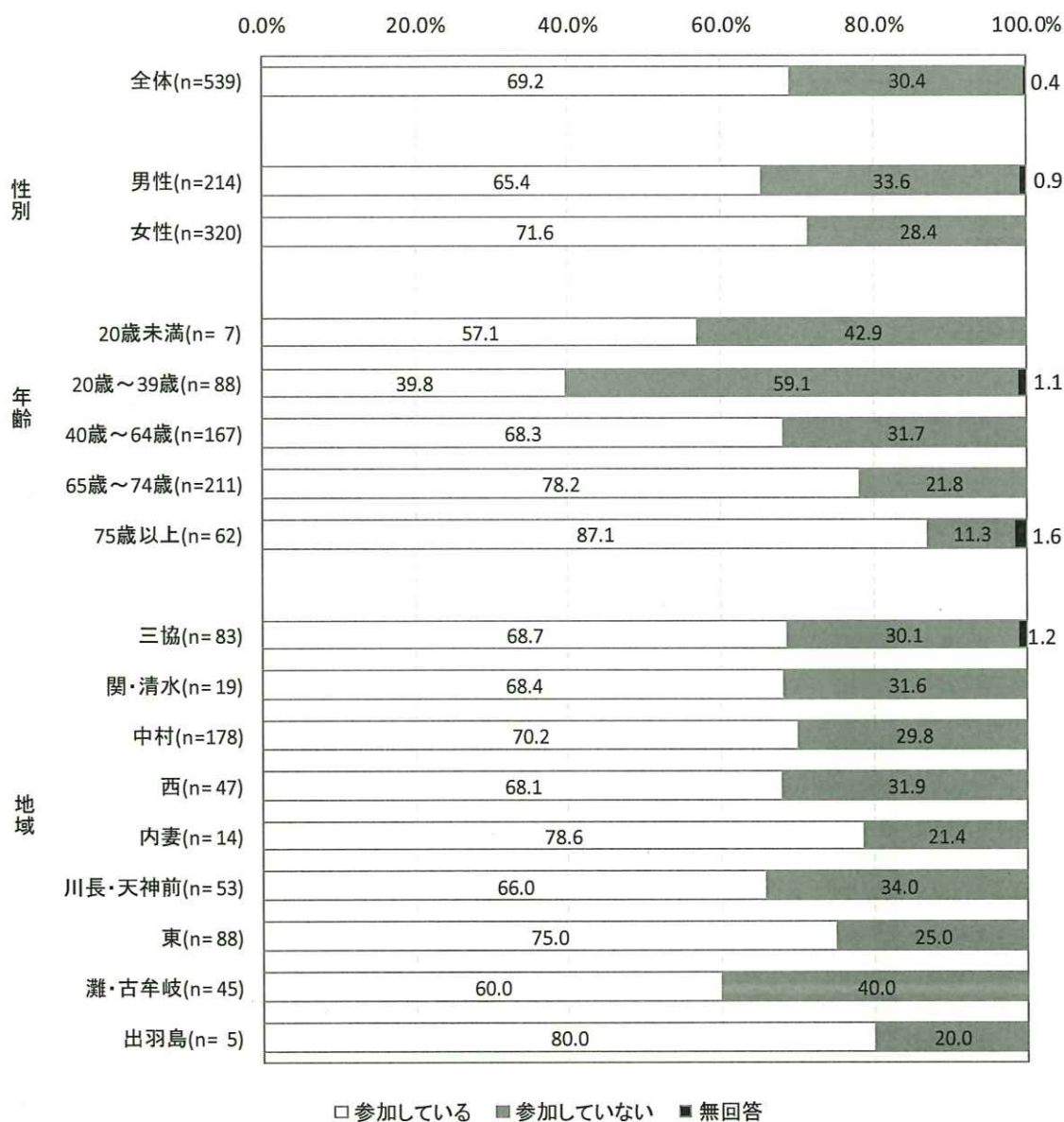
◆あなたは地区の活動や行事に参加していますか。【単数回答】

地区の活動への参加状況は、全体では「参加している」が69.2%、「参加していない」が30.4%となっており、約7割の人が参加しています。

男女別でみると「参加している」と回答した人は、男性が65.4%、女性が71.6%となっており、女性の方が6.2ポイント高くなっています。

年齢別では、75歳以上は87.1%と参加している割合が最も高くなっており、20歳～39歳（39.8%）と比べると47.3ポイントの差がみられます。若い年齢層において地区の活動や行事への参加率は低くなっています。

地域別にみると、出羽島（80.0%）、内妻（78.6%）、東（75.0%）、中村（70.2%）が全体平均より高い割合の参加がみられ、灘・古牟岐において「参加していない」の割合が40.0%と高くなっています。



◆地域の困っている世帯に対して、あなたが現在手助けをしていることはありますか。

あなたは地域に困っている世帯がある場合、今後手助けできることはありますか。

現在もしくは将来的にあなた自身が地域の人に手助けしてほしいと思うことはありますか。【複数回答】

地域の中での手助けについて、現在手助けをしていることでは、「話し相手」19.3%、「安否確認の声かけ」が17.6%、「その他」が16.1%となっています。

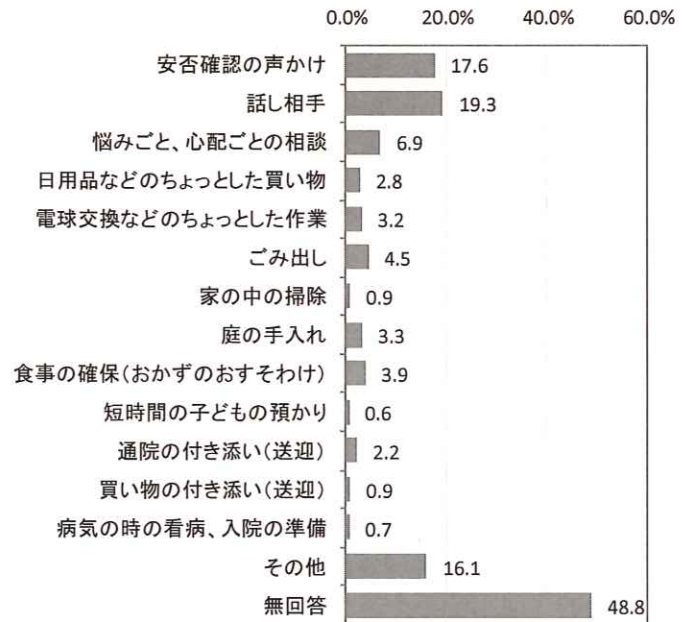
今後手助けできることは「安否確認の声かけ」「話し相手」が大きく伸びており、「日用品などのちょっとした買い物」16.9%、「ごみ出し」16.7%といった項目も伸びています。

手助けしてほしいことでは、手助けできること上位の「安否確認」や「話し相手」に加え、「通院の付き添い」「買い物の付き添い」などの移動手段への手助けも需要としてみられます。

手助けできることと手助けしてほしいことの需要と供給は一致している傾向にあります。

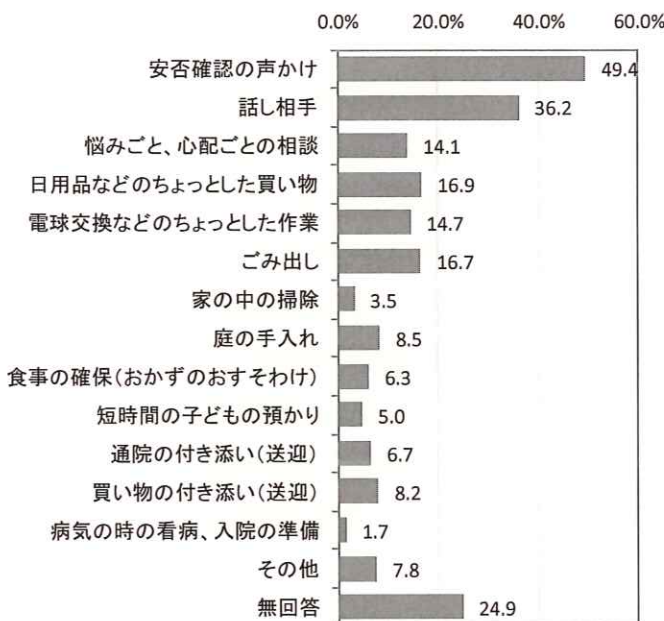
一方で、現在手助けをしていることはないという「無回答」が多くみられます。

【現在手助けしていること】



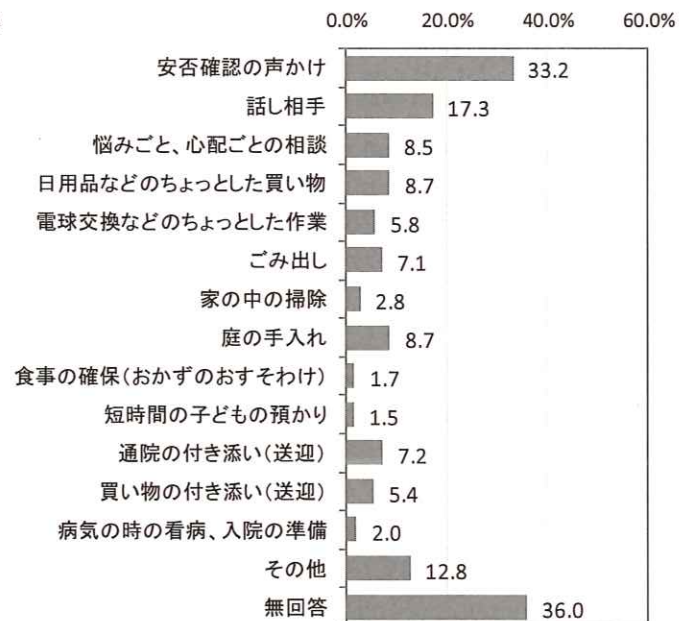
(n=539)

【今後手助けできること】



(n=539)

【手助けしてほしいこと】



(n=539)

その他の意見では、手助けをしていること、今後手助けできること、手助けしてほしいこと全てにおいて「特にない」の意見が多くありました。

「特にない」以外の意見としては、手助けをしていることでは「地域の草刈り」「農作業」「壊れ物の修理」、手助けできることでは「地域の草刈り」「重い荷物運びや高所の作業」の意見がみられました。手助けしてほしいことでは「時々料理を作ってほしい」「草刈り」という意見がみられましたが、「そっとしておいてほしい」「できるだけ自分でやれるようにしたい」といった助けを求めない声もみられました。

また、手助けしてほしいことを地域別にみると、関・清水以外は「安否確認の声かけ」が1位となっており、関・清水においては「通院の付き添い（送迎）」が1位となっています。

手助けをしていること、手助けできることでは地域差があまりみられませんでした。

【地域別（手助けしてほしいこと）】

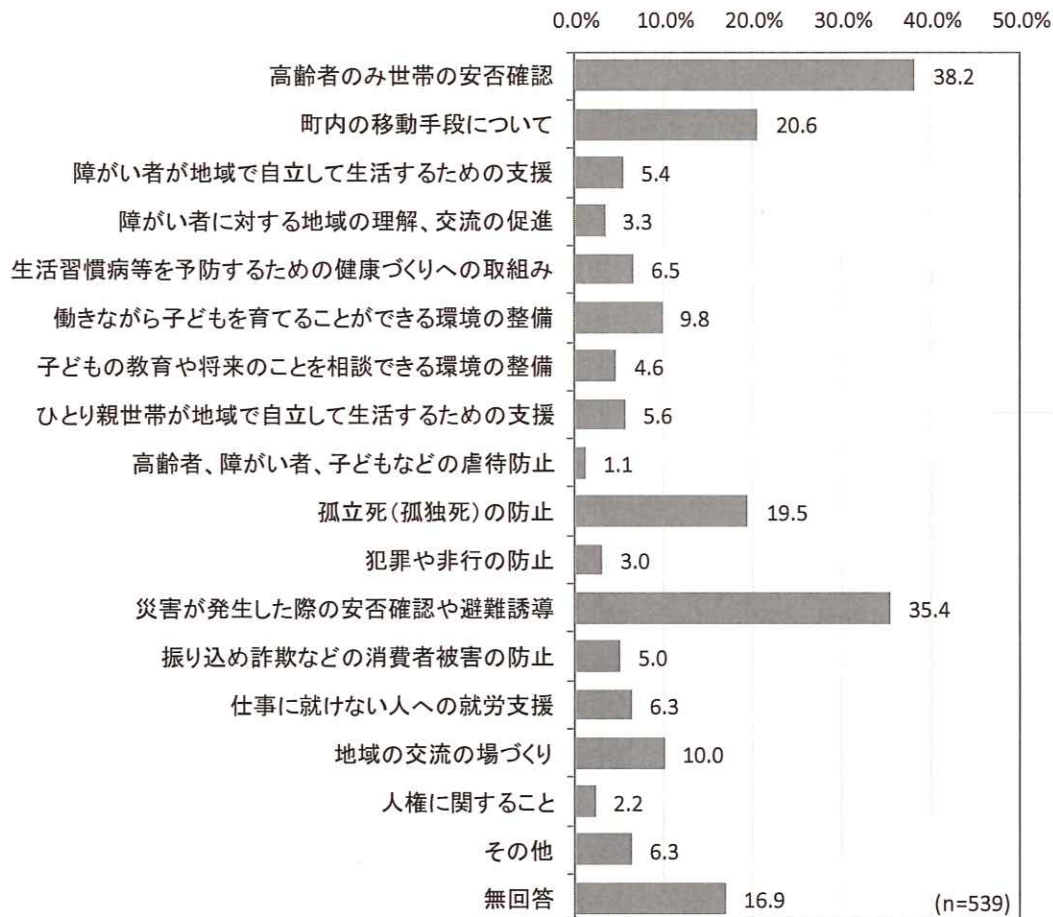
	安否確認の声かけ	話し相手	心配ごと、悩みごととの相談	ちよっとした買い物 日用品などの	電球交換などの ちよっとした作業	ごみ出し	家の中の掃除	庭の手入れ	（おかずのおすそわけ） 食事の確保	短時間の子どもの預かり	通院の付き添い （送迎）	買い物付き添い （送迎）	病気の時の看病、 入院の準備	その他	無回答
三協(n= 83)	28.9	25.3	12.0	10.8	1.2	9.6	2.4	8.4	1.2	-	9.6	4.8	3.6	15.7	31.3
関・清水(n= 19)	5.3	15.8	-	5.3	5.3	5.3	-	15.8	-	-	21.1	-	-	10.5	52.6
中村(n=178)	34.8	16.9	6.2	9.0	7.9	7.9	2.8	12.4	1.1	2.2	5.6	7.9	3.4	11.8	33.7
西(n= 47)	42.6	23.4	10.6	12.8	6.4	6.4	2.1	4.3	4.3	2.1	17.0	8.5	-	6.4	38.3
内妻(n= 14)	21.4	21.4	14.3	14.3	7.1	14.3	14.3	21.4	7.1	-	21.4	7.1	-	28.6	28.6
川長・天神前(n= 53)	35.8	7.5	7.5	5.7	5.7	1.9	1.9	5.7	3.8	1.9	3.8	3.8	-	13.2	43.4
東(n= 88)	35.2	18.2	10.2	8.0	8.0	4.5	1.1	4.5	1.1	1.1	2.3	2.3	2.3	15.9	34.1
灘・古牟岐(n= 45)	35.6	8.9	6.7	2.2	-	4.4	2.2	2.2	-	-	2.2	2.2	-	11.1	40.0
出羽島(n= 5)	60.0	20.0	40.0	40.0	20.0	60.0	-	20.0	-	20.0	20.0	20.0	-	-	-

※濃い色から順に 1～3 位まで網掛けをしています。

◆あなたの地域の中で優先的に解決しなければならない困りごとはありますか【複数回答】

地域の中で解決しなければならない問題では、「高齢者のみ世帯の安否確認」が38.2%と最も高く、次いで「災害が発生した際の安否確認や避難誘導」が35.4%、「町内の移動手段について」が20.6%、「孤立死（孤独死）の防止」19.5%、「地域の交流の場づくり」が10.0%となっています。

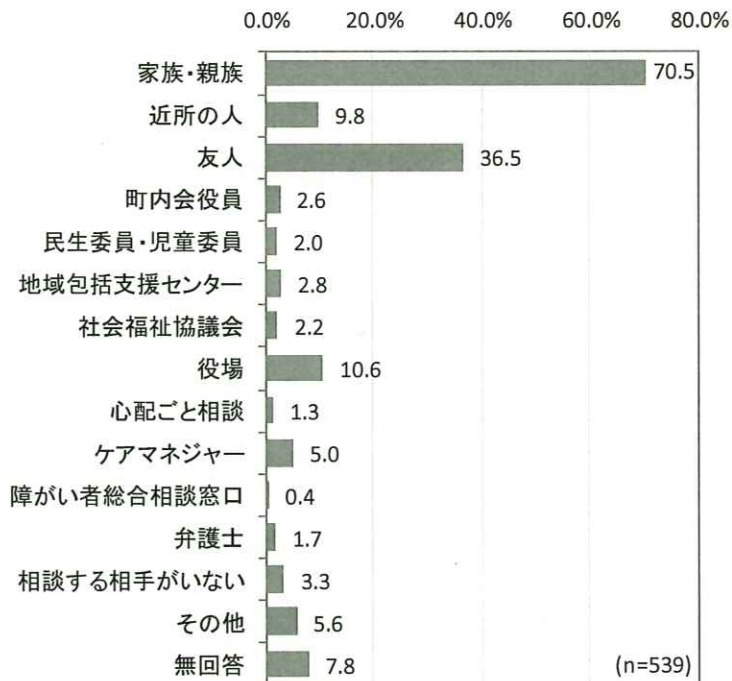
その他の意見として、「津波などの避難路の整備・避難所の草刈り」「移住者を迎えらるる環境の整備、意識改革」「安定して働ける職場」「中高年のひきこもり」などの意見がみられました。



◆あなたやご家族は、生活の困りごとを解決したい時、よくどこに相談しますか。

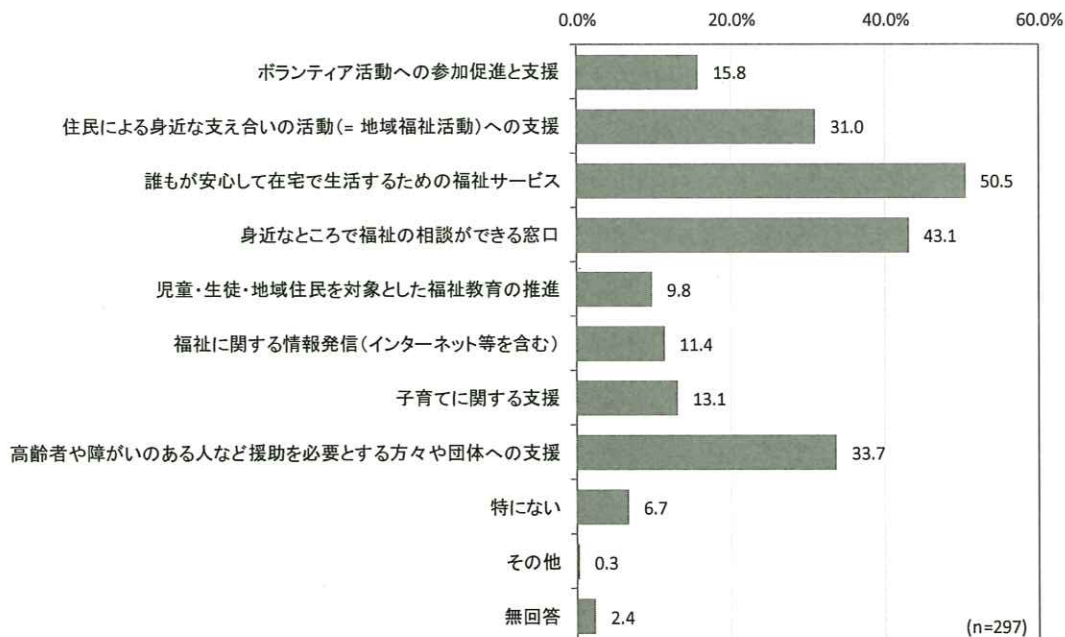
【複数回答】

困りごとの相談先としては、「家族・親族」が70.5%と最も高く、次いで「友人」が36.5%、「役場」が10.6%、「近所の人」が9.8%となっています。「相談する相手がない」と回答した人も3.3%みられます。



◆社会福祉協議会が行う活動や支援のうち、あなたが今後、充実してほしいと思うものはどれですか。【複数回答】

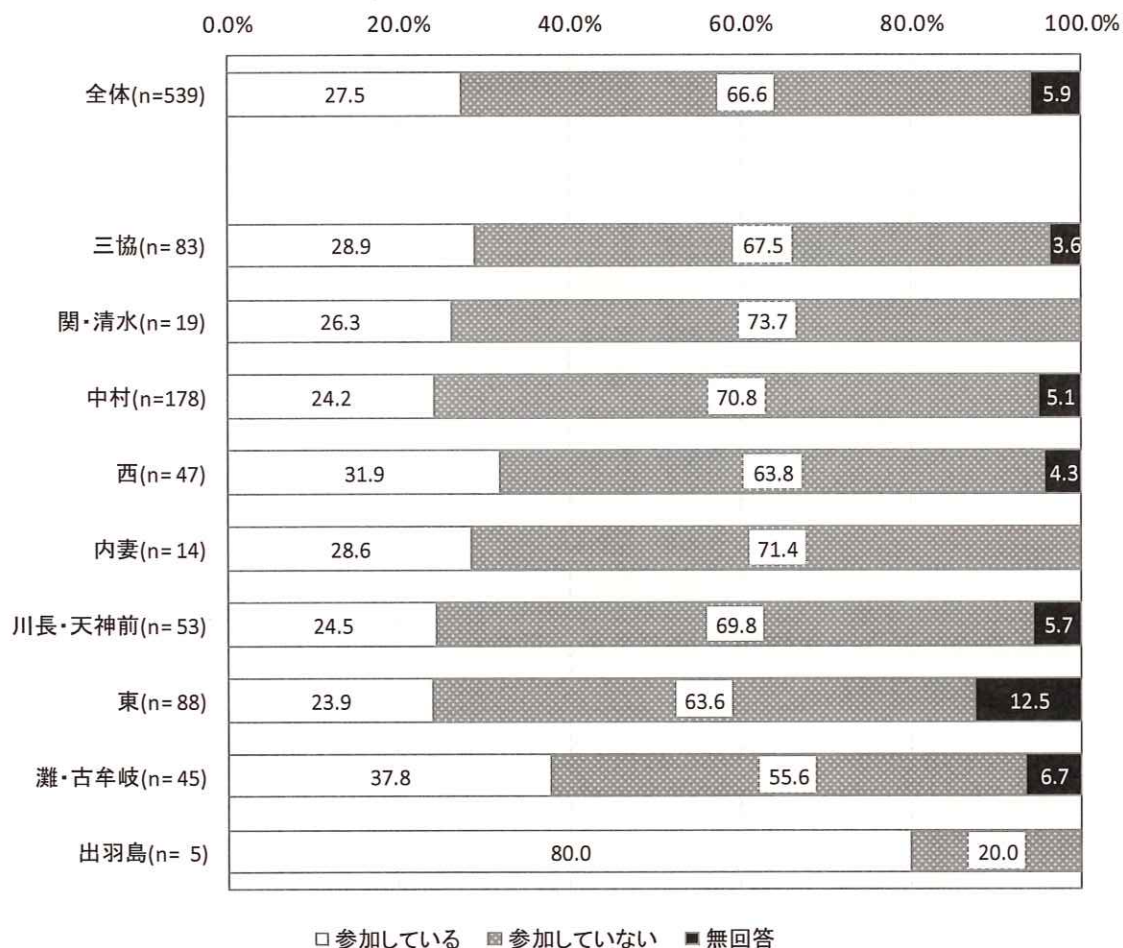
社会福祉協議会を知っていると回答した人に充実してほしい活動や支援をたずねたところ、「誰もが安心して在宅で生活するための福祉サービス」が50.5%、「身近なところで福祉の相談ができる窓口」が43.1%、「高齢者や障がいのある人など援助を必要とする方々や団体への支援」が33.7%「住民による身近な支え合いの活動（＝地域福祉活動）への支援」が31.0%となっています。



◆あなたはボランティアなどの地域活動に参加されたことがありますか。【単数回答】

地域活動への参加状況では、「参加していない」が66.6%、「参加している」が27.5%となっています。

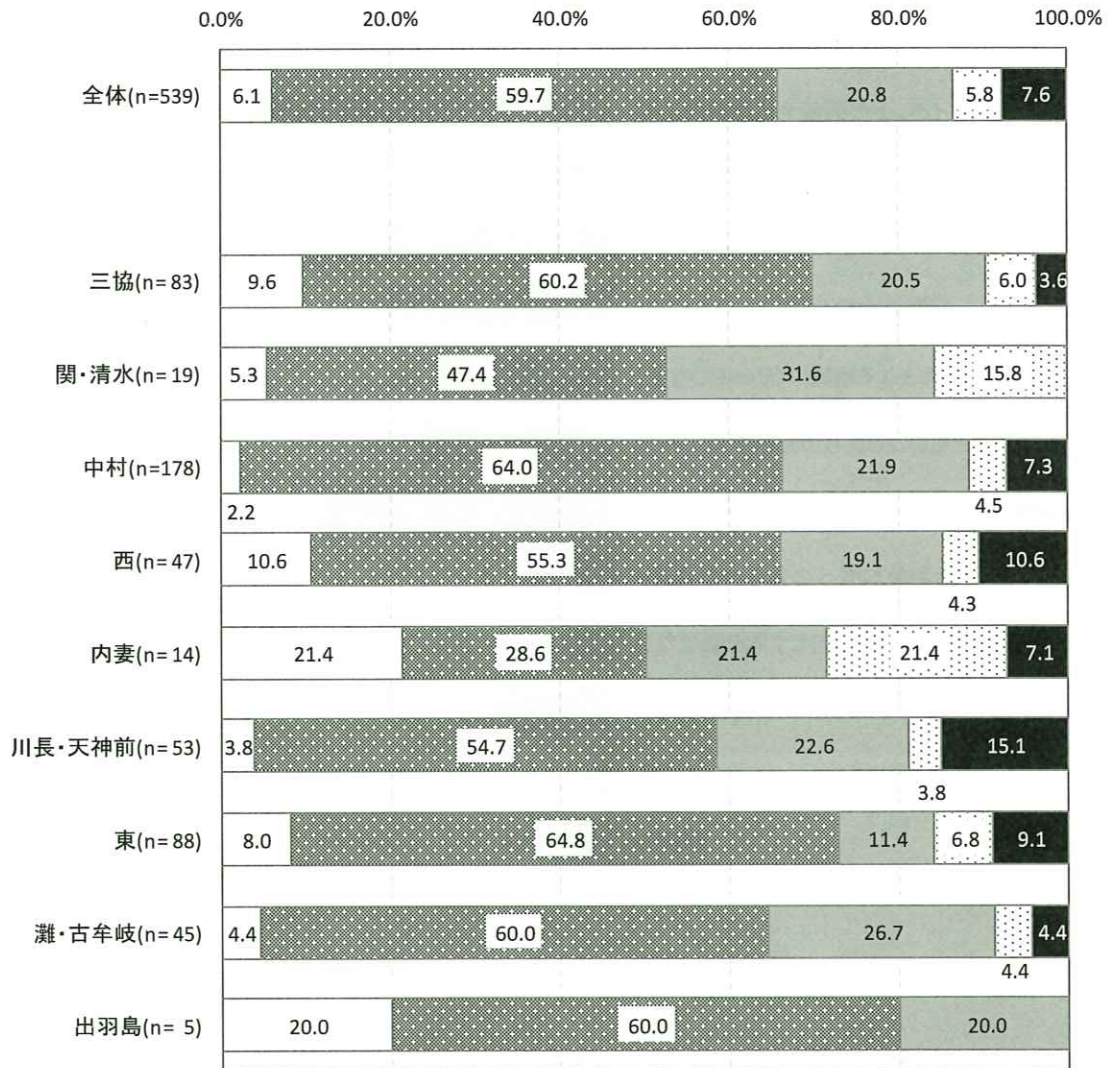
地区別にみると、関・清水において「参加していない」と回答した人が73.7%と最も高くなっており、内妻が71.4%、中村が70.8%、と7割を超えています。一方、出羽島では5人中4人が「参加している」（80.0%）と回答しています。



◆あなたは地域をよくする話し合いに参加したいと思えますか。【単数回答】

地域をよくする話し合いへの参加意欲は、全体では「率先して参加したい」が 6.1%、「状況を見て参加したい」が 59.7%と参加意欲のある方が 6 割以上を占めています。一方で「絶対に参加したくない」と回答した人が 5.8%みられます。

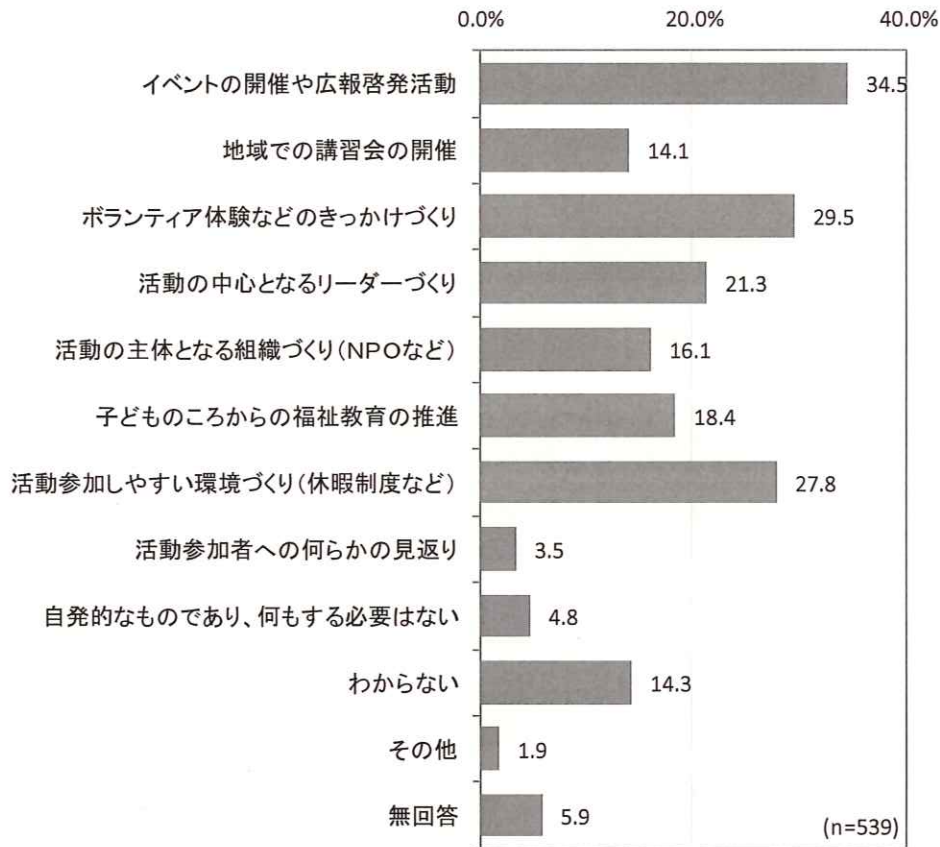
地域別にみると、内妻において「絶対に参加したくない」と回答した人の割合が 21.4%と最も高くなっており、関・清水が 15.8%と続いています。



- 率先して参加したい
- ▨ 状況を見て参加したい
- 参加したくないが町内会等の活動となれば仕方なく参加する
- ▤ 絶対に参加したくない
- 無回答

◆今後、地域での福祉活動を盛んにするためには、どのようなことが効果的だと思いますか。【複数回答】

福祉活動を盛んにするために効果的だと思うことは、「イベントの開催や広報啓発活動」が34.5%、「ボランティア体験などのきっかけづくり」が29.5%、「活動参加しやすい環境づくり（休暇制度など）」が27.8%、「活動の中心となるリーダーづくり」が21.3%となっています。



1 1 牟岐町の課題

人口などの現状、住民アンケート、地区座談会を踏まえた本町の課題は以下のようになっています。

視点1 地域での見守り体制

- 本町の人口は減少傾向にあり、高齢化率も上昇しています。高齢化率は50.7%となっており、地区別にみると60%を超えている地区も多くあります。高齢化により一人暮らし高齢者、高齢者のみ世帯、認知症の人の増加が考えられ、地域で見守りの体制を強化していく必要があります。
- アンケート調査では、近所づきあいについて、「挨拶する程度であまり近所づきあいはない」「近所の人とは全くつきあいがいい」と回答した人が約4割を占める結果となっています。
- また、地域の中で優先的に解決しなければならない問題では「高齢者のみ世帯の安否確認」が38.2%と最も高くなっており、孤立死（孤独死）の防止も上位となっています。
- 座談会では「一人暮らしは心配」「一日中家に引きこもっている人がいる」「つきあいのできない人がいる」などの意見がありました。



全国的に地域の希薄化が問題となっており、本町においてもつながりの希薄化が進行しています。地域での声かけや助け合いを進め、支援を必要とする人に気づき、見守る等の体制を整える必要があります。

視点2 災害への備え

- 本町は海と山に囲まれ、美しい自然環境・景観を持っています。しかし、地震や台風などの自然災害において大きな被害がでることも予想されます。
- アンケート調査で、地域の中で優先的に解決しなければならない問題に「災害が発生した際の安否確認や避難誘導」が上位となっています。また、地区の活動・行事への参加状況において、「参加している」と回答した人の活動内容では「防犯・防災・交通安全活動」と回答した人の割合が13.1%と低くなっています。
- 座談会においても、「自然災害が多い」、「津波や土砂崩れが心配」「地震、津波時の高齢者の避難」などの意見がありました。



いざという時に迅速に対応できるように、日頃から防災に目を向け、防災活動に積極的に参加するなど、防災に備えておくことが必要です。また、災害時に助け合いができるよう、隣近所の人のことや高齢者や障がい者、難病者等の避難行動要支援者を把握する体制づくりも必要となります。

視点3 地域活動の活性化

- 介護保険の要支援・要介護認定者が増加しており、それだけではなく、地域には障害者手帳所持者や生活保護世帯など、支援を必要とする人がいます。
- アンケート調査において、地域活動への参加状況は、「参加していない」が66.6%、「参加している」が27.5%という結果となっており、参加している人が少ない現状となっています。
- また、福祉活動を盛んにするために効果的だと思うことは、「イベントの開催や広報啓発活動」が34.5%、「ボランティア体験などのきっかけづくり」が29.5%、「活動参加しやすい環境づくり（休暇制度など）」が27.8%、「活動の中心となるリーダーづくり」が21.3%となっていました。



本町には様々なボランティア活動や地域の活動があります。しかし、参加状況が3割程度となっていることから、今後、新たな参加者を増やしながらか、地域活動を活性化していくことが重要です。また、地域活動を活性化していくことにより、生きがいづくりや地域福祉の担い手・リーダーづくりにもつながります。

視点4 相談支援体制の充実

- 地域には複合的な福祉課題を抱えている世帯が増加傾向にあり、その対応が課題となっています。
- アンケート調査では、困りごとの相談先として「役場」が10.6%、「近所の人」が9.8%と低くなっています。「相談する相手がない」と回答した人も少数ですが、いる結果となっています。
- また、社会福祉協議会に対し充実してほしいことでは「身近なところで福祉の相談ができる窓口」が上位となっています。
- 座談会では「介護疲れ」や「独りになったとき心配」などの意見がありました。



相談しやすく、適切な対応ができる相談支援体制の充実が必要です。また、一人ひとりの様々な問題に対し、福祉サービスを提供する専門機関等による連携強化を図り、福祉分野ごとではなく、包括的な支援体制を整備し、全世代・全対象型地域包括支援体制の構築を目指していきます。

視点5 暮らしや福祉サービスの充実

- アンケート調査の「現在のお住まいの地域に住み続けたくない理由」では、「買い物などの日常生活が不便であるから」、「交通の便がよくないから」、「医療や福祉が充実していないから」が上位3つとなっています。
- 援助を必要とする人の適切な福祉サービス利用のために優先すべきことでは「その人に必要な福祉サービス窓口の選択、利用支援をしてくれる窓口」「福祉サービスに関する情報提供」が上位となっています。
- また、社会福祉協議会に対し充実してほしいことでは、「誰もが安心して在宅で生活するための福祉サービス」が1位となっています。
- 座談会でも、「病院への通院手段、買い物等の交通手段がない」などの移動手段への意見や要望が多数ありました。



わかりやすく安心して福祉サービス等を利用することができるよう、情報提供の充実に努めることが重要です。また、高齢になっても暮らし続けていくことのできる地域を目指すために、サービスの質の向上や新たな福祉サービスの検討等、環境の整備を進めていく必要があります。



※平野地区

第3節 計画の基本的な考え方

1 地域福祉計画・地域福祉活動計画の基本理念

本町では、少子高齢化の進展に伴い、一人暮らし高齢者が増加しています。また、地区によっては、隣近所とのつきあいが少ない、ひきこもりへの心配、一人暮らしへの不安の声があがっています。

人と人の「つながり」が薄れつつある現在において、高齢者や子どもたち、障がいのある人たちなど、地域で共に暮らす人々が地域を構成するかけがえのない一人として生活していくためには、すべての住民が住み慣れた地域や家庭の中で、お互いに思いやりの心を持ち、ともに助け合い、支え合うことがますます重要となっています。

住民みんなが地域福祉の担い手となって、特定の人が特定の人を「支える」一方向の関係ではなく、お互いに支え、支えられる双方向の関係を築き、その関係性を深めていくことが大切です。そこで本計画では「お互いさまをつないで ひろがる 温かい町づくり」を基本理念に掲げて取り組んでいきます。

お互いさまをつないで ひろがる 温かい町づくり

基本理念のもと「この人は支える人、この人は支えられる人」と固定的になるのではなく、その垣根を越えて支える時もあれば支えられる時もあるというお互いさまの関係づくりをして、住民みんなが主役となり、みんなで支え合い誰もが安心して暮らせる温かい地域づくりを目指します。

2 基本目標

地域福祉計画の基本目標

基本目標1 みんなが支えるつながりづくり

子ども、高齢者、障がいのあるなしにかかわらず、地域で暮らす誰もが支え、支えられる関係を築いていけるよう、地域で支え合う仕組みづくりを推進します。一人暮らし高齢者が増加していることから、地域のみんが顔見知りの昔ながらの牟岐町の良さを取り戻しつつ、隣近所で見守りができる町を目指します。また、地震や津波、台風などの災害時に助け合いがスムーズにできる地域に向け、防災への取り組みを強化します。

基本目標2 地域福祉を推進する人づくり・組織づくり

地域福祉を推進していくためには、住民一人ひとりの福祉意識の向上が大切です。さらに、リーダーや担い手となる人材の育成にも取り組んでいく必要があります。本町には、様々なボランティア活動や地域の行事があり、住民が活躍できる環境が整っていますが、参加者の固定化、若者の参加低下などの課題もあります。

今後さらに、学校や多様な分野と連携した福祉教育を推進するとともに、地域で活躍するリーダー・福祉人材の育成や団体活動への支援によって、町民の自発的・主体的な活動の活性化を促進します。

基本目標3 福祉サービスが利用しやすいまちづくり

生活や福祉課題の多様化、複雑化のために、当事者の力や住民同士の助け合いだけでは解決できない問題のケースや個人情報の問題や社会的に孤立しているため困りごとを抱える世帯が表面化せず深刻化しているケースが増加しています。

住民誰もが暮らしやすい地域を目指していくために、身近な地域で相談やサービスの提供につなげる支援体制、情報提供の促進、権利擁護や生活困窮者など、地域の様々な問題に対して包括的に支援する体制を整備します。

地域福祉活動計画の基本目標

基本目標1 人と人、地域のつながり

ご近所づきあいの始まりのため、まずあいさつを自分から行い、顔の見える関係づくりに努め、「人と人、地域のつながり」を再構築できるよう進めていきます。昔と比べ希薄となった社会のつながりを復活させ、子ども・高齢者・障がいのある方・働かれている方などすべての住民の様々な問題や課題を知り、お互いにちょっとした見守りや支えあうことのできる地域づくりを目指します。

基本目標2 災害に備える

生活上の様々な課題を抱えている方々は、災害時には生命の危機とともに、平常時よりさらに深刻な生活状況となることが予想されます。近年は各地で大規模な災害が発生しており、被災者や被災地の復旧・復興支援等においては、災害ボランティアセンターの担う役割が必要不可欠なものとなっています。社会福祉協議会では、災害の発生時に迅速に災害ボランティアセンターを設置し、関係機関と協力のもと、効率的かつ効果的に支援活動が展開できるよう体制の充実に努めていきます。牟岐町との連携のもと、住民の方々の状況や生活上のニーズを平常時より把握し、いざという時も生活の安定が極力図れるよう対応策を検討しておく必要があります。災害時に要援護者を支援するため、日頃からの見守り活動、地域住民とのつながりを大切に取り組みます。また、災害時に助け合える日頃のつながりづくりや、住民の皆さまを対象とした防災イベントや訓練を開催するなど、防災意識の啓発に努めます。

基本目標3 健康、いきがづくり

ひとが、生涯にわたって健康で自分らしく暮らすことは、基本的人権の尊重にとって不可欠です。自分自身や家族の健康についての不安・悩みに対して、それぞれが健康づくりを意識していくことの重要性を発信していきます。元気な高齢者がこれらの生活支援の担い手として活躍することは、閉じこもりや孤立化を予防し、介護予防や生きがづくりにもつながるため、生活支援担い手育成の促進を図ります。当事者組織の支援を行い、同じ立場で悩みを共有できる仲間づくり、生きがづくりを推進するとともに、社会参加を促進します。また、能力を活かし、自立した生活を送るための取り組みを推進します。

基本目標4 「美しい牟岐町」を守る

自然豊かな牟岐を守るため地域住民等が一体となり、地域への愛着をもって毎日を過ごしていくために、住みよい生活環境を保ち、それぞれが協力し合えることを推進していきます。各種団体等とも連携して、ゴミの投げ捨て等をなくし、自然環境保護の意識を高め、生活マナーの向上ができるように努めます。

基本目標5 人としての尊厳と権利を守る

一人ひとりを認め合い、基本的人権を重んじ誰もが地域で当たり前暮らしを暮らせる地域づくりを行います。認知症高齢者や、知的および精神に障がいがあるなど、意思決定に不安のある方々への相談に丁寧な対応を行い、福祉サービスの利用援助や、自分の財産の管理ができなかったり、手続き等が困難な事で不利益が生じないよう制度や福祉サービスを円滑に利用するためのお手伝いに努めます。また、子どもや高齢者・障がいのある方を狙った犯罪・事故や虐待などを防止するため、地域の見守り、声かけの充実を図り、早期発見、予防、解決できる体制づくりの推進や、認知症高齢者の増加への対応、障がいのある人の自立生活支援のための権利擁護を支援します。

基本目標6 相談しやすい環境づくり

近年、相談内容や求められるサービス内容が複雑化・多様化しています。相談が必要な方に情報が届くような体制づくりや関係機関相互の連携の強化を行います。

また、多種多様な相談に柔軟に対応できるように断らない支援を心がけ、敷居の低い身近な相談窓口づくりに努めます。

3 施策の体系

地域福祉計画の体系

基本目標1 みんなが支え合えるつながりづくり	
(1) 地域のつながりづくり	1.ご近所での支え合いの推進
(2) ★地域の見守り体制の強化	1.地域見守りネットワークの構築
(3) 福祉活動の拠点づくり	1.地域住民が集う場所の整備 2.世代間交流の促進
(4) ★地域防災力の強化	1.防災活動の推進 2.災害時要援護者支援体制の充実 3.情報提供体制、避難場所等の整備 4.防犯活動の推進
基本目標2 地域福祉を推進する人づくり・組織づくり	
(1) 地域福祉を担う人材の育成	1.福祉教育の推進 2.地域福祉の担い手やリーダーの育成
(2) ★地域福祉活動の推進	1.活動・参加しやすい環境づくり 2.民生委員・児童委員活動への支援
(3) 生きがいづくり	1.健康づくりの促進
基本目標3 福祉サービスが利用しやすいまちづくり	
(1) ★相談支援体制の充実	1.相談窓口と体制の強化 2.包括的な支援体制の基盤整備
(2) ★福祉サービスの充実	1.情報提供の充実 2.地域の移動手段の確保
(3) 生活困窮者への支援	1.地域生活課題の把握と情報共有の仕組みの強化 2.生活困窮者の自立支援の推進
(4) 権利擁護の推進	1.権利擁護の推進
(5) 保健・医療・福祉等の連携強化	1.連携体制の構築・強化

※★印は本計画の重点施策となっています。

地域福祉活動計画の体系

基本目標 1 人と人、地域のつながり
(1) あいさつ運動の推進
(2) 見守り、支え合いの地域づくり
基本目標 2 防災に備える
(1) 顔見知りの関係づくり
(2) 誰もが参加できる交流の場づくり
(3) 防災訓練の充実
(4) 防災意識の向上
基本目標 3 健康、いきがいづくり
(1) いきがいづくり
(2) 健康寿命の延伸
基本目標 4 「美しい牟岐町」を守る
(1) 環境美化活動の推進
基本目標 5 人としての尊厳と権利を守る
(1) 権利擁護の推進
基本目標 6 相談しやすい環境づくり
(1) 相談機能の強化

Ⅱ 地域福祉計画

II 地域福祉計画

第1節 地域福祉計画

基本目標1 みんなが支え合えるつながりづくり

(1) 地域のつながりづくり

地域では一人暮らし高齢者や高齢者のみの世帯、介護の援助が必要な方や、障がいを持つ方など生活のしづらさを抱えて暮らしている世帯が増加しています。また、働き方や生活スタイルの変化、近所づきあいの希薄化などから、孤立する世帯や町内会に加入する世帯の減少などの問題もあります。

地域に共に暮らしている一員として、日頃から支え、支えられるお互いさまの関係を築き、助け合える仕組みづくりに向け、住民一人ひとりのつながりの強化や支え合いの意識向上を図っていきます。

1. ご近所での支え合いの促進

一人ひとりができること
○近所の人に積極的にあいさつをしましょう。 ○町内会・老人クラブ・サロン等の地域の集まりに積極的に参加しましょう。 ○身近な人との情報交換や相談をしあえる関係をつくりましょう。
地域のみんがができること
○地域の人と交流できる機会をつくりましょう。
町の取り組み
○地域の様々な仲間づくりや交流を支援します。

(2) 地域の見守り体制の強化

全国的に高齢化が進んでいる中、本町では高齢化率が50%を超えており、一人暮らし高齢者の数も増加しています。座談会においても、一人暮らし高齢者の暮らしに関する心配事や安否確認等の課題が多く上がっています。

誰もが地域の中で孤立することなく、自分らしく暮らしていくために、身近に暮らしている要介護者や児童等の異変や課題に気がつき、民生委員・児童委員や関係機関につなぐなど、早期発見・早期対応ができる見守り体制づくりを推進していきます。

★重点施策 地域での見守り体制★

全国的に地域の希薄化が問題となっており、本町においてもつながりの希薄化が進行しています。地域での声かけや助け合いを進め、支援を必要とする人に気づき、見守る等の体制を整える必要があります。

1. 地域見守りネットワークの構築

一人ひとりができること
○隣近所で見守りや支援が必要な人を把握し、気にかけるようにしましょう。 ○見守ることで、自分も見守られることにつながるというお互いさまの意識を持ちましょう。 ○気になることがあれば、民生委員・児童委員や社会福祉協議会、関係機関に相談しましょう。
地域のみんがができること
○地域の活動団体が話し合う場をつくり、地域で見守りが必要な人や、気になる人の情報をプライバシーに配慮しながら共有し、地域での見守り体制づくりを進めましょう。 ○地域で困っていることや課題について話し合える共有の場をつくりましょう。
関係機関や組織、団体ができること
○地域における見守り活動の大切さを啓発しましょう。
町の取り組み
○地域課題の把握に努めます。 ○各地域の取り組みや情報を共有できる環境の整備に努めます。

(3) 福祉活動の拠点づくり

地域福祉活動を推進していくためには、拠点づくりが必要不可欠です。地域で暮らす誰もが利用でき、交流や情報共有、情報発信ができる拠点づくりに向けて検討していきます。また、近年増加している空き家の利用についても検討をしていきます。

1. 地域住民が集う場所の整備

一人ひとりができること
○隣近所の人を誘い合って、地域で開催されている行事や活動に参加しましょう。 ○身近な人との情報交換や相談をしあえる関係をつくりましょう。
地域のみんがができること
○利用可能な施設やスペースの提供など、地域活動に協力しましょう。 ○身近な地域の中で、みんなで気軽に集える場をつくりましょう。
関係機関や組織、団体ができること
○障がい者（児）や認知症の人など、誰もが交流の場に参加できるよう開催方法を工夫しましょう。 ○各種ボランティアや団体が協働でイベントを開催しましょう。
町の取り組み
○公民館サークル活動の充実のため、広報・啓発に努めます。 ○空き家の活用方法について検討していきます。

2. 世代間交流の促進

一人ひとりができること
○サロン活動や地域の行事等に周りの人を誘い合って参加しましょう。
地域みんなができること
○地域の行事やサロン活動などの交流の場の周知に協力しましょう。 ○若い世代のボランティア活動に対する理解を深め、参加につながるような取り組みを積極的に推進していきましょう。
関係機関や組織、団体にできること
○子どもから高齢者までの多様な世代が参加し、交流できる行事の企画・運営に努めましょう。
町の取り組み
○世代間交流ができるイベント・行事等の実施に向け随時検討をしていきます。 ○各種イベントや施策で、世代間交流が図られるよう工夫していきます。

(4) 地域防災力の強化

本町では、南海トラフによる震災や、台風の被害等を心配している住民が多くいます。今後の災害に備えて、いざという時に迅速に対応できるように、今後さらに防災意識の向上と避難訓練等の防災活動の推進に取り組んでいく必要があります。

災害時に助け合いがスムーズにできるよう、日頃から地域での支え合いの体制づくりを推進していきます。

★重点施策 災害への備え★

いざという時に迅速に対応できるように、日頃から防災に目を向け、防災活動に積極的に参加するなど、防災に備えておくことが必要です。また、災害時に助け合いができるよう、隣近所の人のことや高齢者や障がい者、難病者等の避難行動要支援者を把握する体制づくりも必要です。

1. 防災活動の推進

一人ひとりができること
○地域の防災活動に積極的に参加しましょう。 ○防災に対する意識を深め、災害時の対応の準備をしておきましょう。 ○日頃から災害時の危険箇所、避難場所を確認しましょう。
地域みんなができること
○定期的に防災訓練を行うよう努めましょう。
関係機関や組織、団体にできること
○住民が取り組む防災活動を支援しましょう。 ○町や関係団体、地域と協働して防災訓練を実施しましょう。
町の取り組み
○避難所・避難経路等の周知を図ります。

2. 災害時要援護者支援体制の充実

一人ひとりができること
○高齢者のみの家庭や障がい者、小さな子どもがいる家庭を日頃から気にかけてみましょう。
地域みんなができること
○地域での連絡手段を確認しましょう。 ○高齢者のみの家庭や障がい者、小さな子どもがいる家庭の把握を行いましょ。
関係機関や組織、団体にできること
○支援を必要とする人（特に一人暮らし高齢者等）の把握に努めましょ。
町の取り組み
○避難行動要支援者名簿を作成し、支援体制の整備に努めます。 ○避難行動要支援者の避難訓練の実施に努めます。

3. 情報提供体制、避難場所等の整備

一人ひとりができること
○災害時に速やかに安否確認、声かけができるように日頃から隣近所で交流を深めましょ。 ○日頃から避難場所を確認し、避難経路を知っておきましょ。
地域みんなができること
○緊急時の支援体制や対応方法について、共通認識を持ちましょ。
町の取り組み
○避難場所の周知や、避難場所での合理的配慮に努めます。 ○福祉避難所と連携を図ります。 ○牟岐町避難所運営マニュアルに沿って、避難所運営の充実を図ります。 ○子ども、一人暮らし・夫婦のみの高齢者世帯、障がい者に対して、民生委員・児童委員、保健師、関係機関職員が連携し、常に情報共有ができる体制を整えます。

4. 防犯活動の推進

一人ひとりができること
○地域の防犯活動に積極的に参加しましょ。 ○消費者被害などについて意識を高め、被害に遭わないようにしましょ。
地域みんなができること
○子どもの見守り活動等、地域の防犯活動に参加・協力しましょ。
町の取り組み
○広報誌やホームページを活用し、消費生活に関する情報を提供します。 ○情報の収集手段、活用方法の周知に努め、防犯意識の向上を図ります。 ○交通安全運動を推進するとともに、子どもや高齢者などには交通事故の防止を呼びかけます。

基本目標2 地域福祉を促進する人づくり・組織づくり

(1) 地域福祉を担う人材の育成

「地域」には様々な生活課題を持っている人々がいます。その多様性を認め合い、地域で暮らしていくためには、すべての住民が福祉意識を高め、地域での福祉文化を育てていくことが大切です。そのためには、子どもから高齢者、障がい者など関係なく、すべての住民が地域福祉の担い手としての自覚を持つことが必要です。

幅広い年代に向けてボランティア等の地域福祉活動への参加を働きかけるとともに、誰もが参加しやすい学習機会の提供や活動についての情報提供に努め、参加促進を図っていきます。

1. 福祉教育の推進

一人ひとりができること
○地域福祉に関心を持ち、高齢者や障がいのある人への理解を深めましょう。 ○福祉教育の場に積極的に参加しましょう。 ○学んだことを地域の活動などに活かしましょう。
地域みんなができること
○福祉講座やイベント等に地域ぐるみで参加しましょう。
関係機関や組織、団体にできること
○福祉に関する講座や行事等の企画・実施をしましょう。
町の取り組み
○小学校・中学校と連携をし、福祉教育を推進していきます。 ○生涯学習や生きがいづくり活動への主体的な参画を促進します。

2. 地域福祉の担い手やリーダーの育成

一人ひとりができること
○広報誌などをチェックし、地域にどのような活動があるのか知りましょう。 ○興味を持った地域の活動・イベントに参加しましょう。 ○地域の活動・イベントに家族や友人などの身近な人を誘って参加しましょう。 ○自らが福祉サービスの受け手であると同時に、担い手であることを意識しましょう。 ○自分の持つ技術や知識を地域福祉活動に活かしましょう。
地域みんなができること
○自分たちが暮らしたい地域を考え、住民が助け合いに参加しやすい情報提供や雰囲気づくりに努めましょう。 ○研修等の企画・実施に協力しましょう。
関係機関や組織、団体にできること
○実習生などの受け入れ、地域団体の研修会等への講師派遣などにより、広く各世代の人材育成・確保に努めましょう。
町の取り組み
○地域福祉の担い手育成の研修会の実施について検討をしていきます。 ○地域で行われている活動や行事について広く紹介します。

(2) 地域福祉活動の推進

地域には様々な団体、組織が活動、活躍していますが、活動への参加者は年々少なくなっています。各種団体と連携を図りながら、それぞれの活動が活性化できるよう支援をしていきます。

また、民生委員・児童委員が行っている地域に密着した相談や情報提供、地域生活課題の発見等の活動を支援するとともに、民生委員・児童委員制度や活動内容の周知を図ります。

★重点施策 地域活動の活性化★

本町には様々なボランティア活動や地域の活動があります。しかし、参加状況が3割程度となっていることから、今後、新たな参加者を増やしなが、地域活動を活性化していくことが重要です。また、地域活動を活性化していくことにより、生きがいつくりや地域福祉の担い手・リーダーづくりにもつながります。

1. 活動・参加しやすい環境づくり

一人ひとりができること
○できる範囲で、主体的に地域の活動に参加しましょう。 ○ボランティア活動に積極的に参加し、体験を伝え、仲間を増やしましょう。
地域のみんがができること
○活動内容の周知を行いましょ ○お互いに声をかけあう等、参加しやすい雰囲気をつくりましょ。
関係機関や組織、団体にできること
○各種活動に関する情報提供や相談などを地域の身近な場所で行いましょ。
町の取り組み
○各種団体の情報収集、周知に努めます。

2. 民生委員・児童委員活動への支援

一人ひとりができること
○民生委員・児童委員の活動を知り、活動に協力しましょ。
地域のみんがができること
○民生委員・児童委員の活動に協力しましょ。
関係機関や組織、団体にできること
○民生委員・児童委員の周知を図り、困りごとがあった場合は相談しましょ。
町の取り組み
○民生委員・児童委員との連携を強化し、地域の状況や課題等の情報共有を行っていきましょ。 ○民生委員・児童委員についての周知に努めます。 ○民生委員・児童委員の活動に必要な研修の開催や情報提供等を行い、活動を支援するよう努めます。

(3) 生きがいつくり

本町では、一人暮らし高齢者が増加していることや、高齢になった時の生活への不安を抱えている住民が多くいます。

誰もが体力や健康状態に応じて、身近な地域で楽しく健康づくりに取り組めるよう、地域・専門機関・ボランティア等と連携を図り、生きがいつくりを推進していきます。

また、介護予防についても、身体活動、運動分野のみならず、認知症の予防やこころの健康の維持も重要です。住民が、介護予防に関する知識を持ち、地域で介護予防に取り組めるよう、地域・専門機関・ボランティア等との連携を図ります。

1. 健康づくりの促進

一人ひとりができること
○日頃から運動を心がけましょう。 ○地域で行っている行事や活動に積極的に参加しましょう。 ○定期的に健康診査（検診）を受診しましょう。
地域のみんなができること
○地域ぐるみで健康づくりや生きがいつくりに取り組みましょう。
町の取り組み
○健康づくり教室の開催等、随時検討をしていきます。 ○シルバー人材センターの啓発・広報に努めます。 ○生涯にわたる学習機会の充実を図るために、活動団体等の育成や、その活動状況の情報提供に努めます。

基本目標3 福祉サービスが利用しやすいまちづくり

(1) 相談支援体制の充実

これまで、児童、高齢者、障がい者、生活困窮者などの分野ごとにそれぞれの相談窓口を中心に支援体制の整備を進めていきました。しかし、世帯全体の高齢化や複合的な課題を抱える世帯の増加などにより、分野ごとの対応だけでは課題の解決は難しくなっており、包括的に受け止められる相談支援体制の整備に努めていく必要があります。

課題が複合化・複雑化しているケースや制度の狭間にあるケースに対し、福祉分野を超えて組織内の調整を図るとともに、各分野の縦割りの支援ではなく、様々な部署にわたる相談内容を整理し、関係機関や相談窓口との連携・調整を図り、総合的に支援を行う体制の充実を図っていきます。

★重点施策 相談支援体制の充実★

相談しやすく、適切な対応ができる相談支援体制の充実が必要です。また、一人ひとりの様々な問題に対し、福祉サービスを提供する専門機関等による連携強化を図り、福祉分野ごとではなく、包括的な支援体制を整備し、全世代・全対象型地域包括支援体制の構築を目指していきます。

1. 相談窓口と体制の強化

一人ひとりができること
○困りごとがあれば、一人で悩まずに相談機関に相談しましょう。 ○地域にどのような機関があるのか調べておきましょう。
地域のみんがができること
○地域の中で心配なこと、援助が必要な人を見かけたら、民生委員・児童委員や関係機関に相談しましょう。
関係機関や組織、団体ができること
○町と連携しながら、福祉サービス・福祉施設、地域活動等で支援が必要な人の情報把握と共有、支援に努めましょう。
町の取り組み
○各種相談窓口の情報を住民に周知します。 ○相談内容に応じて適切に担当窓口につながるよう、相談機能の一層の充実を図ります。 ○相談を受ける職員の対応力強化のため、職員に対する研修をしていきます。 ○民生委員・児童委員や関係機関との連携を強化し、情報共有を行っていきます。 ○住民や民生委員・児童委員からの相談を受け、相談内容に応じて情報提供や助言を行ったり、適切な機関へつなぐ等の対応を強化していきます。

2. 包括的な支援体制の基盤整備

一人ひとりができること
○様々な相談窓口を把握しましょう。 ○困ったことがあれば、相談窓口を利用しましょう。
地域のみんがができること
○地域で困りごとがないか、見守り等を通じて把握し、適切な対応を図りましょう。
町の取り組み
○各分野や関係機関との連携を図り、分野を超えて住民が抱える生活課題の解決に向けて適切な支援が行うことができるよう努めます。 ○社会福祉協議会をはじめとする多様な主体との協働のもと、『包括的相談支援体制』の構築を目指し、地域課題を把握するとともに、関係機関と連携した対応を図ります。

(2) 福祉サービスの充実

各種制度、サービスの充実が進むにつれ、利用者自身が適切な情報を収集し、選択することが必要となっています。支援が必要な人が適切な支援につながるよう、福祉サービスの内容や利用方法、相談機関や関係機関の情報等、サービスにつながる情報を多くの人々が利用する施設やサービス等と連携して、きめ細やかな情報提供に努めます。

また、高齢化の進行に伴い、買い物や通院時の移動手段の確保に困難を抱えている住民が多くなっています。住民一人ひとりにとって、自分たちの住む地域がいつまでも住み続けたい場所であるためには、地域住民と協力して、外出・移動しやすい環境づくりに努めるとともに、移動手段の確保に向け、協議、検討を行っていきます。

★重点施策 暮らしや福祉サービスの充実★

わかりやすく安心して福祉サービス等を利用することができるよう、情報提供の充実に努めることが重要です。また、高齢になっても暮らし続けていくことのできる地域を目指すために、サービスの質の向上や新たな福祉サービス検討等、環境の整備を進めていく必要があります。

1. 情報提供の充実

一人ひとりができること
○日頃から町のホームページや広報をチェックしておきましょう。 ○福祉サービスについての正しい認識を深めましょう。
地域のみんなができること
○回覧板を活用し、必要な福祉サービスの情報を伝達しましょう。 ○福祉サービスについて、情報交換や意見交換ができる場を設けましょう。
関係機関や組織、団体ができること
○地域の社会資源を活用した福祉サービス活動が行えるよう努めましょう。 ○SNS やインターネット等、電子媒体による情報提供の充実を図りましょう。
町の取り組み
○誰もが見やすく、わかりやすいホームページや広報むぎ等となるように努めます。 ○地域の組織や団体、保育所、小中学校等を通じ、様々な機会を活用し、福祉サービスの浸透に努めます。 ○福祉サービスに関する情報提供を行う相談窓口では、筆談などによる意思疎通支援が行える体制を整えます。

2. 地域の移動手段の確保

一人ひとりができること
○みんなで車やタクシー等に乗り合わせるなど、移動手段について助け合いができないか考えてみましょう。 ○地域で移動に困っている人がいたら、外出する際に声をかけ、必要に応じて買い物や送迎の手伝いをするよう心がけましょう。 ○公共交通機関を有効に利用しましょう。

地域のみんがができること
○町内会や地域等において、買い物や送迎方法について協議、検討を行いましょう。
町の取り組み
○移動手段の確保に向け、協議、検討を行っていきます。

(3) 生活困窮者への支援

生活困窮者自立支援制度に基づき、関係機関が連携して各種の施策につなげるとともに、経済的な自立のみならず、それぞれが自分らしく自立した生活が送れるよう、地域社会の中で役割や生きがいを持てる機会づくりを行うことが必要となっています。

本町では、徳島県社会福祉協議会が牟岐町社会福祉協議会に委託している「くらしサポートセンター牟岐」事業において、生活困窮者への自立支援を行っています。

今後、民生委員・児童委員、社会福祉協議会、県やハローワークと連携し、状況把握に努めるとともに、生活の安定や自立支援に向けた活動を推進していきます。また、ひとり親家庭や低所得者、生活困窮者等の個々の状況に即応した社会保障制度の効果的な適用、相談支援、就労支援、生活支援、経済的支援、自立支援等、総合的な取り組みを推進していきます。

1. 地域生活課題の把握と情報共有の仕組みの強化

一人ひとりができること
○地域で生活のしづらさを抱えている人がいないか気にかかけましょう。
地域のみんがができること
○困っている人がいたら相談機関や民生委員・児童委員を紹介しまししょう。
関係機関や組織、団体ができること
○関係機関・団体に連携を図り、訪問などによる積極的アプローチをすることにより、生活困窮者の早期発見につなげましょう。
町の取り組み
○民生委員・児童委員、関係機関との連携を深め、地域生活課題の把握や情報共有に努めます。

2. 生活困窮者の自立支援の推進

一人ひとりができること
○地域で生活のしづらさを抱えている人がいないか気にかかけましょう。
地域のみんがができること
○地域で生活に困っている人を早期発見・把握するように努め、把握した際は、本人の承諾を得た上で関係機関につなぎましょう。
関係機関や組織、団体ができること
○ハローワークや関係機関等と連携し、就労支援の充実、強化を図りましょう。
町の取り組み
○生活保護に至る前の段階から、それぞれに状況が異なる生活困窮者を早期に支援できるよう、相談窓口について、広報誌やホームページなどを通じ普及・啓発します。

(4) 権利擁護の推進

少子化、高齢化や核家族化、家族間の機能低下など、福祉ニーズが多様化・複雑化しているにもかかわらず、必要な支援が受けられないなどの福祉課題が深刻化しています。生活課題をひとつずつ見ていくのではなく、課題を抱えた人が「自立するまでに必要なサービスは何か」といった包括的な支援を考えていく必要があります、これらの課題を解決するためには福祉サービスを提供する多くの団体と連携し、ネットワークの構築を図る必要があります。

判断能力が不十分な人を対象とした成年後見制度や日常生活自立支援事業などの制度の周知を図っていきます。

1. 権利擁護の推進

一人ひとりができること
○日頃から、お互いに気をかけあいましょう。 ○消費者問題などに関心を持ちましょう。
地域みんなができること
○困っている人を相談窓口につなげましょう。
関係機関や組織、団体ができること
○相談窓口や情報提供を充実しましょう。 ○民生委員・児童委員をはじめ、地区組織・団体に、高齢者や障がい者の見守りを行いましょ う。
町の取り組み
○成年後見制度や日常生活自立支援事業など制度・事業の周知に努め、利用促進につなげます。



※本町地区

(5) 保健・医療・福祉等の連携強化

住民一人ひとりのライフステージを通じて、適切な支援ができるように、保健・医療・福祉及びその他の関係する分野の機関が連携し、サービスの提供を総合的に調整する体制の整備が必要です。保健・医療・福祉等の関係する機関の連携体制の構築を図っていきます。

1. 連携体制の構築・強化

一人ひとりができること
○日頃から、地域でかかりつけ医を持ちましょう。
地域のみんなができること
○いざという時のために、かかりつけ医や緊急連絡先等の情報を親しい人と共有しておきましょう。
関係機関や組織、団体ができること
○サービス事業者、専門機関は相互に情報交換を行い、サービスの提供を総合的に調整する体制を強化しましょう。
○関係機関との交流や連携をより一層推進する中で、関係団体のニーズを把握し、情報提供を行きましょう。
町の取り組み
○子育て支援、高齢者福祉、障がい者福祉の分野において、保健・医療・福祉分野のサービス事業者・専門機関の連携を促進し、要支援者に対してサービスの提供を総合的に調整する体制を構築します。



※関地区

第2節 成年後見制度利用促進基本計画

1 背景と国の動向

成年後見制度は、認知症、知的障がいその他の精神上的の障がいにより判断能力が十分ではない方々が、財産管理、身のまわりの世話のために介護などのサービスや施設への入所に関する契約締結、遺産分割協議などを行う場合に保護し、支援するものです。成年後見人等を選任することにより、本人の意思や尊厳を尊重し、権利行使や権利が護られるよう実現することを支援する権利擁護の制度ですが、未だ十分に利用されているとはいえません。

こうした状況を踏まえ、国は「成年後見制度の利用の促進に関する法律（平成28年法律第29号。以下、「促進法」という。）」を施行し、さらには、「成年後見制度利用促進基本計画（平成29年3月閣議決定。以下、「国基本計画」という。）」を策定しました。促進法に基づき、関係省庁が連携して総合的かつ計画的に成年後見制度利用促進に取り組むこととされています。

2 成年後見制度利用促進基本計画の位置づけ

成年後見制度の利用の促進には、市町村の取り組みが不可欠であることから、促進法においては、市町村の講ずる措置等が規程され（第14条市町村の講ずる措置）、市町村が、国基本計画を勘案して、当該市町村の区域における成年後見制度の利用の促進に関する施策についての基本的な市町村計画を定めることとされました。

このことを受けて、当町では、成年後見制度の利用促進及び権利擁護支援の仕組みづくりを進めるための基本的な計画を定めます。

3 成年後見制度利用促進基本計画における基本的な考え方

(1) 基本理念

当町の成年後見制度の利用に関する現状や課題、また促進法の趣旨を踏まえ、権利擁護支援の地域連携ネットワークを柱に、判断能力が十分ではない方々が住み慣れた地域で安心して自分らしい生活を継続できるよう、町民の権利や利益が守られる権利擁護のまちづくりを行います。

(2) 基本目標

- 基本目標1 利用者がメリットを実感できる制度の運用
- 基本目標2 権利擁護支援の地域連携ネットワークづくり
- 基本目標3 制度の普及啓発と不正防止の徹底

4 施策体系図

基本目標1 利用者がメリットを実感できる制度の運用
(1) 成年後見制度の利用が必要な町民の把握と早期発見・早期支援
(2) 適切な受任者調整（マッチング）等
(3) 関係機関との連携による町長申立の推進、成年後見制度利用支援事業の活用
(4) 利用者本人の意思決定支援及び身上保護の充実
基本目標2 権利擁護支援の地域連携ネットワークづくり
(1) 地域連携ネットワークの三つの役割
(2) 地域連携ネットワークの基本的仕組み
(3) 地域連携ネットワークの中核となる機関
(4) 地域連携ネットワークが担うべき具体的機能等
基本目標3 制度の普及啓発と不正防止の徹底
(1) 成年後見制度の広報・啓発活動の強化
(2) 不正防止の徹底のための関係機関の強化と成年後見人等への支援

5 実現に向けた具体的な取り組み

(1) 利用者がメリットを実感できる制度の運用

1. 成年後見制度の利用が必要な町民の把握と早期発見・早期支援

保健・医療・福祉の支援ネットワークや金融機関を含む民間事業者等との連携により、成年後見制度の利用が必要な町民の早期把握と早期支援によって、適切に本人の権利擁護支援を目指します。

2. 適切な受任者調整（マッチング）等

成年後見制度の利用に際しては、本人の意向の確認とともに必要な支援内容を把握し、本人にとって望ましい成年後見人等が選任されるよう、地域連携ネットワークや中核機関が本人の状況や支援経過を家庭裁判所に的確に伝えることができる体制を目指します。

3. 関係機関との連携による町長申立の推進、成年後見制度利用支援事業の活用

親族等からの支援が得られない人に対して実施する町長申立について、関係機関と連携を深め推進します。また、利用者が成年後見制度利用にかかる費用を負担することが困難な場合、成年後見制度利用支援事業の活用を図ります。

4. 利用者本人の意思決定支援及び身上保護の充実

成年後見人等が本人に対し細やかな身上保護と見守りを行うとともに、本人の尊厳を守りながら、本人の意思に基づいた福祉サービスや医療等の公的サービスの提供がなされるよう、チームによる支援を目指します。

(2) 権利擁護支援の地域連携ネットワークづくり

従来の保健・医療・福祉の支援ネットワークを活かすとともに、新たに、家庭裁判所や専門職団体の司法との連携による権利擁護支援の地域連携ネットワークについて、下記の項目を踏まえ検討し、構築に向けて取り組みます。

1. 地域連携ネットワークの三つの役割

- ・権利擁護支援の必要な人の発見・支援
- ・早期の段階からの相談・対応体制の整備
- ・意思決定支援・身上保護を重視した成年後見制度の運用に資する支援体制の構築

2. 地域連携ネットワークの基本的仕組み

- ・本人を後見人とともに支える「チーム」による対応
- ・地域における「協議会」等の体制づくり

3. 地域連携ネットワークの中核となる機関

様々なケースに対応できる法律・福祉等の専門知識や、地域の専門職等から円滑に協力を得るノウハウ等が蓄積され、地域における連携・対応強化の推進役として中核機関の設置に向け、取り組みます。

4. 地域連携ネットワークが担うべき具体的機能等

- ① 広報機能（パンフレット作成・配布・研修会・セミナー企画等）
- ② 相談機能（相談対応・ニーズ把握・見守り体制の調整等）
- ③ 成年後見制度利用促進機能
 - ア 受任者調整（マッチング）等の支援
 - ・親族後見人候補者の支援
 - ・受任者調整（マッチング）等
 - ・家庭裁判所との連携
 - イ 担い手育成・活動の促進
 - ・法人後見の担い手の育成・活動支援
 - ウ 日常生活自立支援事業等関連制度からのスムーズな移行
- ④ 後見人支援機能（チーム等支援会議の調整・後見人等の相談窓口の明確化とバックアップ）
- ⑤ 不正防止効果（①～④の機能を整備することによる）

(3) 制度の普及啓発と不正防止の徹底

1. 成年後見制度の広報・啓発活動の強化

成年後見制度が利用者の生活を守り権利を擁護する重要な手段であることなど、既存の各団体・機関を活かしてパンフレットの作成や研修会等の開催、各種イベントでの広報・啓発活動を通して、町民が成年後見制度に関する理解を深められるよう広報活動を強化します。

また、地域連携ネットワークの関係者や、成年後見制度に関連する福祉関係者等の専門知識の向上のため、研修会等を実施します。

2. 不正防止の徹底のための関係機関の強化と成年後見人等への支援

地域連携ネットワーク及び中核機関の整備により、不正防止対策や親族を含めた成年後見人等を支援する体制を整え、適切な制度利用と後見活動の両面から支援し、不正の未然防止や早期発見へとつなげます。

また、地域連携ネットワークやチームでの支援体制の構築により、親族後見人が孤立することなく、日常的に相談できる体制を整備するとともに、利用者や成年後見人等を見守る体制を整えることで、制度の適切な対応を促進します。

Ⅲ 地域福祉活動計画

III 地域福祉活動計画

第1節 地域福祉活動計画

本計画を推進し、町の地域福祉を向上させるためには、住民の皆さまをはじめとし、多くの関係機関の協力が必要不可欠です。地域福祉の重要性とそれぞれの役割を認識し、連携・協力して取り組むことが重要なため、本計画の積極的な周知・啓発に努めます。

本計画の進捗状況を把握・検証し、取り組みの評価が効果的にできるよう、具体的活動のバックアップや、「地域座談会」を開催し、各地区の計画進捗状況の確認や評価を行っていきます。

基本目標1 人と人、地域のつながり

住民アンケート調査・地区座談会での意見

- ・昔と比べると地域のつながりが希薄化している。
- ・認知症の一人暮らしが増えており、助け合いが必要である。
- ・高齢化が進むと生活が心配。
- ・高齢になり、車の運転ができなくなったら、歩けなくなったらと考えると心配。
- ・福祉を意識させるには小さいうちから。

(1) あいさつ運動の推進

地域住民が行うこと
○ご近所づきあいの始まりは、まずあいさつから始めましょう。
地域の取り組み
○あいさつを推進しましょう。
牟岐町社会福祉協議会が行うこと
○つながりのきっかけとなる「あいさつ」の輪を広げる活動をします。

(2) 見守り、支え合いの地域づくり

地域住民が行うこと
○緩やかな見守りに努めましょう。
○ちょっとした支え合い活動を意識して取り組みましょう。
地域の取り組み
○地域の中で気になる人がいないか気かけましょう。

牟岐町社会福祉協議会が行うこと

- 見守り・支え合いネットマップづくりを行います。
- 見守り・支え合いネットワークへの支援を行います。
- 地域福祉への理解を高めるため福祉教育の推進を図ります。
- ボランティアの育成を支援します。
- 要援護者への見守り活動の推進を図ります。
- 生活支援担い手の育成を支援します。
- 介護が必要な人や障がいがある人等の移動手段に関する情報や、福祉に関わる交通利用の実態を適切に把握し、ささえあいの仕組みづくりに努めます。

基本目標2 災害に備える

住民アンケート調査・地区座談会での意見

- ・災害時の避難困難者（高齢者・障がい者、妊婦、子ども）をどうするか？
- ・常に災害に対する不安がある。
- ・普段からの声かけやあいさつで近所と密になることが大切なのは。
- ・防災の知識を高め、真剣に避難訓練に取り組むことが大事。

(1) 顔見知りの関係づくり

地域住民が行うこと

- 日頃からの顔見知りの関係を大切にしましょう。

地域の取り組み

- 近所の子どもや一人暮らし高齢者、障がいのある人、妊婦、子どもなど、災害時や緊急時の要支援者について把握しておきましょう。

牟岐町社会福祉協議会が行うこと

- ふれあいサロンの活動支援、見守り活動の周知を行います。
- 災害時、避難行動に支援を必要とする方の情報を共有し、適切な利用と管理を行います。

(2) 誰もが参加できる交流の場づくり

地域住民が行うこと

- 町内会の集まり・井戸端会議・ふれあいサロン・趣味の講座・講演会や健康づくり講座・町民運動会・防災訓練など交流の場に参加しましょう。

地域の取り組み

- 子ども、若者、高齢者、障がいの有無にかかわらず、誰もが参加できる交流の場づくりを進めましょう。

牟岐町社会福祉協議会が行うこと

- 子ども、若者、高齢者、障がいのある方との交流促進と居場所づくりを図っていきます。
- 防災イベント「イザ！カエルキャラバン！in むぎ」を継続実施し、防災を通じて子どもから高齢の方まで楽しくふれあう場をつくりまします。

(3) 防災訓練の充実

地域住民が行うこと
○牟岐町や自主防災組織等が行う防災訓練へ積極的に参加しましょう。
地域の取り組み
○牟岐町や自主防災組織等が行う防災訓練の実施に協力しましょう。
牟岐町社会福祉協議会が行うこと
○地域での防災訓練やイベントへの支援を行います。
○他団体、企業との連携に努めます。

(4) 防災意識の向上

地域住民が行うこと
○さまざまな災害について知り、防災意識を高めましょう。
地域の取り組み
○地域でも災害時のイメージをして、話し合う機会を持ちましょう。
牟岐町社会福祉協議会が行うこと
○災害ボランティアセンターの設置・運営に向け、日頃から「避難行動要支援者の状況を知る」自主防災組織や住民・行政・関係機関との連携や情報共有を行い、適切な利用と管理を行います。



※笹見地区

基本目標3 健康、いきがづくり

住民アンケート調査・地区座談会での意見

- ・「楽しい」「行きたい」と思える場所づくりが必要。
- ・認知症にならないかと心配。
- ・認知症の方への対応が難しい。
- ・ボランティアなどの人材育成が必要である。
- ・地域で気軽に運動ができたらいと思う。

(1) いきがづくり

地域住民が行うこと
○趣味や、いきがづくりに取り組みましょう。 ○貯筋体操や町の会、サロンなどに積極的に参加しましょう。
地域の取り組み
○健康維持やいきがづくりにつながる事業や活動を推進しましょう。
牟岐町社会福祉協議会が行うこと
○ボランティアセンター機能の充実を図ります。 ○シルバー大学での地域リーダー育成に努めます。 ○働く意欲のある高齢者の社会参加と地域貢献をつなぎます。 ○当事者および当事者団体等の育成・支援に努めます。

(2) 健康寿命の延伸

地域住民が行うこと
○健康寿命を延ばすよう、日頃から体操や食生活改善など健康づくりに努めましょう。
地域の取り組み
○健康維持のため、地域ぐるみで運動などに取り組みましょう。
牟岐町社会福祉協議会が行うこと
○認知症への理解を深めるために認知症サポーター養成研修を開催します。 ○健康意識を高めるための啓発に努めます。

基本目標4 「美しい牟岐町」を守る

住民アンケート調査・地区座談会での意見

- ・ポイ捨てがある。
- ・自然豊かでゆったり暮らせる。
- ・草がよく生えて困っている。
- ・自然が美しい。

(1) 環境美化活動の推進

地域住民が行うこと
○豊かな自然を大切にし、ゴミ捨てのマナーを守りましょう。 ○清掃活動に積極的に参加しましょう。
地域の取り組み
○地域みんなで清掃活動に取り組みましょう。
牟岐町社会福祉協議会が行うこと
○「美しい牟岐町」を守るため、収集ボランティアの推進とエコに関する学習会の実施を検討します。 ○清掃活動を通じて世代間交流ができるよう、ボランティア活動の推進に努めます。 ○福祉教育の一環として、環境美化活動の支援をします。

基本目標5 人としての尊厳と権利を守る

住民アンケート調査・地区座談会での意見

- ・いつまでも自分の家で住み続けたい。
- ・個人情報への漏えいや不審電話が心配。
- ・障がい者に対しても見守る体制が必要。
- ・今は大丈夫だが、判断能力が十分でなくなった時のことが心配。

(1) 権利擁護の推進

地域住民が行うこと
○人格と個性を尊重しあえる絆を築きましょう。
地域の取り組み
○地域の見守り活動を強化しましょう。 ○不安を抱えている人に牟岐町社会福祉協議会を紹介しましょう。

牟岐町社会福祉協議会が行うこと

- 子育て、障がい、加齢についての理解と認識を深め、サポートを行います。
- 権利擁護の確立のための取り組みを推進していきます。
- 成年後見利用促進基本計画に関わる地域連携ネットワーク等との連携体制の構築、法人後見実施の検討を随時行っていきます。
- 各種講座や啓発活動を通じ、高齢者・障がい者・子どもを狙った犯罪や事故を防止し、防犯や交通安全に対する意識を高めるよう努めます。
- 日常生活において執拗な商品勧誘や詐欺行為に関連するトラブル等、犯罪被害を未然に防ぐために牟岐町消費者安全確保協議会などと情報共有を図りながら、犯罪被害防止を推進していきます。さらに、必要に応じて、相談対応や適切な機関につなげて被害が拡大しないように努めます。

基本目標6 相談しやすい環境づくり

住民アンケート調査・地区座談会での意見

- ・困った時の相談窓口がわからない。
- ・一人暮らしの人に何かあった時に、近隣の者はどこに連絡をしたらいいのか。
- ・集まりに出られる人はいいが、コミュニティから漏れた人をどう支えるか。
- ・役場・社協・地域包括・その他、どこがどんな役割を担っているかわからない。

(1) 相談機能の強化

地域住民が行うこと

- 困ったことがあれば、まずは相談をしましょう。

地域の取り組み

- 地域の中で互いに目配り、気配りをしましょう。
- 困りごとがある方を見かけたら、牟岐町役場や牟岐町社会福祉協議会などに相談するようにすすめましょう。

牟岐町社会福祉協議会が行うこと

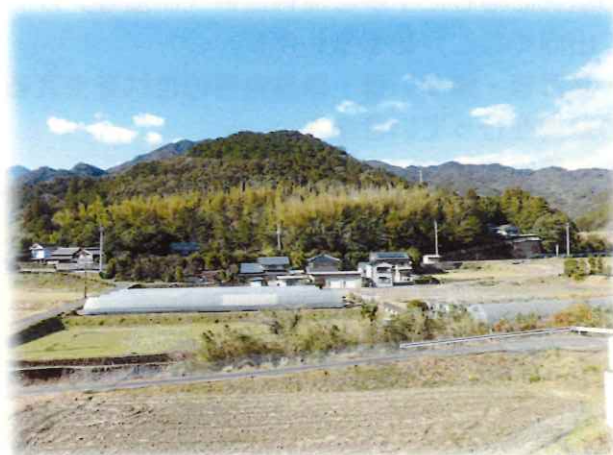
- 日々の業務にて、その状況に応じた丁寧な情報提供（制度等）ができるように努めます。
- アウトリーチ（地域に出向くこと）を徹底します。
- 子ども・生活困窮者・高齢者・障がい者・単身者等の世代を支える総合的な相談窓口の拡充および各関係機関との連携を行っていきます。
- わかりやすい広報活動を行います。

第2節 地区行動計画

1 橘地区

地域の良いところ・好きなところ

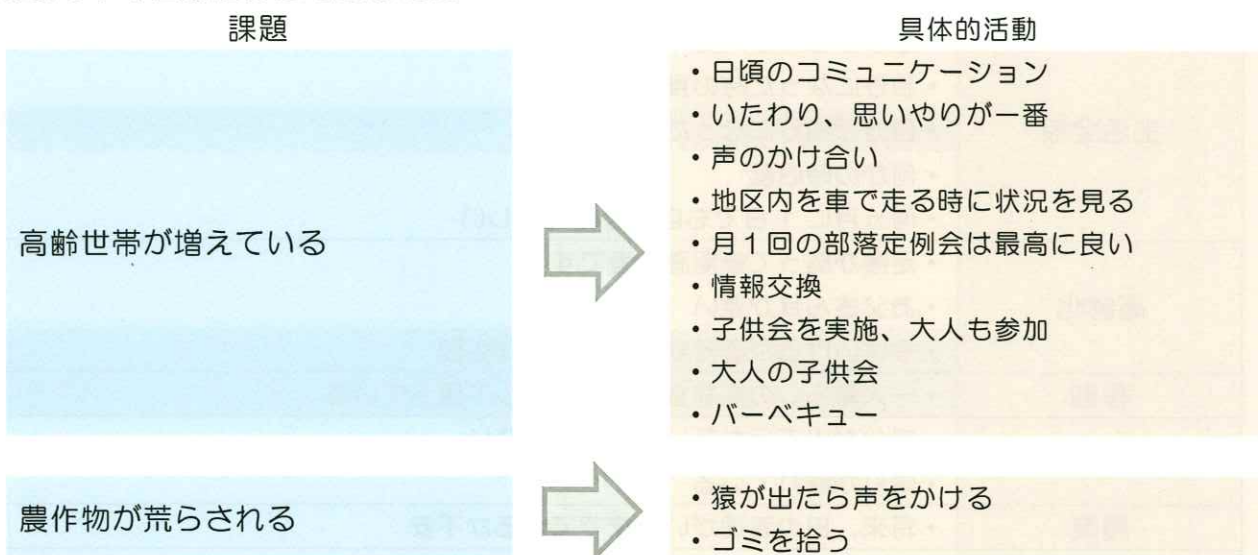
人	<ul style="list-style-type: none">• 人がいい• みんな真面目で仕事好き• 皆、規則正しい生活をしている
近所 づきあい	<ul style="list-style-type: none">• 気安く会話• 皆が仲良い• 他人の悪口を言わない
町内会	<ul style="list-style-type: none">• 部落みんな仲良し• 会合でケンカしない• 地域の絆が強い• 豊かさを感じる（地域）• まとまりがある
自然	<ul style="list-style-type: none">• 山の中• 自然豊か• 空気が良い• 川の水がきれい• 動物もいっぱい
生活環境	<ul style="list-style-type: none">• 大声出しても隣が遠い• 国道沿いで便利
その他	<ul style="list-style-type: none">• 観光地



地域の課題（生活の中で困っていること、困っている方を見かけたこと）

少子 高齢化	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢世帯が増えている ・死んでもわからん ・子どもが少なくさみしい ・一人暮らしの方が数軒 ・高齢化で耳の聞こえにくい人が多くなった ・介護疲れ ・家族の介護
農業	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢化による田んぼの継続 ・休耕田等の草刈り ・人手が足りない ・農作物が売れない
農業	<ul style="list-style-type: none"> ・農家が消滅 ・農作物が荒らされる ・野生動物の被害、対処
移動	<ul style="list-style-type: none"> ・町まで遠い ・道が悪い ・駅まで遠い ・店が遠い ・店が遠く将来車に乗れなくなった時の不安
地域活動	<ul style="list-style-type: none"> ・出役作業の際、高齢化で効率が悪くなった
仕事	<ul style="list-style-type: none"> ・仕事が少ない ・職業が分散して共に作業する事が少なくなった
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・年金がもらえるかどうか不安

地域の中で自分たちにできること



2 喜来地区

地域の良いところ・好きなところ

近所 づきあい	<ul style="list-style-type: none"> ・人間関係がきやすい ・近所づきあい良い ・会うとすぐ話ができる ・おすそわけ ・雑談の花盛り ・通りがかりの人が車から降りてまで「どないしょん」
町内会	<ul style="list-style-type: none"> ・部落の方が皆親切 ・喜来は極楽
農業	<ul style="list-style-type: none"> ・自分で作った野菜おいしい ・畑仕事が楽しい ・珍しい野菜が作れる ・米がおいしい
自然	<ul style="list-style-type: none"> ・五剣山 ・滝がある ・朝もやが素晴らしい ・自然がいっぱい ・星がきれいに良く見える
生活環境	<ul style="list-style-type: none"> ・見晴らしがいい ・涼しい（クーラー代節約） ・空気と水がおいしい ・日当たりが良い

地域の課題（生活の中で困っていること、困っている方を見かけたこと）

生活全般	<ul style="list-style-type: none"> ・家事するのが大変 ・独りになった時の食事（男性） ・自分が独りになった時 ・何かの時心配 ・何ヵ月に1日でも自由な時間ほしい
高齢化	<ul style="list-style-type: none"> ・足腰が弱って後期高齢者です ・お父さん耳が遠い ・今はいけるが認知症にならないか心配
移動	<ul style="list-style-type: none"> ・一人暮らしの高齢者が免許を返して困っている
交流	<ul style="list-style-type: none"> ・自分が出て行かないと人と会えない ・隣りが離れている
農業	<ul style="list-style-type: none"> ・将来、田の管理がいつまでできるか不安
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・夜道が暗い

地域の中で自分たちにできること
課題

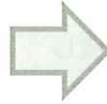
具体的活動

自分が独りになった時



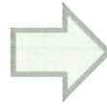
- 声かけあい
- 電話で安否確認
- おかずのおすそわけ（うれしい）

今はいけるが認知症にならないか
心配



- 料理の本見る
（同じメニューにならないよう）
- 炊事を続ける（だんどりを考える）
- 少々無理しても家族のため洗濯
- 若い者が仕事に頑張れるよう支える
- 月に1回寄合い
- 顔が見える関係
- ふれあいサロン
- 集まる場所
- おしゃべり
- 畑仕事

一人暮らしの高齢者が免許を返して
困っている



- 運転を続ける
- 移動販売の利用



3 辺川地区

地域の良いところ・好きなところ

人	<ul style="list-style-type: none"> ・人情味がある ・気軽に話ができる ・家族の仲が良い ・人が温かい
近所 づきあい	<ul style="list-style-type: none"> ・隣同士が仲良し ・気やすく生活できる ・お隣で大変お世話になり、ありがたい
町内会	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもと部落の人が仲良し
自然	<ul style="list-style-type: none"> ・谷から流れてくる水がおいしい ・トンボが多い ・自然に恵まれている ・春には辺川の道が桜できれい ・水がきれいなので、蛍が家の中まで入ってくる
災害	<ul style="list-style-type: none"> ・災害に強い ・津波が来ない
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・静かで住みよい ・猪の肉が年中食べられる ・お米がおいしい

地域の課題（生活の中で困っていること、困っている方を見かけたこと）

高齢化	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが少ない ・高齢化が進み、一人暮らしの方が増えてきた ・年をとれば、買い物、病院などが不便
移動	<ul style="list-style-type: none"> ・交通の便が悪い ・高齢者が乗り物に乗る時 ・小学校のバスが岡崎までしか来ない ・公共の交通機関がない、免許が必要 ・寝たきり高齢者を病院に連れて行く ・車に乗れなくなったら買い物など用事するのに困る
生活環境	<ul style="list-style-type: none"> ・町まで遠い ・空家の管理 ・草刈り
災害	<ul style="list-style-type: none"> ・台風が来て困る
農業	<ul style="list-style-type: none"> ・猿、猪、鹿などの被害 ・耕作放棄の田畑
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・働く場所がない ・仕事がない

地域の中で自分たちにできること
課題

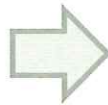
高齢化が進み、一人暮らしの方が
増えてきた



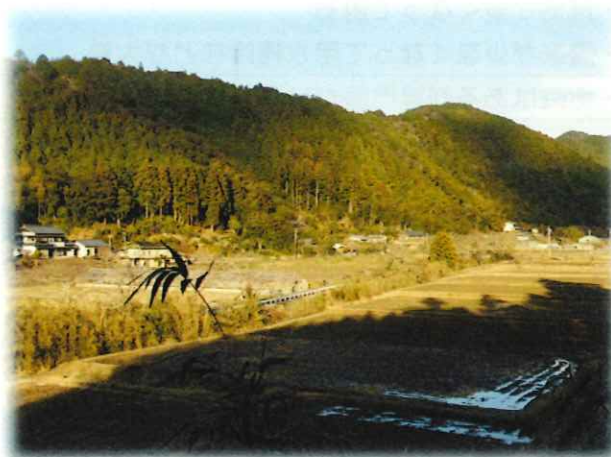
具体的活動

- 出会った時には話しかける
- 集金の時、声かけ
- 車で通りがかりに見守り
- 声かけ
- 高齢の方を見習う
- 高齢の方から元気もらう
- 高齢者サロンで話、カラオケ月2回
- 草刈りしていただいたら、お接待したい
- おすそわけ
- 高齢者の手助け

車に乗れなくなったら買い物など
用事するのに困る



- 乗り合わせ



4 赤水地区

地域の良いところ・好きなおとこ

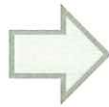
人	<ul style="list-style-type: none"> ・人柄がいい人が多い ・優しい人が多い ・怖い人がいない
近所 づきあい	<ul style="list-style-type: none"> ・話をする所がある ・仲が良いこと ・おすそわけ ・よく気にかけてくれる ・男性でも女性でも気軽に話しやすい
町内会	<ul style="list-style-type: none"> ・集まってもなごやか、仲が良い ・地区のまとまりがある ・婦人会が活発ですね ・作業がある時すぐに集まる
自然	<ul style="list-style-type: none"> ・自然が豊か ・桜が美しい ・緑に溢れてる ・朝夕が涼しいのが良い
生活環境	<ul style="list-style-type: none"> ・近所にピザ店がある ・のんびりしている

地域の課題（生活の中で困っていること、困っている方を見かけたこと）

移動	<ul style="list-style-type: none"> ・買い物に困る ・免許返納後に困る ・いずれ買い物や病院へ行けなくなる ・車が無いと不便 ・病院に行くのに困る
生活全般	<ul style="list-style-type: none"> ・お隣が遠い ・有料でもいいので困り事が生じた時、気安く頼める所が欲しい
鳥獣被害	<ul style="list-style-type: none"> ・獣の被害 ・猿、猪、鹿が畑を荒らす
農業	<ul style="list-style-type: none"> ・荒地が多くなって困る ・農家が少なくなって用水掃除などが大変
医療	<ul style="list-style-type: none"> ・病院はあるが専門医がいない

地域の中で自分たちにできること
課題

いずれ買い物や病院へ行けなくなる



具体的活動

- 今よりもっと心安いおつきあい
- 声かけできるおつきあいを続ける
- 人との仲よし関係
- おすそわけ
- 生協の活用
- 買い物の声かけ
- 移動販売の利用
- 小さな座談会



5 西又地区

地域の良いところ・好きなところ

人	<ul style="list-style-type: none"> 相手の事を思いやり 悪口を言わない 皆親切
近所 づきあい	<ul style="list-style-type: none"> 毎日のように、みんなが話しあう
農業	<ul style="list-style-type: none"> 畑仕事ができる 米がおいしい 野菜作り 炭ができる
自然	<ul style="list-style-type: none"> 自然がいっぱい 空気がおいしい 空がきれい 星や水が美しい 朝の空気 山や川 四季の変化が楽しめる けものがいっぱい
生活環境	<ul style="list-style-type: none"> お墓の立地がすばらしい 静かな所 住みやすい

地域の課題（生活の中で困っていること、困っている方を見かけたこと）

少子高齢化	<ul style="list-style-type: none"> 年齢がいて体力がない 家で独り どうにか頑張っている 足が不調 元気なし
移動	<ul style="list-style-type: none"> 町に行くのに車がない 年寄りバスが欲しい（1日に2回でも） 町はずれでタクシー代が高くなる
鳥獣被害	<ul style="list-style-type: none"> 猿、猪に困る けものが多い 農作物を作っても動物に食べられ口に入らず
雑草	<ul style="list-style-type: none"> 雑草が生えて大変
その他	<ul style="list-style-type: none"> コンビニ、診療所あれば

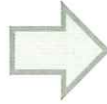
地域の中で自分たちにできること
課題

家で独り



- 具体的活動
- こまめな声かけ
 - 家に行く
 - 見守り（お互いに）
 - 電気で見守り
 - 話し相手
 - おすそわけ

町に行くのに車がない



- 出かける時に乗せていく



6 笹見地区

地域の良いところ・好きなところ

人	<ul style="list-style-type: none"> ・ 笹見の人は優しい ・ 人とのつきあいがよい ・ 心がまるい ・ 美人が多い ・ みんな真面目で考え方も真面目でよく働く
近所 づきあい	<ul style="list-style-type: none"> ・ 仲が良い住みよい ・ 住民同士で話やすい ・ 気軽に話ができる人が多い
農業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 団体行動について協力的である ・ この月 1 の定例会がある事がすばらしい ・ 定例会に高齢者の方も出てくださる ・ 何かする時に団結力があるように思う
自然	<ul style="list-style-type: none"> ・ 水が美味 ・ 星がきれい ・ むくの木 ・ ホタルがよく出る ・ 燕がよくいる ・ 山が近い ・ 猿と仲良くしてます ・ 川がきれい
生活環境	<ul style="list-style-type: none"> ・ のんきな所 ・ 平和な所

地域の課題（生活の中で困っていること、困っている方を見かけたこと）

少子高齢化	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもが少ない ・ 一人二人の家族が多く健康状態が心配 ・ 一人暮らしが多い ・ 30年後、この地区に人がいるのか
農業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 畑作ができない ・ 谷川の田に使う水が少なくなっている ・ 農業の後継者がいない ・ 山林、農地は今後どうなるか ・ 特に猿による被害が多く必要以上にお金がかかる
災害	<ul style="list-style-type: none"> ・ 常に災害に対する不安がある ・ 台風で山の水が出るから怖い ・ 台風で稲刈りが心配

環境	・河川が荒れている
	・ティッシュが多く道に捨ててある
	・ゴミのポイ捨てが多い
	・川に魚がいない
	・蛇と虻が多い
若者	・猿、猪が多い
	・草が生えて困る
	・若者が帰って来ない
その他	・若者とのコミュニケーションが取りにくくなってきている
	・定例会も寄りが悪い

地域の中で自分たちにできること

課題

具体的活動

一人二人の家族が多く健康状態が心配



- ・人とのつながりを大切にするために会話を大事にする
- ・コミュニケーションを取る
- ・声かけ
- ・近所の物々交換
- ・あいさつ

ゴミのポイ捨てが多く、草も生えている



- ・地域の活動には積極的に参加する
- ・地域で年2回は草刈りをしている
- ・いつまでも美しいふるさとであるようにできることをする
- ・気がいたら、ゴミ拾い
- ・各種共同作業
- ・道端の草刈り

特に猿による被害が多く、必要以上にお金がかかる



- ・猿の追い払い
- ・猪、猿、鹿の罠の仕掛け

山林、農地は今後どうなるか



- ・できる範囲内で農地を守る
- ・山林も大切にする

7 平野地区

地域の良いところ・好きなところ

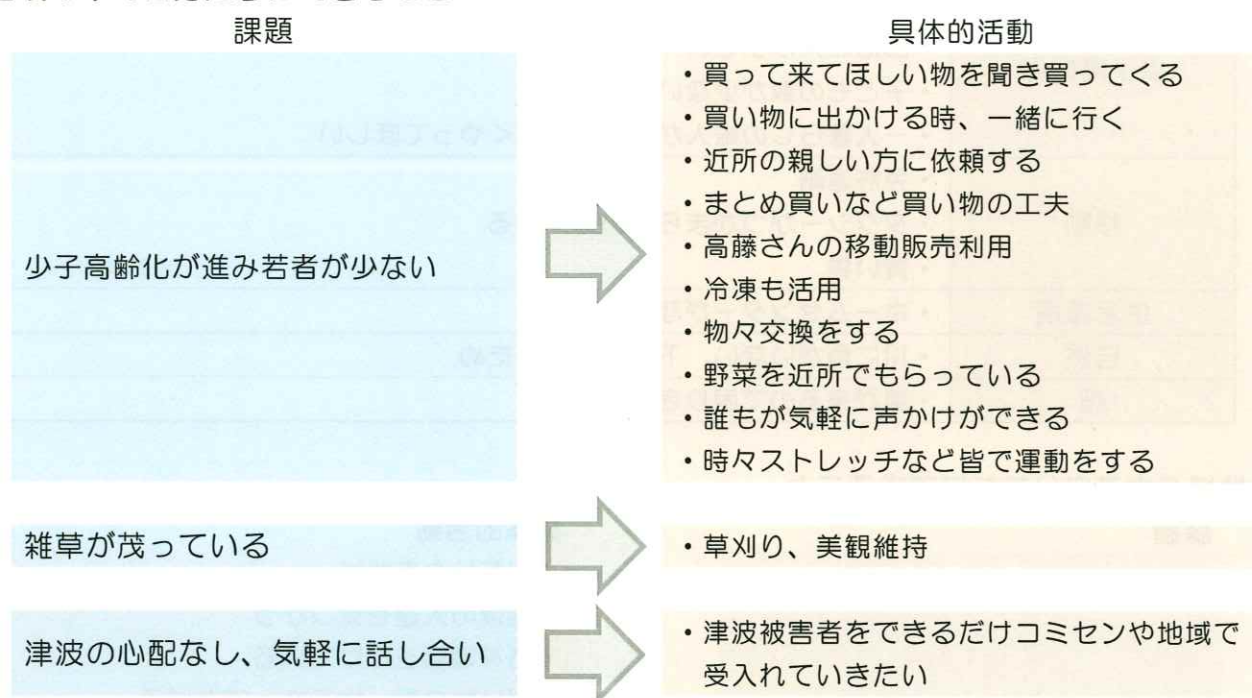
人	<ul style="list-style-type: none"> ・顔見知りばかり ・元気な人が多い ・働き者の人が多い ・ピアニストが来てくれ、嬉しいです ・人がらが穏やか ・心温かい人 ・長老が元気!!女性も
近所 づきあい	<ul style="list-style-type: none"> ・気軽に声かけあえる ・近所の方が親切 ・気安い ・野菜や釣ってきた魚を頂ける ・とれとれの野菜が頂ける ・体調を崩すと食事の心配をして、持って来てくださる
町内会	<ul style="list-style-type: none"> ・世話役がいる ・共同作業の参加者が多い ・地域の会合への出席率が高い ・行事のある時は参加者が多い
生活環境	<ul style="list-style-type: none"> ・静かでいいです ・住みよい所 ・車の通行が少なく静か ・日当たりが良く気候が穏やか ・遠慮なく楽器が楽しめる ・緑が近くに見える畑もできる
自然	<ul style="list-style-type: none"> ・自然が豊かで川がきれい ・山なみの景色がすばらしい ・星がきれい ・山際にうっすら雲がかかる朝の風景がきれい ・田んぼの水鏡がステキ竹林や山々が水にうつり素晴らしい
災害	<ul style="list-style-type: none"> ・津波の心配なし、気軽に話し合い

地域の課題（生活の中で困っていること、困っている方を見かけたこと）

高齢化	<ul style="list-style-type: none"> ・少子高齢化が進み若者が少ない ・一人暮らしで家中の片づけが大変 ・耳が聞こえにくい ・目が見えにくい ・子どもが少なく、もっと若い人に住んで欲しい ・一人暮らし、夫婦だけの家族が多く今後増々高齢化が進み地域が成り立っていか不安 30年後、この地区に人がいるのか
-----	--

生活環境	<ul style="list-style-type: none"> ・店屋が少ない ・買い物が不便 ・隣の人の様子が不明 ・雑草が茂っている ・散歩中ゴミが多く見苦しい ・ゴミ収集所にカラスが来る ・スズメバチが怖い ・虫が多い
町内会	<ul style="list-style-type: none"> ・会があっても若い人が寄らない ・若い方の交流がないので、もっと色々と参加して欲しい
移動	<ul style="list-style-type: none"> ・交通の足が不便 ・タクシー助成券が足りない ・車に乗れなくなったら町まで遠い ・町内バスが運行していないので将来が不安 ・車の運転ができなくなった時どのようにして足を確保するか心配
農業	<ul style="list-style-type: none"> ・被害を与える動物に大変困っている
仕事	<ul style="list-style-type: none"> ・若者の働く職場がない ・未来に希望がない ・若い人が外に出てしまう（高校を卒業すると）

地域の中で自分たちにできること



8 川又地区

地域の良いところ・好きなところ

町内会	<ul style="list-style-type: none"> ・いつも地域の人に助けられている ・一人暮らしなので、いつも心に留めてくれている地域 ・電話をかけてくれたりする
出会い	<ul style="list-style-type: none"> ・人との出会いに助けられ現在まで生きてこられた
生活環境	<ul style="list-style-type: none"> ・のどかである ・玄関を開けっ放しでも心配ない ・阿南市に近い
自然	<ul style="list-style-type: none"> ・自然豊かである ・山、川があり、自然が美しい ・川の水がきれい ・空気がきれい

地域の課題（生活の中で困っていること、困っている方を見かけたこと）

少子高齢化	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢率が高い ・一人暮らしの不安 ・一人暮らしで話相手がないのが一番寂しい ・一人暮らしで風呂に入るのは十分に注意がいる
少子高齢化	<ul style="list-style-type: none"> ・限界集落に近い ・部落の人が少ない ・子どもの数が少ない ・一人暮らしの婦人が多く、仲良くやってほしい
移動	<ul style="list-style-type: none"> ・免許返納 ・タクシーがつかまらない時がある ・買い物
生活環境	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームセンターがない
自然	<ul style="list-style-type: none"> ・川に魚がない、下流の大関のため
畑	<ul style="list-style-type: none"> ・猿が来るので困りきっている

地域の中で自分たちにできること

課題

一人暮らしの不安

具体的活動

- ・お互いの声かけ
- ・地域の人達を気づかう
- ・時々電話をかけている
- ・買い物の重い物を持ってあげる
- ・老人会の世話役活動
- ・古紙回収
- ・配食ボランティア
- ・友愛訪問で、自分も元気をもらう

9 関地区

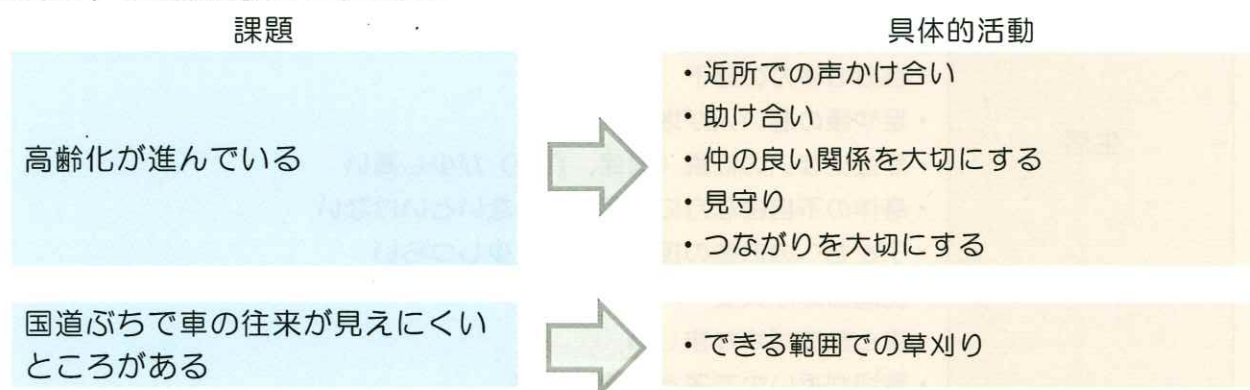
地域の良いところ・好きなおとこ

人	<ul style="list-style-type: none"> ・働き者が多い ・自分のことは自分でと頑張られている高齢者の方が多い
近所 づきあい	<ul style="list-style-type: none"> ・隣近所の仲がいい
町内会	<ul style="list-style-type: none"> ・連絡網がしっかりしている ・夏祭り、秋祭り（三崎神社） ・草刈りの出役 ・町内会の活動に協力的 ・会合の出席率が高い ・土手の草刈り
自然	<ul style="list-style-type: none"> ・桜 ・大関

地域の課題（生活の中で困っていること、困っている方を見かけたこと）

高齢化	<ul style="list-style-type: none"> ・一人暮らし ・買い物 ・高齢化が進んでいる
移動	<ul style="list-style-type: none"> ・免許返納
生活環境	<ul style="list-style-type: none"> ・国道ぶちで危険 ・冬、寒い ・日中、照り返しが暑い ・国道ぶちで車の往来が見えにくいところがある

地域の中で自分たちにできること



10 清水地区

地域の良いところ・好きなところ

人	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが増えた ・人々が親切である ・子どもの仲が良い ・明るい声が聞こえる
近所 つきあい	<ul style="list-style-type: none"> ・皆仲が良い ・楽しい人が集まる ・近所の声かけが良い ・他人を気にせず生活できる ・皆が協力的
町内会	<ul style="list-style-type: none"> ・毎年行われる奉仕作業の団結力 ・ボランティア活動が素晴らしい ・（草刈り、掃除等）まじめにやってくれる ・若い人が沢山地域に入ってきてくれた
生活環境	<ul style="list-style-type: none"> ・スーパー、駅、病院が近い ・国道沿いで移動に便利 ・ドコモ、コンビニ ・交通の便が良い ・静かで住みやすい
自然	<ul style="list-style-type: none"> ・きれいな川、時々蛍が飛びきれい ・山が多い

地域の課題（生活の中で困っていること、困っている方を見かけたこと）

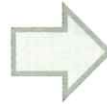
人付き合い	<ul style="list-style-type: none"> ・つきあいのできない人がいる ・一日中家に閉じこもっている人がいる ・何があっても出てこない人がいる
生活	<ul style="list-style-type: none"> ・一人暮らしが増えていて心配 ・自分の体力の低下 ・足や腰の悪い人が増えてきた ・年金少ないのに税（国保、介護）が少し高い ・身体の不自由な方には優しくしないといけない ・子どもへのお金の援助があり、少しつらい
生活環境	<ul style="list-style-type: none"> ・側溝掃除が大変 ・車と鉄道がやかましい ・踏切が近いので子ども達が心配 ・餌づけするので鳥などが集まってくる ・国道のため交通事故が心配 ・ポイ捨て、国道、線路など ・線路の草刈りをしてほしい ・車の運転に注意してほしい

町内会	<ul style="list-style-type: none"> ・他と比べて出役が多い ・行事的な事はきまった人ばかりになる ・出役率低下 ・若い人にもう少し集まってきてほしい ・お互いに決めたことは実行してほしい
災害	<ul style="list-style-type: none"> ・山の竹が台風などで倒れている ・山が崩れてこないかちょっと心配している

地域の中で自分たちにできること

課題

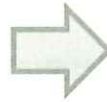
一人暮らしが増えていて心配



具体的活動

- ・隣の人と電話、話し合い
- ・声かけ
- ・新聞がたまっているかの確認
- ・電気が点いているなど気にかける
- ・通りがかった時など気にしておく
- ・館だより配布の時に安否確認
- ・リサイクルの物を預かり持って行く
- ・体調に合わせ掃除などを助ける
- ・話を聞いてあげる
- ・友達同士の助け合い
- ・日頃の人との世間話
- ・異常に気づいたら役場の方へ連絡する

一日中家に閉じこもっている人がいる



- ・見回り相談
- ・会った時は少し声かけや挨拶する



1 1 本町地区

地域の良いところ・好きなところ

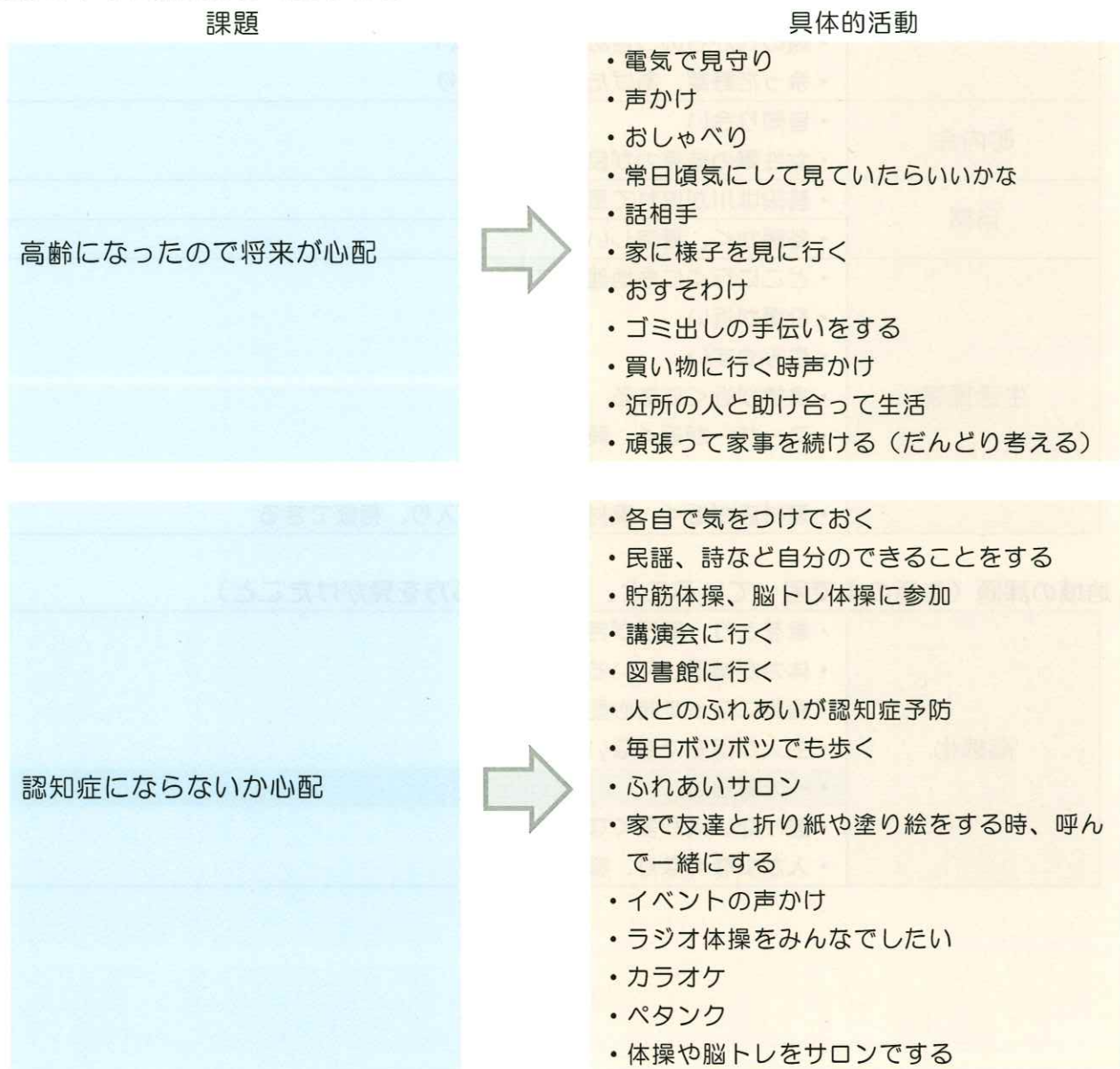
人	<ul style="list-style-type: none"> ・みんなが優しくしてくれる ・なんでも話せる ・学生さんのあいさつが良くできる ・元気です ・年齢やその他よく理解しやすい ・皆さん若い人が色々と話して助けてくれる
近所づきあい	<ul style="list-style-type: none"> ・近所の人声が声かけしてくれる ・近所が仲良い ・みんなで毎日ゆったり過ごせる ・自分の気がつかない時に何かと気配りをしてくれる ・やさしい、助け合い ・近所で悩み事を相談できる ・おすそ分け ・人間関係が暮らしよい ・となり組はみな良い人で生活しやすい所
町内会	<ul style="list-style-type: none"> ・月に一度のサロンが楽しい ・ふれあいサロンは多数出席仲良く元気
生活環境	<ul style="list-style-type: none"> ・静かな街並み ・コインランドリーがあって便利 ・家の周り環境が最高 ・川があり散歩にちょうど良い ・どこへ行くにも比較的便利な位置にある ・町の中心でショッピングセンター、駅、役場など近く便利
自然	<ul style="list-style-type: none"> ・海山と恵まれ大変美しい ・星・空気がきれい ・自然が良い

地域の課題（生活の中で困っていること、困っている方を見かけたこと）

高齢化	<ul style="list-style-type: none"> ・誰か家にいたら安心できるが一人暮らしは心配 ・自分のことができない時があるので困っている ・足腰の衰退、歩行が衰える ・夫婦とも高齢になったので将来が心配 ・おばあちゃんの介護が心配 ・調子が悪くなった時心配（一人暮らし） ・認知症にならないか心配 ・ガスの取り扱いが鈍くなり、心配事ばかり
-----	---

生活環境	<ul style="list-style-type: none"> ・デリバリーのお店が無い ・外灯が家の近くにないので夜の外出が不便 ・猫の糞に困っている ・草がよく生えて困っている ・空家が多い
移動	<ul style="list-style-type: none"> ・病院が遠くなった
災害	<ul style="list-style-type: none"> ・大水の出た時川の流れをせき止め洪水が起きるのでは ・裏の川が心配、波が入ってくる ・台風が来たらどうしよう、どこに逃げようか
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭菜園の野菜が努力しているのにできなくて不安 ・隣組が無くなって近所で話をする人がいない ・思った通りにならないのが常で、誰もが通る道 ・若い方が少なくて子どもが少ない

地域の中で自分たちにできること



12 中の島地区

地域の良いところ・好きなところ

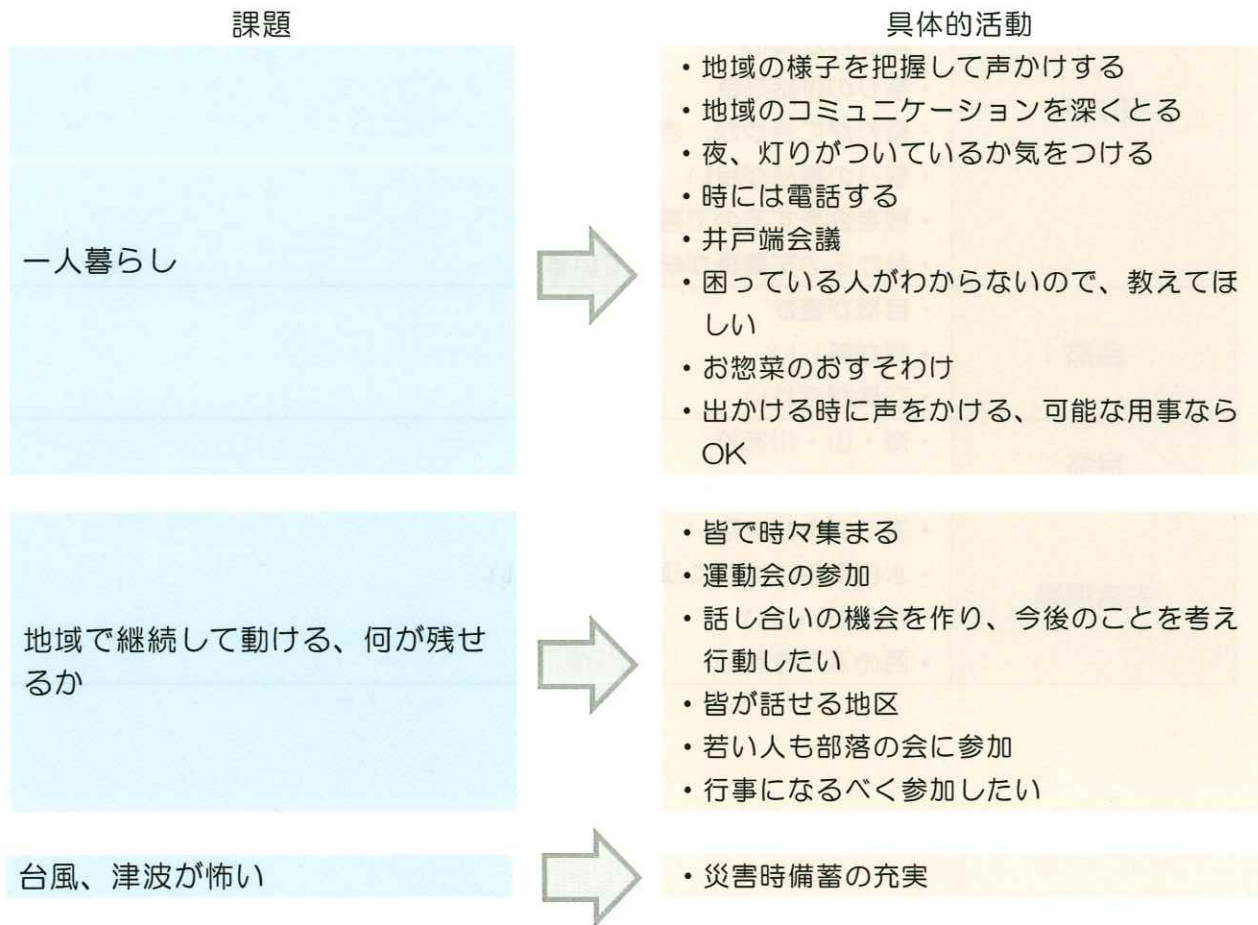
人	<ul style="list-style-type: none"> ・皆が親切でありがたい ・人情深いところ ・頼れる近隣 ・話しやすい ・優しく育ててくれる方が多い ・お姉様方のうるさいのが良い ・暴力的な人がいない
近所 づきあい	<ul style="list-style-type: none"> ・近所づきあいが良い ・隣近所が近いのが良い ・おしゃべりできる人がいる ・困った時助けてくれる ・気安い ・親の代からのつきあいがうれしい ・余った野菜、あげたりもらったり
町内会	<ul style="list-style-type: none"> ・皆知り合い ・女性軍の結束力が良い
自然	<ul style="list-style-type: none"> ・普段は川が流れて風情がある ・冬暖かく、夏涼しい
生活環境	<ul style="list-style-type: none"> ・どこに行くにも地理的に便利 ・役場が近い ・住みやすい ・食堂が近くにある ・スーパーが近く、買い物に便利 ・駅に近い ・建材店が近く、資材がすぐ手に入り、相談できる

地域の課題（生活の中で困っていること、困っている方を見かけたこと）

高齢化	<ul style="list-style-type: none"> ・歳をとり、無理がきかない ・体力が減退している ・病気になった時心配 ・主人が何もできない ・一人暮らし ・動けない人が多くなってきた ・人が少なくなり、寂しくなった
-----	--

生活環境	<ul style="list-style-type: none"> • 家の中ちょっとした故障 • 地代が高い • ガラスを入れてくれる店屋もない • 犬の糞が多い • 空地の草が多く、虫や蚊が集まる • 野良猫が多く、責任なく餌をやる人もいて、被害有 • 空地が多くなり、住みにくくなってきた
移動	<ul style="list-style-type: none"> • 足の悪い人が多くなり、出かけるにも手段がない
町内会	<ul style="list-style-type: none"> • 寄り合いがいつまでできるか心配 • 地域で継続して動ける、何が残せるか
災害	<ul style="list-style-type: none"> • 台風が怖い • 津波が怖い • 避難できない人が多くなってきた • 津波の時の逃げ方 • 空家が多く、台風時瓦が飛んできて心配
その他	<ul style="list-style-type: none"> • 公民館の庭が汚い • 港が汚い • 子どもが少ない • 倒れた時や台風で物が壊れた時など、電話する若い人がほしい

地域の中で自分たちにできること



13 西の西・西の中・西の東地区

地域の良いところ・好きなところ

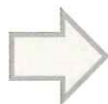
人	<ul style="list-style-type: none"> ・元気な人がたくさんいる ・だいたいが真面目な人が多い ・元気な高齢者が多い ・若者が前向きに取り組んでいくこと ・いつまでも気が若い ・美人が多すぎて困る ・小言を言う人が少ない ・皆親切
近所 づきあい	<ul style="list-style-type: none"> ・近所おだやか ・近所の人が親切 ・重い物を持ってくれる ・声かけしてくれる ・おばあさんになるにつれ友達との会話が生きがい ・誰とでも気安く物が言える ・近所に同級生が居るので毎日のように話に行く ・隣近所の助け合いが密で、弱い人はほっておかない
町内会	<ul style="list-style-type: none"> ・余り気を使わなくて済む地域、まだ元気だよ ・隣組の仲が良い所 ・集まりが良い ・祭りの世話好き ・祭りがにぎやか、きれい ・祭りの景品が良い ・敬老会をするので喜んでくれる ・昔からの左義長が続いている
自然	<ul style="list-style-type: none"> ・自然が豊か ・緑が美しい ・空気がきれい
自然	<ul style="list-style-type: none"> ・海・山・川あり ・桜が美しい
生活環境	<ul style="list-style-type: none"> ・道にゴミが少ない ・水田商店には長く頑張っていて欲しい ・水がおいしい ・西の浜がきれい

地域の課題（生活の中で困っていること、困っている方を見かけたこと）

<p>少子高齢化</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・親の介護を息子さんがしている ・一人暮らしや高齢者世帯が多い ・年金でやっと生活している人がいる ・副食を作る事が独りだと面倒くさい ・一人暮らしで入浴がこわい ・少しずつできない事が増えた ・足腰が痛く歩くのがおっくう ・子どもの声が聞こえない ・幼い子の遊び場所ない ・若い人が少ない ・人口が少なくなっている
<p>心配ごと</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・独りは用心が悪くて困る ・時々大声を出す人がいて怖い ・隣と仲が悪い ・引きこもりの人がいる ・次から次へと嫌な事ばかり起きる ・苦情集まる
<p>移動</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・買い物が遠い ・病院の坂がきつくて独りで行けない ・町で頂けるタクシー券が少ない ・総合病院が遠く不便 ・図書館が遠い ・車に乗らないので不便
<p>生活環境</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・店が少ない大型店がない ・国道 55 号の道幅が狭くて怖い ・焼却場へ行く道路が悪い舗装して欲しい ・空き家が多い ・ホームセンターがない ・空き家があって草が生えて困る ・ハトだらけ ・近所の家の木が伸びて来て困る
<p>その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・どんどん釣れる魚が少なくなっている ・海藻が少なく貝類が少ない ・仕事場が少ない ・草刈りが大変だ ・津波さえ来なければ前向きにできるが、全て悩みになる

地域の中で自分たちにできること
課題

一人暮らしや高齢者世帯が多い



具体的活動

- お風呂に入る時に近所の人に声をかける
- 雨が降ってきたら知らせてあげる
(洗濯物)
- 困った時にはすぐ知らせてと声かけている
- 高齢者が歩いていたら声をかける
- 普段と雰囲気が変わらないか遠くから見守る
- 通りがけに洗濯物が干してあるか気にかける
- 電話での会話
- ゴミ出し
- 身体の話进行聞く
- おすそわけ
- とくし丸・コープとかの買い物手段を知らせる
- 花の水やり
- 近所の高齢者をいろいろな面で見守る
- 移住者を受け入れ

国道 55 号の道幅が狭くて怖い



- 道路掃除
- ゴミ拾いする
- ポイ捨てしない
- 町道の異常は、役場建設課に通報



14 上の町地区

地域の良いところ・好きなおところ

人	<ul style="list-style-type: none"> ・気さくな人が多い ・皆さん良い人です ・皆優しい ・人柄が良い
近所 づきあい	<ul style="list-style-type: none"> ・近所づきあいが良い、気心がわかっていて ・土着の人間が多いので安心してつきあいができる ・声かけがわりとできているように思う ・時々コーヒーを飲みながら世間話をする ・近所づきあいが良い ・隣近所仲が良い、家族構成がよくわかり何かあっても必ずわかる
町内会	<ul style="list-style-type: none"> ・サロンが楽しい ・上の町に住んでいて楽しい
生活環境	<ul style="list-style-type: none"> ・病院や警察が近く安心 ・近くにお店があったり、とくし丸が来て便利 ・景色が良い ・ゆったりしている ・静かで生活しやすい ・上の町はどこへ行くのも便利な所 ・駅が近い
災害	<ul style="list-style-type: none"> ・水害の心配が少ない ・災害に強い

地域の課題（生活の中で困っていること、困っている方を見かけたこと）

高齢化	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもがほとんどいない、高齢者が多い
移動	<ul style="list-style-type: none"> ・足の悪い人は独りで病院、買い物に行けない
生活環境	<ul style="list-style-type: none"> ・近所に食料店がなくて不便 ・店が少ない ・草が茂り困っている ・ホームセンター、ドラッグストアがなく不便
生活	<ul style="list-style-type: none"> ・男2人なので栄養問題が気になる ・家に女性がいないので非常に忙しい
災害	<ul style="list-style-type: none"> ・大水の時心配 ・川が横にあるので災害が心配 ・地震が起きたら逃げ遅れないか ・地震、津波時の高齢者の避難 ・災害時の避難場所が屋外の場所しかない
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・町全体に活気がない ・長期入院ができなく遠くの病院へ行くこととなる

地域の中で自分たちにできること
課題

子どもがほとんどいない、高齢者が多い



具体的活動

- ・隣近所で気をつけ合う
- ・家を空ける時、近所に言う
- ・近所に声かけを習慣づけする
- ・買い物に行く時、話をする
- ・サロンを続ける
- ・気安くできる料理教室

地震、津波時の高齢者の避難



- ・津波の時の声かけ



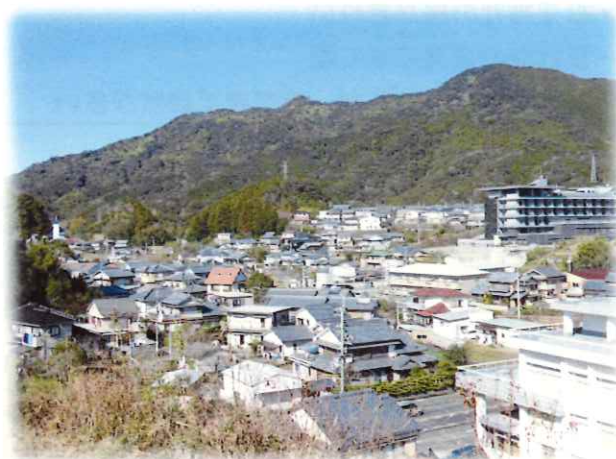
15 杉王・山田地区

地域の良いところ・好きなところ

人	<ul style="list-style-type: none"> ・女性はよく働く人が多い ・いつも元気な子ども達の姿が見えないと心配してくださる高齢者がいる ・小学生や中学生が多い ・若い人が多い ・親切な人が多い ・みんなきれい好き ・杉谷ハイツは若い男の子が多くなり、良い ・暴力的な人がいない
近所 づきあい	<ul style="list-style-type: none"> ・昔からの知り合い、つきあいが多い ・近所づきあいが良い ・お互い年齢が近いので話が進む ・神社へ歩き（散歩）に行ける仲間ができる
町内会	<ul style="list-style-type: none"> ・となり組の組織がある ・山田地区全体が良く挨拶する ・お祭り ・町内会長が良く動かれるので助かる
生活環境	<ul style="list-style-type: none"> ・海部病院が近い ・街に近く買い物に便利、住みやすい ・酒店がある（立きゅうができる） ・公共施設（警察署、海部病院があり生活が安心） ・JRの通る音が時計代わりになる ・駅が近い ・家の周り外灯が明るいし住みやすい ・静かな環境
災害	<ul style="list-style-type: none"> ・避難する場所が近いので安心 ・高台（杉谷ハイツ） ・津波避難がしやすい ・海から離れている ・病院、神社が近く災害の避難場所にいい
自然	<ul style="list-style-type: none"> ・杉王神社の桜がきれい ・正観寺の花見に来てね ・病院道路などあるが、まだまだ自然が多い

地域の課題（生活の中で困っていること、困っている方を見かけたこと）

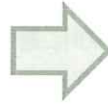
高齢化	<ul style="list-style-type: none"> ・一人暮らしの方が増えている ・生活の様子が心配 ・年とともに階段とか上り下りがおっくう ・お父さんが動かない ・人口の減少
移動	<ul style="list-style-type: none"> ・車に乗られない方が高い坂を上がるので大変 ・病院への道路ができて車の通行が多くなり危ない ・JRでの通学で列車数が少なくて帰るのが遅くなる
移動	<ul style="list-style-type: none"> ・朝7:00の特急に乗るのにタクシーが来てくれない。 ・町のバスで乗合をして下さい ・病院へ行く車のスピードが速く、子どもたちの通学時に危ない時がある
生活環境	<ul style="list-style-type: none"> ・近所に猫が多い。猫害!! ・空き家が増えてきた ・空き家の管理 ・お店の数が少ない ・ゴミ出し、道路まで出ている ・自動販売機が遠い ・雑草が多いが、今までしてくれた方の高齢化で草刈りが進まない
騒音	<ul style="list-style-type: none"> ・救急車の音がよく響く ・鉄道の汽車の雑音がやかましい ・大型のヘリは屋根が取られるように感じる ・急病の方には申し訳ないがドクターヘリの音がうるさい
災害	<ul style="list-style-type: none"> ・台風被害が増した ・家周辺の地形が変わり雨風が激しくなった ・避難場所が草などで上がれない ・災害時の避難困難者（高齢者、障がい者）をどうするか
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・昔と比べるとドア（玄関）にカギがかかっていることが多くなったと感じる ・結婚しない（友人が） ・人間関係が希薄になった



地域の中で自分たちにできること
課題

具体的活動

一人暮らしの方が増えている



- 日頃からの声かけ
- おしゃべり
- 朝の確認（おとなりの）雨戸とか新聞とか見える範囲で
- 一人暮らしの方への安否確認
- 話し相手になる
- 隣り同士で声かけ
- ご近所の高齢者の買い物、送迎などができる範囲で
- 近くの墓の水やりや花の立て替えをすることができる
- 転入してきた方にゴミの出し方を伝える
- リサイクル持って行ってあげる
- ゴミ置き場のふたを上げる
- 親戚の家の墓掃除などができる

雑草が多いが、今までしてくれた方
の高齢化で草刈りが進まない



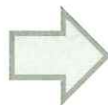
- 地区清掃
- 草刈りの手伝い

災害時の避難困難者（高齢者、障
がい者）をどうするか



- あいさつは自分から進んでする（あいさつは大事）
- 訓練に参加する
- 近所の子の家族を知る
- 普段からの声かけ、あいさつで近所と密になる
- 事前避難の助け合い
- 地域でのワイワイ交流
- 1年に1回位バス旅行で心通わす

病院へ行く車のスピードが速く、
子どもたちの通学時に危ない時がある



- 学校の通学の見守り

16 大谷地区

地域の良いところ・好きなのところ

人	<ul style="list-style-type: none"> ・元気！健康 ・大谷地区良い人ばかり ・冗談ばかり、気を使わない ・気安く話しやすい人が多い
近所 づきあい	<ul style="list-style-type: none"> ・近所同士のつながりがある ・近所が近い割に皆様静かに暮らしている ・ここに来て30年になりますが大変うれしい ・隣人はいつも明るく、挨拶を交わしているので気持ち良い
町内会	<ul style="list-style-type: none"> ・清掃活動 ・町内清掃などの活動に協力的 ・花見、運動会
生活環境	<ul style="list-style-type: none"> ・暮らす環境が良い ・前に国道がある ・山があり夏涼しいし、冬は温暖 ・バス停と駅が東の人や奥より近いので有難い ・買い物、役所近く便利 ・牟岐町一の都会 ・病院が近く安心 ・ローソン、警察があり人の顔が常に見られる
災害	<ul style="list-style-type: none"> ・わりあい安全な所と思っている ・海から少し離れているので津波には少し安心

地域の課題（生活の中で困っていること、困っている方を見かけたこと）

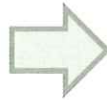
高齢化	<ul style="list-style-type: none"> ・一人暮らしが心配 ・高齢化が進んでいる ・高齢化で、身体面で気づかい合う必要がある ・食事の準備が大変 ・買い物に行けなくなっている ・腰が痛い
移動	<ul style="list-style-type: none"> ・免許返納 ・免許返納し、活動範囲が狭くなった
生活環境	<ul style="list-style-type: none"> ・道端にゴミが多い（ポイ捨て） ・草木が大きくなってるので、処理できない ・山の近くなので山の木が大きくなることが心配
町内会	<ul style="list-style-type: none"> ・町内会に入っていない方が多い ・婦人会活動に入る方が少ない

交通	<ul style="list-style-type: none"> ・国道があるのでうるさい ・事故（国道の車の）が何回もあり、どうもこの件は困る ・バイパスの早期完成願います ・トンネルの出口・中央（木と枝）と入口（上の葉）たくさん積もる
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・猿の被害が多い

地域の中で自分たちにできること

課題

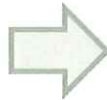
道端にゴミが多い
（ポイ捨て）



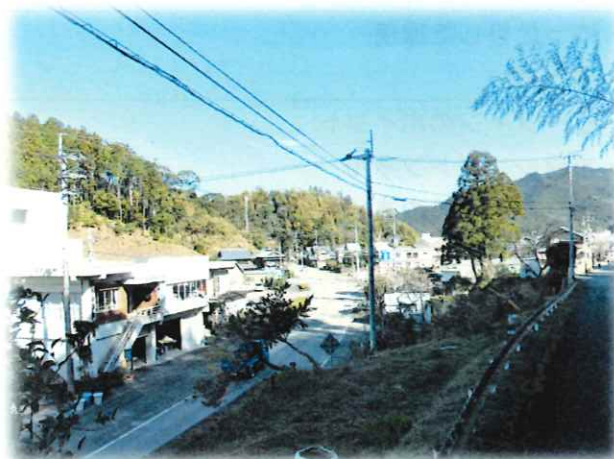
具体的活動

- ・〈ゴミ、草〉当番を決めて、みんなでする
- ・収集ゴミ箱の運搬をしてあげる
- ・年に何回か合同で掃除したい

一人暮らしが心配



- ・あいさつ
- ・顔を合わせた時の声かけ
- ・声かけ、世間話
- ・遠目でゆるやかな見守り
- ・毎日いるかどうか確認
- ・見守り、話し相手になる
- ・新聞がたまっていないか気をつける
- ・サロンの実現
- ・健康でいる事



17 内妻地区

地域の良いところ・好きなところ

人	<ul style="list-style-type: none"> ・優しい人が多い ・子どもが多い ・気のいい人が多い ・親しい人ばかり ・人情がある ・きれい好きな人が多い ・墓参りが多い ・米作りの農家も頑張っている
近所 づきあい	<ul style="list-style-type: none"> ・近所とのつきあいが多い ・近所間の仲が良い ・助け合いの精神が豊富である ・近所の人との挨拶をよくする ・人とのつながりが深い ・気やすい ・若い人達が年寄りに良くしてくれる
町内会	<ul style="list-style-type: none"> ・家族のような関わりができる地域 ・年間3回飲み会をしている①初寄り②人権学習会・田休み③運動会 ・第50回内妻運動会 ・公民館等、イベント（行事）が多く、つながりが深い ・まとまりがある ・皆で集まる事も多く皆で協力しあえて過ごしやすい ・生活するには楽しい地域 ・アジサイ祭り
自然	<ul style="list-style-type: none"> ・山あり、川あり、海あり、自然がきれい ・自然が豊か ・日陰がきれい ・海岸が美しい ・静か ・海、川、山、空がきれい
生活環境	<ul style="list-style-type: none"> ・ゆったりした環境 ・住みよい
観光 スポット	<ul style="list-style-type: none"> ・サーフィンのポイント ・古きレンガトンネル ・あじさい祭りのあじさいがきれい

地域の課題（生活の中で困っていること、困っている方を見かけたこと）

高齢化	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者が一層増える ・子どもが近くにいないので困る ・耳が聞こえない ・一人暮らしの人が多くなってきた ・足、腰が痛い ・認知症にならないか心配 ・体の心配がある
移動	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者は買い物に行けない ・内妻トンネルが狭い ・車がないと生活ができない ・高齢者の病院への通院手段、買い物等の交通手段 ・免許返納 ・移動が不便 ・サーファーが車のスピードを落とさず通行する
生活環境	<ul style="list-style-type: none"> ・隣が遠いから夜は寂しい ・草刈りが忙しくてできず、蛇が出る ・環境保全 ・買い物する所が遠く、不便 ・飲食店がない ・近くに飲み屋がない
災害	<ul style="list-style-type: none"> ・川があるので増水、自然災害 ・山が荒れている ・自然災害が多い ・津波の心配
農業	<ul style="list-style-type: none"> ・田を作らない人が増えてくる ・田んぼの作づけが増えている ・農地の管理 ・所有する山林、水田等の管理 ・農業の後継者の問題 ・畑を作っている所の猿問題 ・猿、猪、鹿がいっぱいいて困る
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティの継続 ・若い人の仕事がない ・海岸のゴミ（プラスチック、ゴム、流木等）

地域の中で自分たちにできること
課題

一人暮らしの人が多くなってきた



具体的活動

- ・近所の高齢者を気にしておくこと
- ・時々家を訪問して話相手になってあげる
- ・見守り、声かけ、自然にできれば良い
- ・近所で仲良くすることを続けていく
- ・認知症にならないよう皆で集まり話をする
- ・連絡しあう
- ・買い物時の声かけ（乗り合わせ等）
- ・食事の用意、畑仕事
- ・規則正しい生活をする
- ・普段から脳トレをする
- ・運動し少しでも病気にならないようにする

コミュニティの継続



- ・皆で協議
- ・皆で協力
- ・皆で酒を飲む
- ・地域の集まりには出る

自然災害が多い

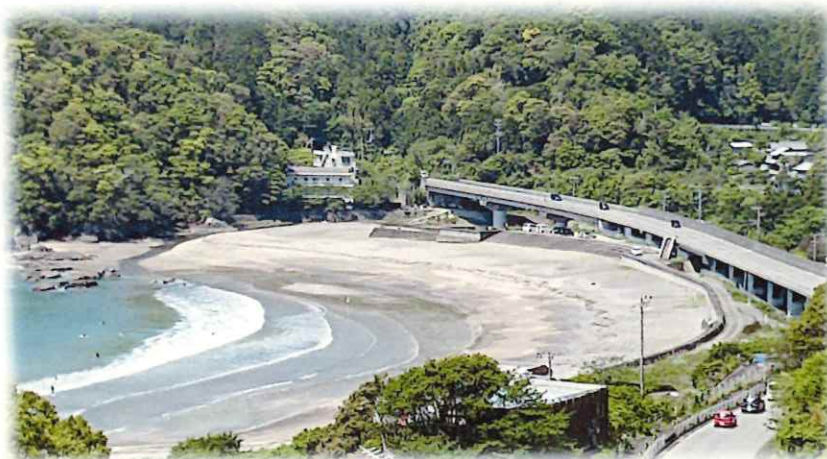


- ・防災の共助
- ・防災訓練

所有する山林、水田等の管理



- ・草刈り等環境保全
- ・猿、鹿、猪を鉄砲等で駆除する
- ・機械を持っている人は、持っていない人の田んぼ等の助け合い
- ・所有地の管理等（できる範囲で）



18 川長地区

地域の良いところ・好きなおところ

人	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢の方は自立している方が多い ・若い人が多い
地域活動	<ul style="list-style-type: none"> ・サロン活動、仲良く協力している ・高齢者の見守り ・リサイクルの手助け ・不幸の時の連絡網 ・町道の草刈りをボランティア ・子どもの見守り隊
生活環境	<ul style="list-style-type: none"> ・買い物が近い ・駅が近い
自然	<ul style="list-style-type: none"> ・冬の牟岐川にいる鴨が自慢 ・自然に恵まれている 山、川、海 ・四季の移り変わりが良くわかる
伝統	<ul style="list-style-type: none"> ・氏神祭り、八矛神社（年2回夏、秋）
農業	<ul style="list-style-type: none"> ・農業地区である（用水の管理） ・農作業時の声かけ合い

地域の課題（生活の中で困っていること、困っている方を見かけたこと）

高齢化	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢化が進むと生活が心配 ・動けなくなった時ケアしてくれる人いるか心配 ・買い物に困難になる事がある ・近所が遠いので話をできない時もあると思う
移動	<ul style="list-style-type: none"> ・交通の便が心配 ・病院への通院 ・川長の町道がもう少し広いと良いのだが ・町道が狭いので車の運転に困る
生活環境	<ul style="list-style-type: none"> ・夜、町道通る時、猪が出る ・町道を運転中、鹿に会った事がある ・荒地になるおそれがある（田、畑） ・店が少ない（食品、衣類など）
人口	<ul style="list-style-type: none"> ・人口減少
地域活動	<ul style="list-style-type: none"> ・会合の時、集まりが悪い

地域の中で自分たちにできること
課題

高齢化が進むと生活が心配



具体的活動

- 家に訪問
- 声かけをする
- 夜、明かりがついているか見守りする
- 高齢者の見守り（友愛運動）
- 新聞たまっているなど異変に気づく
- 日常生活の中で人間関係を保っておく
- 話しやすい間柄を作っておく
- 元気高齢者を見習う
- おすそわけ
- 電話連絡をする



19 天神前地区

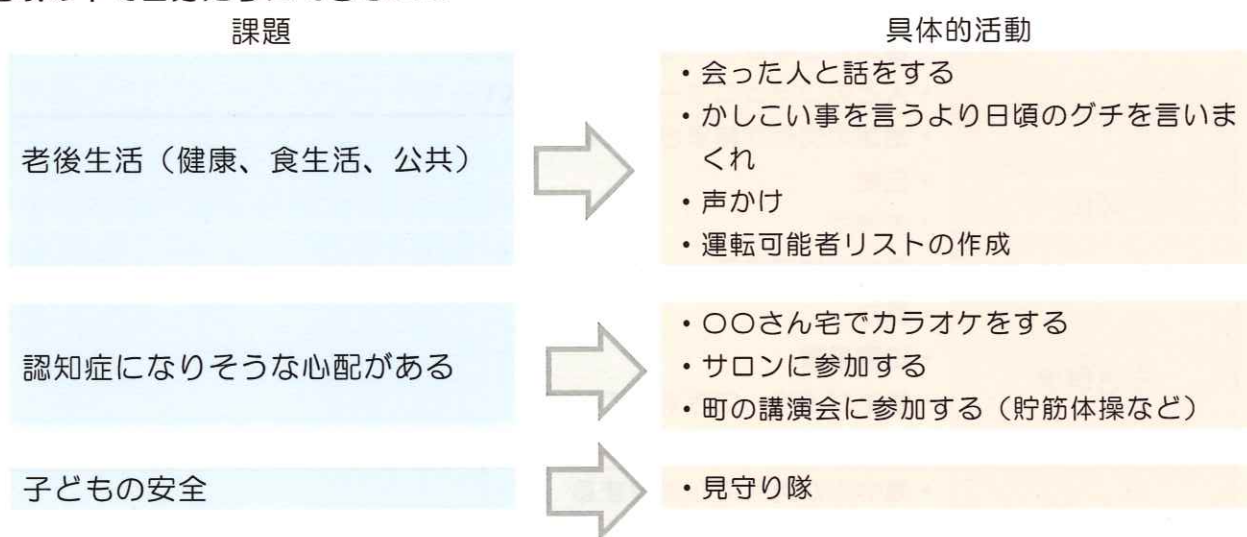
地域の良いところ・好きなところ

人	<ul style="list-style-type: none"> • いつも気をつけて声をかけてくれる人がいる • 思いやり • 良い人が多い
近所 づきあい	<ul style="list-style-type: none"> • 向こう三軒両隣が続いている • 近所の事への気づかいはできる • となり近所の気安いところ • 人づきあいが良い所 • おはよう、こんにちは、こんばんはと言わずとも通じる • 仲がいい • 牟岐弁でまくしたてられる（標準語不要）
町内会	<ul style="list-style-type: none"> • 集まっておしゃべり大好き • 町内会のまとまり • 皆大好き年取ってもよろしくね！！ • 人とのコミュニケーションがよい
文化	<ul style="list-style-type: none"> • 地域の文化が継承されている • 伝統 • 天神社 • 県文化財である
生活環境	<ul style="list-style-type: none"> • 静か • 田園風景 • 学生が通り、にぎやかでいい • 距離的にどこに行くのも便利
その他	<ul style="list-style-type: none"> • 海や川が見えて心が安まる • 海が近くに見えていいと思う • 秋葉さん見晴らし良い • 猿、猫、猪と小動物がたくさんいる

地域の課題（生活の中で困っていること、困っている方を見かけたこと）

少子高齢化	<ul style="list-style-type: none"> ・ 老後生活（健康、食生活、公共） ・ 人数が減るばかりで、さみしくなるなあ ・ 若い人が少ない ・ 認知症になりそうな心配がある
移動	<ul style="list-style-type: none"> ・ 病院が遠いので困る ・ 買い物等移動に不自由している ・ 高齢の足 ・ 車に乗れなくなると牟岐町でバスを多くしてほしい
日常生活	<ul style="list-style-type: none"> ・ 買い物 ・ 配食弁当 ・ 個人のお店屋（食料品）があつたらいいのに
子ども	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもの安全

地域の中で自分たちにできること



20 東の西地区

地域の良いところ・好きなおところ

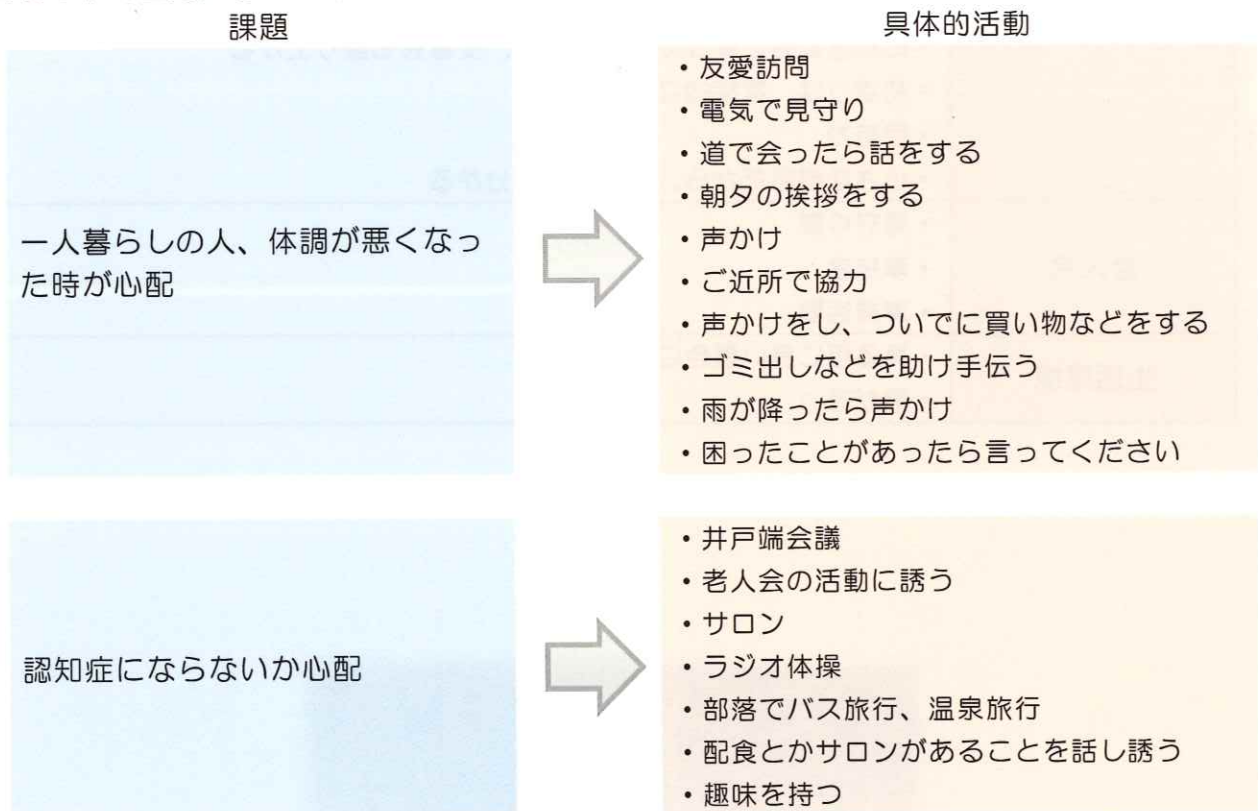
人	<ul style="list-style-type: none"> ・皆、優しい ・人柄が良い ・夫婦仲良しが多い ・温もりがある ・子どもが少しずつできてきている ・皆気安く会話できる
近所づきあい	<ul style="list-style-type: none"> ・近所が仲良し ・助け合い ・声かけをしあう ・仲間が良くまとまっている ・おすそわけ
町内会	<ul style="list-style-type: none"> ・部落行事を先輩がよく実行してくれたので、今でも続いている ・常識的に物事が行える ・部落行事にも熱心に参加してくれる ・町内会の集まりが良い ・町民運動会に単独の参加ができ、反省会も盛り上がる ・初寄りは、家族的な所 ・団結力 ・小さな部落だから、状態がよく分かる
老人会	<ul style="list-style-type: none"> ・見守り隊 ・草抜き ・清掃活動
生活環境	<ul style="list-style-type: none"> ・見る程に良い景色に感じる ・港が近い



地域の課題（生活の中で困っていること、困っている方を見かけたこと）

高齢化	<ul style="list-style-type: none"> ・一人暮らしの人の様子が心配 ・一人暮らしの人、体調が悪くなった時が心配 ・認知症にならないか心配 ・一人暮らし、高齢者世帯が増えた ・心配な方がいる
移動	<ul style="list-style-type: none"> ・病院が少し遠くなっている ・タクシーがつかまりにくい ・買い物に困っている
生活環境	<ul style="list-style-type: none"> ・空家が多くなってきている ・動物の排泄物が多い ・野犬が多い ・町内に店が少なく、他町に行くことが多い
町内会	<ul style="list-style-type: none"> ・町内会を支える若人が少ない
災害	<ul style="list-style-type: none"> ・避難所の場所がない
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ひきこもりがちの人がいる

地域の中で自分たちにできること



21 同倫地区

地域の良いところ・好きなところ

人	<ul style="list-style-type: none"> ・優しい人ばかり、気やすい！ ・気心が知れてる ・皆歌が上手
近所 づきあい	<ul style="list-style-type: none"> ・皆仲良し ・他人にあまり干渉しないところ
交流の場	<ul style="list-style-type: none"> ・カラオケもまた楽しい ・カラオケで和気あいあい ・サロン仲良し、楽しい月一度
生活環境	<ul style="list-style-type: none"> ・静かなところ ・住みやすい

地域の課題（生活の中で困っていること、困っている方を見かけたこと）

高齢化	<ul style="list-style-type: none"> ・足腰が弱ってきた ・物忘れが激しくなってきた ・高齢者多く、生活心配 ・読む時は読めるが、書く時に漢字が出てこない
移動	<ul style="list-style-type: none"> ・運転できなくなったら不安 ・タクシーがなかなかつかまらない ・タクシー助成券では足りない ・病院が遠い
生活環境	<ul style="list-style-type: none"> ・野良猫の糞に困っている ・空き家の管理がなってない ・犬が多い ・空き家の木が大きく、湿気があり困っている ・野良犬の糞に困る ・店が少ない ・飲食店がない ・猫が多く、子猫を車でひきそうになる
災害	<ul style="list-style-type: none"> ・非常持ち出し袋が持てない ・避難する時、足の悪い高齢者は困る ・周りに空き家が多く、瓦や塀の崩壊が心配 ・高齢者多く、災害時に不安 ・港が近いので、津波が来た時に恐ろしい

地域の中で自分たちにできること
課題

高齢者多く、生活心配



具体的活動

- 電気で見守り
- 声かけ
- 仕事を続ける
- 家事
- 元気である
- 人とおしゃべり
- 認知症予防
- ちょっとした手助け代わりに電話をかける
- 知り合いの人を車に乗せていく

物忘れが激しくなってきた



- ふれあいサロン
- 極力集まりに参加する
- カラオケサロン

野良猫・犬の糞に困っている



- ゴミに網をかける
- 猫が、ゴミ袋をかじったら、怒ってやる
- 野良猫・犬に無責任な餌やりは止める



22 東の中・東の東地区

地域の良いところ・好きなところ

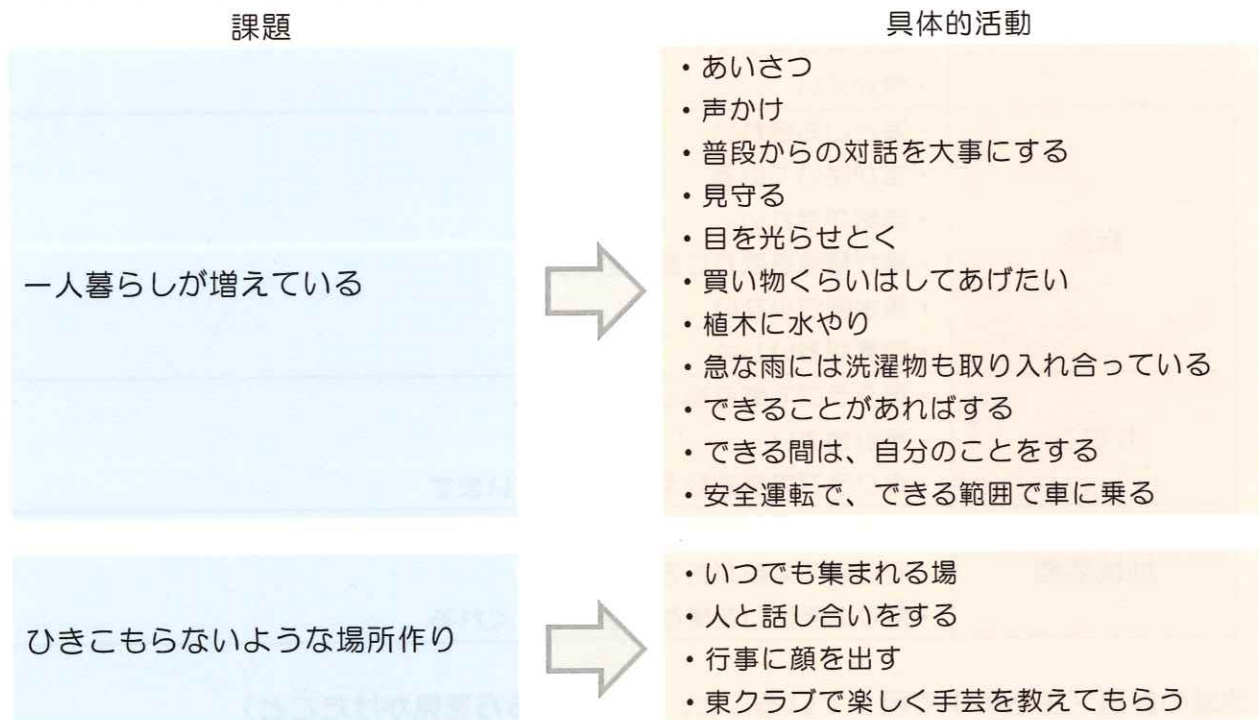
人	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶や声をかけてくれる人が多い ・話しやすい人 ・誠実な人が多い ・運動する人 ・元気な人が多い ・周りの人が良い
近所 づきあい	<ul style="list-style-type: none"> ・近所の人皆優しい ・近所が皆さん仲良くやっている ・近所の人と助け合っている事 ・挨拶がある ・声をかけてくれる ・気心の知れた人でとてもよい
生活環境	<ul style="list-style-type: none"> ・エストマーケット ・夜は静か ・公園がある ・散歩に最適なコースがある ・畑を毎日楽しくしている ・港が近い
自然	<ul style="list-style-type: none"> ・海と山もきれい ・花が咲いている ・自然がきれい ・猿が稲穂を取りに来ても平気 ・風水害が少ない ・空気がおいしい
サロン	<ul style="list-style-type: none"> ・東クラブで毎日楽しくしている ・居心地よい ・東クラブで手芸教えてもらっています
地域活動	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日草引きに頑張っています ・町内会で太鼓がある ・祭りの手伝いを嫌な顔せずしてくれる

地域の課題（生活の中で困っていること、困っている方を見かけたこと）

高齢化	<ul style="list-style-type: none"> ・一人暮らしが増えている ・認知症になったら困る、心配 ・年配者多く先が寂しい ・体の調子が悪いとき食事を作るのが大変です ・今は生活できるが足腰が悪くなると心配 ・物忘れがだんだんひどくなって少々不安 ・色々と身体の事も気になる ・一人暮らしで怪我でもした時
-----	---

移動	<ul style="list-style-type: none"> ・病院が遠い ・無料巡回バスまたはタクシーがほしい
環境	<ul style="list-style-type: none"> ・川沿いのつつじを手入れしたいと思うのですが ・公園や川沿いの草刈り ・裏の山の木が生えて困っています ・空き家が多い ・あわいの道が悪くなってきた ・食堂がない
災害	<ul style="list-style-type: none"> ・避難する道が悪い ・足腰が悪い人の避難方法 ・避難場所の安全 ・台風の時公民館避難できますか？
交流	<ul style="list-style-type: none"> ・となり近所の人との会話が少ない ・ひきこもらないような場所作り ・交流の機会に誘っても、参加しない人がある
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・今は困ってないが、先が心配 ・近くに兄弟と子どもがいるので今は心配ない

地域の中で自分たちにできること



23 灘地区

地域の良いところ・好きなところ

近所 づきあい	<ul style="list-style-type: none"> ・近所が気安い ・近所の人達のやさしさ ・近所の人親切 ・近所は仲がいい ・近所がうるさくなく静かで住みよい ・元気な人が多い
生活環境	<ul style="list-style-type: none"> ・静かで暮らしよい ・空気が良い ・真冬でも温暖な地域 ・散歩ができる
自然	<ul style="list-style-type: none"> ・猪、鹿、猿が多くて楽しい ・自然が豊かゆっくり暮らせる ・春には鳥の鳴き声が良い ・花がある所 ・自然が美しい ・お寺から見る海の景色
自然	<ul style="list-style-type: none"> ・高台にあり災害に強い ・高台で津波の心配がない所
畑	<ul style="list-style-type: none"> ・畑は宝

地域の課題（生活の中で困っていること、困っている方を見かけたこと）

少子高齢化	<ul style="list-style-type: none"> ・一人暮らしが多い（ご高齢） ・足腰弱ってきた ・耳が聞こえにくい ・年をとり家事が大変 ・認知症にならないか ・若者が少なくなった ・子ども少ない ・限界集落になってきている
移動	<ul style="list-style-type: none"> ・タクシーがつかまりにくい ・道が狭くて困っている ・車の運転ができなくなった時 ・道が悪い、蔭栗道 ・道路の草がよく生え通行に邪魔になり危険 ・救急車が入れないくらい狭いので草刈りなどしてほしい ・朝夕のタクシー来てくれない

生活全般	<ul style="list-style-type: none"> ・買い物 ・灘に来て 40 年余りになり今では来てよかったと思っている
農業	<ul style="list-style-type: none"> ・鳥獣害で作物ができない ・人間より動物が増えて困っている ・猿、鹿が多い
環境	<ul style="list-style-type: none"> ・草刈りができてない ・空き地が森になってきている ・雑草・雑木に負けそう
災害	<ul style="list-style-type: none"> ・地震で倒木の危険、避難できないのでは

地域の中で自分たちにできること

課題

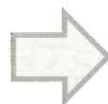
独り暮らしが多い



具体的活動

- ・見守り（洗濯物が出てるか）
- ・ゆるやかな見守り
- ・情報あればもっと見守れる
- ・家に行っておしゃべり
- ・時間があれば乗せて行ってあげる
- ・ゴミの日の声かけ
- ・デイサービスの日の声かけ
- ・心配してくれるご近所
- ・相談にのる
- ・認知症の理解
- ・手助け

道が狭くて困っている



- ・家の端は刈る（刈れる人は）



24 古牟岐地区

地域の良いところ・好きなおところ

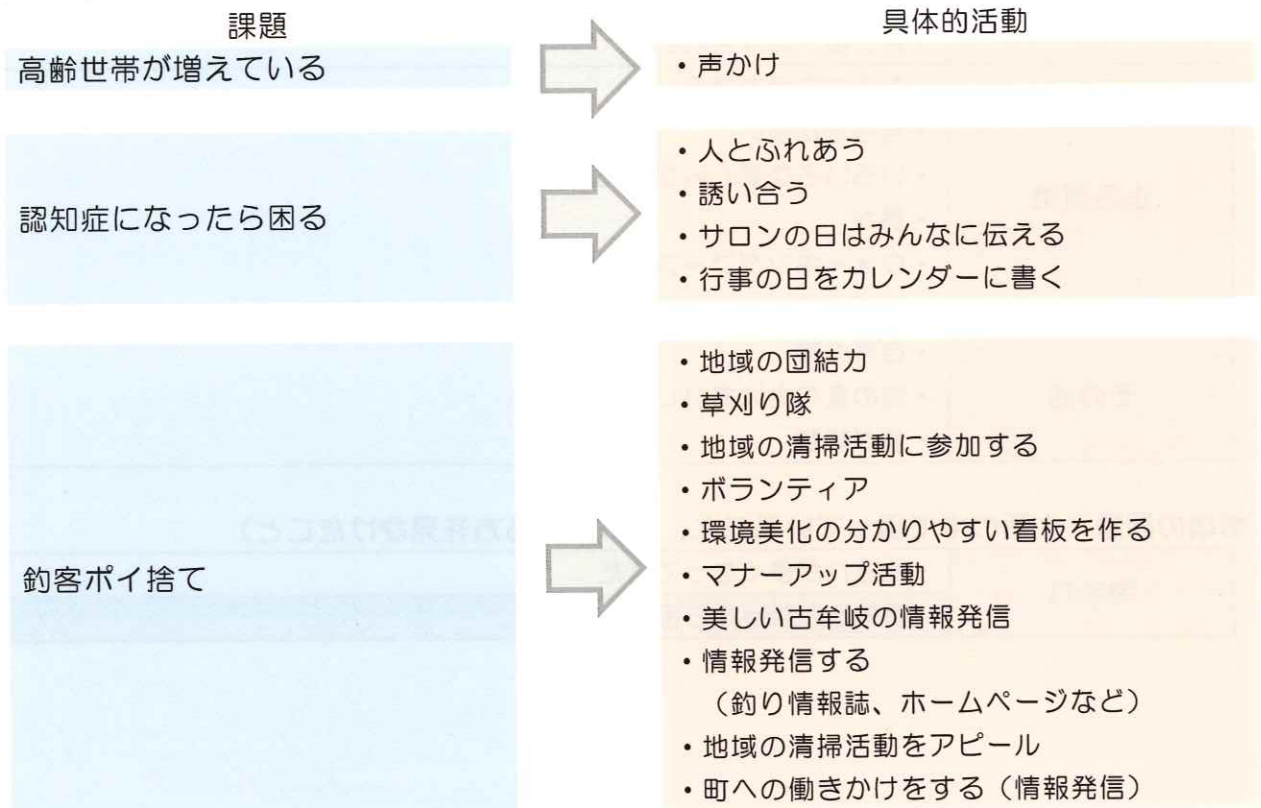
人	<ul style="list-style-type: none"> ・明るい人が多い ・働き者が多い ・楽しい人が多い ・人柄がいい
近所 づきあい	<ul style="list-style-type: none"> ・井戸端会議 ・誰でも気安くつきあえるところ ・おすそ分け ・助け合い ・声かけ ・あいさつ
町内会	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア ・清掃活動熱心 ・一致団結 ・まとまっている ・協力的
自然	<ul style="list-style-type: none"> ・月、星、海がきれい ・小島の浜 ・松が磯 ・すぐ泳げる ・砂浜貝殻いっぱい ・釣りができる ・景色きれい ・月、星、海がきれい
生活環境	<ul style="list-style-type: none"> ・気楽に生活できる ・居心地が良い ・いろいろな楽しみがある ・静か ・ウォーキングコース ・野菜作り
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・自然の家 ・海の食べ物はおいしい ・魚が新鮮

地域の課題（生活の中で困っていること、困っている方を見かけたこと）

物忘れ	・物忘れが多くなってきた
	・認知症になったら困る

加齢による不安	<ul style="list-style-type: none"> ・耳が聞こえなくなる ・見えにくくなる ・高齢世帯が増えている ・いつまで働けるか ・身体の故障 ・病気 ・足腰の弱り、痛み
移動	<ul style="list-style-type: none"> ・町から遠い ・移動が不便 ・運転が心配 ・いつまで運転できる？ ・車なし社会 ・買い物 ・タクシーがつかまらない ・タクシー券が少ない（足りない）
環境	<ul style="list-style-type: none"> ・空き家が増えてさみしい ・釣客ポイ捨て ・釣客のマナーが悪い
災害	<ul style="list-style-type: none"> ・津波の被害が心配
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・住民の減少 ・子どもが心配 ・くみとり ・墓地が山で不便

地域の中で自分たちにできること



25 出羽島地区

地域の良いところ・好きなおところ

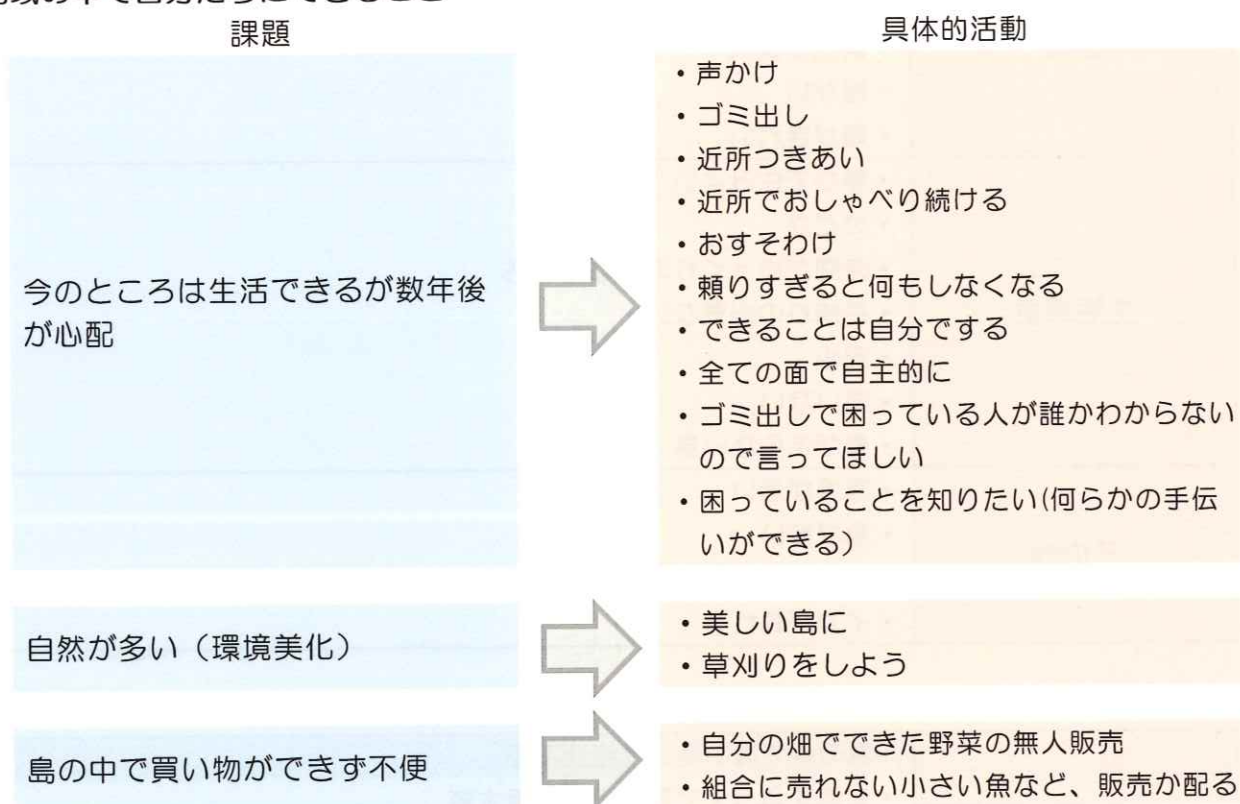
人	<ul style="list-style-type: none"> ・人のことを受け入れてくれるところ ・よく気がついてくれる ・人が親切 ・気さくな
近所づきあい	<ul style="list-style-type: none"> ・近所が近い ・みんな親切
町内会	<ul style="list-style-type: none"> ・全て顔見知り ・地域のつながり
自然	<ul style="list-style-type: none"> ・自然が多い ・空気がきれい ・景色が雄大 ・暖かい ・海がきれい
生活環境	<ul style="list-style-type: none"> ・静かで住みよい ・のどか ・時間がゆっくり流れるところ ・戸締りの必要ない ・安心 ・猫いない ・車が走らない島
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・漁場が近い ・魚が旨い ・釣りができる ・イカが釣れる

地域の課題（生活の中で困っていること、困っている方を見かけたこと）

買い物	<ul style="list-style-type: none"> ・島の中で買い物ができず不便 ・生活するうえで買い物が一番大変 ・船の乗り降り ・荷物の持ち運び ・商品を見て買いたい ・コープで頼むが間違えてないか心配
移動	<ul style="list-style-type: none"> ・船での移動が必須 ・タクシーがなかなかつかまらない
健康について	<ul style="list-style-type: none"> ・寝たきりにならないか心配 ・持病がある ・自宅で動けなくなった時の不安

生活全般	<ul style="list-style-type: none"> ・ゴミ出し ・夜になると不便を感じる ・風呂に入る事 ・今のところは生活できるが数年後が心配 ・一人暮らし ・情報があまりない ・子どもに対する援助が増えれば
医療	<ul style="list-style-type: none"> ・夜間や台風の時 ・調子が悪くなった時 ・医者が帰った後 ・緊急時の対応

地域の中で自分たちにできること



26 牟岐中学校

地域の良いところ・好きなところ

人	<ul style="list-style-type: none"> ・人がやさしい ・子どもが素直 ・高齢者が子どもに優しい ・子どもが元気 ・あいさつをしてくれる ・人情があたたかい
地域	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の人との関わりが多い ・地域の人とのふれあい ・高齢者の人たちの会話 ・平和 ・あじさい祭り ・カエルキャラバン ・ボランティア精神が広がっている
生活環境	<ul style="list-style-type: none"> ・モラスコ牟岐 ・コンビニ ・ショッピングセンター ・ブラック企業がない ・交通事故が少ない
自然	<ul style="list-style-type: none"> ・空気がいいよ ・海がきれい ・森林（木々）がいっぱい ・魚が多い ・南阿波サンライン ・いろんな生き物がいる ・川好き ・自然が好き
食べ物	<ul style="list-style-type: none"> ・アオリイカ ・海の幸がおいしい ・ポケットのフライドポテト ・唐揚げ ・魚 ・55ラーメン
市宇ヶ丘学園	<ul style="list-style-type: none"> ・保育園の子や小学校の子とすぐに会える ・部活をがんばっている ・総合コース（地域のつながり）

地域の課題（生活の中で困っていること、困っている方を見かけたこと）

<p>少子高齢化</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 子どもが少ない • 高齢者が多い • 介護 • 人口が減っている
<p>教育</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 高校、大学がない • 学校が少ない • 友達が少ない（同級生が少ない） • 1クラス（人間関係が固定化）
<p>移動</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 町から家が遠い • 移動手段が少ない • 車の本数が少ない • 都会（徳島市）まで遠い • 病院までの交通手段（道のり） • 道が（歩道が）細いので通りにくい • 坂が長い＝チャリが大変
<p>環境</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 街灯が少なくて町が暗い • お店が少ない • ゴミがよく捨てられている • 公園など子どもの遊ぶ場所が少ない • 下水道の整備不十分 • 道場がこわれそう • 海のゴミ • 虫が多い
<p>災害</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 津波の危険性 • 土砂崩れが心配 • 避難所の場所 • 被災すると…ヤバい • 災害の被害が大きい
<p>仕事</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 働くところが少ない • 子ども、孫が牟岐に帰ってこない • 働き口が少ない。

地域の中で自分たちにできること
課題

災害の被害が大きい



具体的活動

- 家族で災害がおこった時の決め事
- 防災イベントなどに積極的に参加する
- 台風が来た時どうするか（訓練）
- 真剣に避難訓練に取り組む
- 防災の知識を高める
- ルールを守り避難場所までの道を確認する
- 非常時に困らない様にたくさんの想定をしておく
- 被害を最小に（家具を止めるなど）
- 家の周りに危ないものが無いか確認する
- 非常持ち出し袋の中身を定期的を確認する
- 近所の人と協力
- ハザードマップを確認する
- みんなに声をかける

ゴミがよく捨てられている



- 無駄なゴミを出さないようにエコバックを使う
- 詰め替え用の物を買う
- 普通は捨てる野菜の皮などを使ったアイデア料理を考える
- 使い切りのプラスチックのフォークかスプーンを使わない
- 再利用できるものは、なるべく捨てない
- リサイクルショップに売る
- ゴミのリサイクルを呼びかける
- ボランティアに参加する
- ゴミ箱が近くになかったら袋に入れる
- 海（砂浜）にあるゴミ拾いをする
- ポスターを貼ったり看板を立てる

街灯が少なく夜暗い



- ライトを持ち歩く
- 反射ベルト、タスキを付ける
- 大人の人と一緒に出かけようにする
- 暗い所はなるべく通らないようにする
- 無駄な夜間の出歩きをしない
- 急いだり慌てずにゆっくり行く
- 交通ルールを守る絶対
- 将来、牟岐外の人に「牟岐は暗いけど星めっちゃきれい」とPR

IV 計画の推進に向けて

IV 計画の推進に向けて

第4節 計画の推進に向けて

1 計画の推進体制

地域福祉を推進していくためには、町や社会福祉協議会だけでなく、その地域に住んでいる人、町内会をはじめ、民生委員・児童委員、ボランティア団体、NPO法人、学校、企業などすべての人や団体が活動の担い手となります。

住民の誰もが、住み慣れた地域で自立して、生きがいに満ちた生活が送れるよう、それぞれの立場の意見を取り入れながら地域福祉の課題解決に向けた活動を積極的に行えるように、町や社会福祉協議会は住民自らによる地域福祉活動の育成や支援を進めていきます。

町民の役割

町民は、一人ひとりが福祉に対する意識や認識を高め、地域社会の構成員の一員であることを自覚することが大切であり、日頃から地域の人たちが、あいさつや声かけを通じて交流を深め、顔見知りの関係を築いていくことが重要です。また、地域行事やボランティア活動等への積極的な参加に努めることが必要です。

地域活動団体の役割

町内会やボランティア活動団体、特定非営利活動法人、民生委員児童委員協議会などの地域活動団体は、地域の中にある生活課題を発見・共有するとともに、地域の中でそれぞれが連携しながら解決していくことが重要です。

社会福祉協議会の役割

社会福祉協議会は、地域福祉の根拠法である社会福祉法において、地域福祉の推進を図る中核として位置づけられています。地域福祉を推進していくことを使命とし、誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくりを推進するための組織であり、本計画の推進役を担うとともに、住民や各種団体との調整役としても大きな役割を担っています。

行政の役割

社会福祉協議会やボランティア団体等と相互に連携・協力を図るとともに、町民のニーズの把握と地域特性に配慮した施策の推進に取り組みます。

また、地域福祉の推進にあたっては、全庁的な取り組みが必要なため、庁内の各課と連携を図りながら一体となって施策を推進していきます。

2 計画の進行管理と評価

本計画を地域福祉の推進に関わるすべての人の主体的な参加や協働のもとに連携し、推進していくためには、定期的に住民の意見を抽出する場を持ち、計画の達成度を評価し、一定期間において計画を見直す必要があります。

町と関係機関との協働により、計画に基づく施策の進捗状況や達成度を定期的に把握・評価し、必要に応じて適宜見直しを行い、常によりよい活動や取り組みを推進する「PDCA サイクル」によって、計画の目的や目標達成に向けた取り組みの推進に努めます。

【PDCA サイクルのイメージ】



1 牟岐町地域福祉計画・地域福祉活動計画策定委員会設置要綱

(目的)

第1条 少子・高齢化社会を迎え、町民の多様な生活上の問題を解決し、すべての町民が安心安全に暮らせるまちづくりを目指し、町の保健福祉施策をはじめとする行政施策と地域での主体的な住民活動がより統一的、計画的、効果的に実施されるよう、社会福祉法の規定に基づき、地域福祉計画を策定するため、牟岐町地域福祉計画策定委員会(以下「委員会」という。)を設置する。

(所掌事項)

第2条 委員会は、次に定める事項を所掌する。

- (1) 地域福祉計画の策定に関すること
- (2) 地域福祉計画についての調査、研究及び提言に関すること
- (3) 前2号に掲げるもののほか、本要綱に定める目的を達成するために必要な事項

(組織)

第3条 委員会は、次の各号に掲げる者で組織する。

- (1) 地域福祉に関心を持つ町民
- (2) 各種団体の代表者
- (3) 保健・医療・福祉関係者
- (4) 学識経験のある者

2 委員は、町長が委嘱する。

3 委員の任期は3年とし、再任を妨げない。

4 委員の欠員が生じた場合の補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(委員長及び副委員長)

第4条 委員会に、委員長及び副委員長を置く。

2 委員長及び副委員長は、委員の互選により定める。

3 委員長は委員を統括し、委員会を代表する。

4 副委員長は委員長を補佐し、委員長に事故あるときはその職務を代理する。

(委員会)

第5条 委員会は、必要に応じ委員長が招集する。

(関係者の出席)

第6条 委員長は、必要があると認めるときは、委員以外の者に会議への出席を求め、意見を聞くことができる。

(事務局)

第7条 委員会の事務局を、住民福祉課に設置する。

(その他)

第8条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は委員長が定める。

附 則

この要綱は、公布の日から施行する。

この告示は、令和元年7月1日から施行する。

2 牟岐町地域福祉計画・地域福祉活動計画策定員会委員名簿

No	所属	氏名	
1	牟岐町社会福祉協議会 会長	大 森 博 文	委員長
2	牟岐町自主防災組織連絡協議会 会長	宮 内 隆	副委員長
3	牟岐町民生委員協議会 会長	福 岡 久 美 子	
4	牟岐町婦人会 会長	石 本 知 恵 子	
5	牟岐町老人クラブ連合会 会長	小 松 石 雄	
6	社会福祉法人 若穂会 事務長	田 中 順	
7	社会福祉法人 緑風会 施設長	星 野 愛	
8	牟岐町商工会 会長	横 尾 政 明	
9	牟岐町PTA連合会 会長	長 尾 吉 修	
10	牟岐町手をつなぐ親の会 会長	野 田 順 子	
11	牟岐町家族会しらたま 会長	岸 重 幸	
12	牟岐町身体障害者会 会長	杉 口 健	
13	住民福祉課 課長	海 部 孝 治	
14	健康生活課 課長	木 田 憲 二	

牟岐町地域福祉計画・地域福祉活動計画
(成年後見制度利用促進基本計画)

発行年月 令和2年(2020年)3月

発行 牟岐町

〒775-8570

牟岐町大字中村字本村7番地4

編集 牟岐町役場 住民福祉課 (電話：0884-72-3414)

牟岐町社会福祉協議会 (電話：0884-72-1151)
